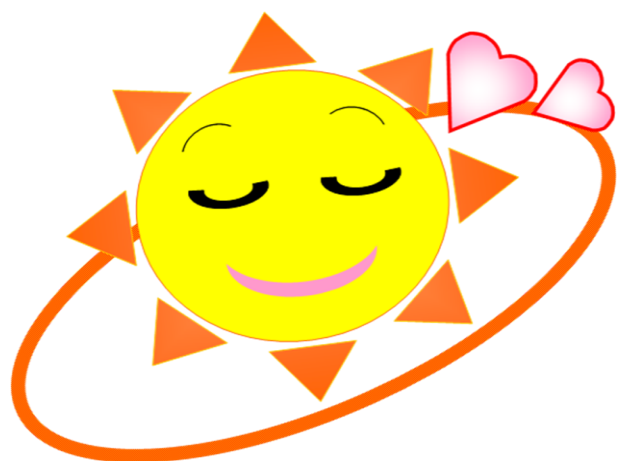


令和3年度

事業報告書



社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会

総括	-----	1
新規・重点事業	-----	2
見直し・拡充	-----	5
1 みんなが“つながり”“助け合える”仕組みを広げます		
1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進		
-1-1 地域福祉推進委員会の運営支援	-----	7
-2-1 住民ニーズの把握と課題・共有化	-----	8
-3-1 自治会・住宅管理組合等小エリア(第3層)での地域福祉活動の展開支援	-----	9
-4-1 たすけあい有償活動の推進	-----	10
-5-1 ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援と活動支援	-----	10
-6-1 生活支援体制整備事業の推進	-----	11
-7-1 活動拠点の確保	-----	13
2 みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます！		
2-1 福祉を身近に感じる機会の提供		
-1-1 福祉に対する意識に醸成のための事業の実施(福祉大会・福祉フェスタ)	-----	15
-1-2 福祉に対する意識に醸成のための事業の実施(地域出前事業の開催)	-----	15
-2-1 障がい者理解の促進	-----	16
2-2 ボランティア・地域活動者の発掘・育成		
-1-1 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(社協活動協力員)	-----	18
-1-2 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(多世代のボランティア・市民活動者)	-----	18
-1-3 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(老人福祉センター)	-----	20
-1-4 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(同行援護従事者)	-----	20
-2-1 個別のニーズに応じたボランティア活動支援(コーディネート)の推進	-----	21
-3-1 ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充	-----	22
2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進		
-1-1 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築(多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会)	-----	23
-1-2 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築(「(仮称)多摩地域企業・大学ネットワーク連絡会」の設置)	-----	23
-1-3 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築(福祉協力店)	-----	25
3 みんなの暮らしに“安心”を届けます！		
3-1 権利擁護の推進		
-1-1 権利擁護センターの運営	-----	26
-2-1 市民後見人の養成	-----	27
3-2 多様な相談機会の提供		
-1-1 相談窓口の拡充	-----	29
3-3 災害時支援体制の強化		
-1-1 災害ボランティアセンター運営体制の拡充および災害時要配慮者支援の啓発の推進	-----	30
3-4 情報発信の強化		
-1-1 広報媒体の拡充	-----	32
3-5 多様なサービスの提供		
-1-1 老人福祉センターの充実	-----	34

-2-1 地域活動支援センター(障がい者福祉センター)の充実	34
-3-1 障害福祉サービスの提供	36
-4-1 生活支援の推進(貸付事業)	37
-4-2 生活支援の推進((仮称)高齢者安心サポート事業)	38
-4-3 生活支援の推進(住民主体による訪問型サービス)	38
-4-4 生活支援の推進(フードドライブ等事業)	39
-4-5 生活支援の推進(ひきこもり家庭支援)	40

令和3年度 事業報告書 附属明細書 目次

1. 組織運営	
(1) 三役会の開催	41
(2) 理事会の開催	41
(3) 評議員会の開催	42
(4) 監査の概要	42
(5) 各委員会の活動報告	42
(6) 各部会の活動報告	43
(7) 後援名義の使用許可状況	43
(8) 多摩社協活動協力員登録状況	43
2. 連絡調整	
(1) 実習生の受入れ状況	44
(2) 講師の派遣	44
3. 普及・啓発	
(1) 会報「ふくしだより」の発行	45
(2) 福祉バザー	45
(3) 福祉フェスタ	45
(4) 福祉大会	46
(5) メールマガジン配信状況	47
(6) 福祉協力店状況	47
4. 組織強化活動	
(1) 会員賛助金の状況	48
(2) チャリティーゴルフ大会	48
(3) 寄付金の状況	49
5. 助成事業	
(1) 収支の状況	50
(2) 福祉団体補助	50
(3) 老人クラブ連合会事業費補助金	50
(4) 自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金	51
6. 地域福祉活動の推進事業	
(1) 収支の状況	52
(2) 相談事業「福祉なんでも相談」	52
(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業	53
(4) 小地域福祉活動推進事業	61
7. 生活支援体制整備事業	
(1) 契約状況等	67
(2) 収支の状況	67
(3) 生活支援コーディネーターの活動状況	67
8. たすけあい有償活動事業	
(1) 概要	72
(2) 収支の状況	72
(3) たすけあい有償活動実施状況	72
(4) 過去5年間の状況	73
(5) たすけあい有償活動協力員懇談会	73
(6) たすけあい有償活動協力員説明会	73

9. 住民主体による訪問型サービス	
(1) 概要	74
(2) 収支の状況	74
(3) 住民主体による訪問型サービス実施状況	74
10. ボランティア・市民活動推進事業	
(1) 収支の状況	76
(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催	76
(3) ボランティア育成事業	76
(4) 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進（多摩地域企業等情報交換の集い）	79
(5) 相談事業	80
(6) 協力事業	80
(7) 地域出前事業	81
(8) ボランティア活動等振興助成金交付事業	82
(9) 子ども食堂等活動支援金交付事業	82
(10) フードドライブ事業	83
(11) 販売事務業務委託（市受託事業）	83
(12) 関係機関との連携	83
(13) ボランティア基金・寄附金状況	84
(14) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況	84
(15) 多摩ボランティア・市民活動支援センター(ヴァイタ)利用登録者状況	84
(16) ボランティア相談状況	84
(17) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況	85
(18) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況	85
11. 介護予防ボランティアポイント事業（市受託事業）	
(1) 概要	87
(2) 契約状況等	88
(3) 収支の状況	88
(4) 事業実施状況	88
12. 福祉サービス利用援助事業	
(1) 概要	90
(2) 地域福祉権利擁護事業（東社協受託事業）	90
(3) 東京都福祉サービス総合支援事業（市補助事業）	91
(4) 成年後見制度利用支援業務（市補助事業）	91
(5) 実施事業	92
13. 資金貸付事業	
(1) 生活福祉資金（東社協受託事業）	95
(2) 小口資金	95
(3) 緊急援護事業	96
(4) ひとり親家庭高等職業促進資金貸付事業（東社協受託事業）	96
(5) 出張相談（しごと・くらしサポートステーション）	96
(6) その他（フードバンク事業）	96
14. 収益事業の実施	97
15. 障がい者地域活動支援センター事業（市受託事業）	
(1) 概要	98
(2) 契約状況等	98
(3) 収支の状況	99

(4) 利用登録状況	100
(5) 実施状況	100
16. 同行援護事業	
(1) 概要	108
(2) 収支の状況	108
(3) 同行援護活動実績	108
(4) 同行援護従事者研修会	109
17. 意思疎通支援(手話通訳者派遣)事業(市受託事業)	
(1) 概要	110
(2) 契約状況等	110
(3) 収支の状況	110
(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績	111
(5) 手話通訳者研修会	111
18. 意思疎通支援(要訳筆記者派遣)事業(市受託事業)	
(1) 概要	112
(2) 契約状況等	112
(3) 収支の状況	112
(4) 要訳筆記者の活動実績	113
(5) 要訳筆記者研修会	113
19. 共同募金関係	
(1) 赤い羽根共同募金	114
(2) 歳末たすけあい運動募金	114
20. その他の事業	
(1) 車椅子貸出事業	116

令和3年度 事業報告書

本編

《事業報告書本編の見方》

No. 1-1-1-1 重点	地域福祉推進		まちづくり推進	
内 容	10のコミュニティエリアごとに設置したの運営を、エリアごとに作成した地域福祉として、わいわいがやがやみんなが集い、楽しみ、住民同士のつながりやささえあいを創出しながら、課題解決に向けた取り組みを支援していきます。 また、この計画は本計画同様に3年ごとに見直しをしていくため、普段委員会に参加していない方など広く地域住民の方々の声を聞きながら、計画の見直しをすすめていきます。			
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	
	●各地域福祉推進委員会活動計画に則して運営支援	●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討	●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討・作成(令和5年度～令和7年)	
令和3年度 事業計画 (実施目標)	感染症下において、新たな地域でのラインを活用した取り組みを推進し、多世代やより多くの市民や専門機関等が参加できるように支援していく。また、各地域福祉推進委員会活動計画の見直しに向けた検討を開始し、今後の委員会活動の方向性などについて意見交換していく。			
取組結果	●感染症対策として、オンラインに力を入れた。オンラインのサテライト会場を設けるなどの対策をし運営支援を行った。 ●エリアについては、地域福祉推進委員会でSNSを導入するなど、した情報発信に努めた			

第4次多摩市地域福祉活動計画後期計画の取り組み内容と一致

第4次多摩市地域福祉活動計画後期計画で記した、主な3年間の取り組み内容

第4次多摩市地域福祉活動計画後期計画の3年間の年次計画

今年度(令和3年度)の事業実施計画

今年度(令和3年度)の計画に対する取組結果

令和3年度総括

令和3年度は、第4次地域福祉活動計画後期計画の中間年度として、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指し、最終年度へ着実につなげるため、地域共生社会の構築を土台として、コロナ禍において顕在化した地域課題・生活課題へ重点的に取り組んできたところである。

しかし、本年度も長引くコロナ禍の影響を受け、自治会やサロン活動、家族会、NPO団体等の市民による地域活動の中止・延期、公共施設の利用制限などにより、小地域活動や相談会、講座やイベント等の中止、コーディネート業務や対面での支援業務の制限や縮小を、昨年度に引き続き余儀なくされた。また、多摩社協組織においても濃厚接触者や感染者の発生など職員体制が十分に整えられない状況発生も、事業の推進に少なからず影響を及ぼすこととなった。

このような状況の中ではあったが、新型コロナの影響で生活に困窮する方への生活福祉資金特例貸付や、日常生活のうえで日々の支援が欠かせない福祉サービス利用支援、同行援護従事者派遣、デイサービス事業などを優先し事業継続を図った。感染状況が少し落ち着いた時期には、令和2年度から順次整備してきた飛沫感染対策用品やオンライン環境などを活用して、新たな地域でのつながり方や事業手法等を模索し、試行錯誤しながらオンラインでの会議や講座の開催、対面とオンラインを併用した事業実施、オンラインを活用した買い物支援のほか緊急事態時の在宅ワークの環境整備など、今後につながる事業の推進が図れた。

コロナ禍における生活課題への支援では、その一つとして多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）の子育て世帯や大学生への食料無料配布がある。多摩社協はこの社会貢献事業をコーディネートし、6月と12月の実施により合計237世帯744名への支援が実現した。

また、新たな取組みとして、様々な課題を抱えた子ども・若者が増えている中、「子どものために役立ててほしい」といった寄付も多く、寄付者の意向に沿った支援を図るため「子ども・若者応援基金」を創設した。この他、コロナ禍で会員募集や募金活動への協力に影響があった自治会や管理組合、自治会等が組織されていない地域へも社会福祉協議会のPRと会員拡大を図るため、パソコンやスマートフォンからキャッシュレス決済ができるWebサイト「シンカブル」の活用に着手したところである。

令和4年度は本地域福祉活動計画の最終年度となり、また次期計画策定の年でもある。新型コロナの影響がどのようになるか不透明な状況ではあるが、計画目標に沿った成果を達成するよう取り組むとともに、コロナ禍の先の未来を見据えた事業の展開を図ってまいりたいと考えている。

最後に、令和3年5月に、諏訪支部社協が解散となった。35年間の活動を支えてこられた関係者にこの場を借り感謝を申し上げたい。

新規・重点事業

令和3年度は、第4次多摩市地域福祉活動計画を遂行していく後期実施計画の2年目となりました。本計画を踏まえ、令和3年度新規・重点事業として、以下の事項を具体的に推進いたしました。

1. 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

(1) 【重点】地域福祉推進委員会の運営支援

長引くコロナ禍により、地域福祉推進委員会では「密を避ける」ためにオンライン開催を推進し、オンラインで参加できない方のために「サテライト会場」を設けるなど、感染症拡大防止に配慮しつつ継続した活動支援をした。

ICT活用の裾野を広げるため、高齢者の「スマホ講座」（馬引沢・諏訪地区）や、全市的に「地域活動で活かせる動画編集講座」を開催し、コロナ禍でも地域の中で情報共有や情報発信ができるような取り組みを支援した。

また、コロナ禍で高齢者の「閉じこもり」や「フレイル」を予防するため、屋外での居場所づくり「アーケードカフェ（愛宕地区）」や、まちあるき「ビューポイント巡り（桜ヶ丘地区）」や多世代交流も取り入れた「なな山緑地散策（百草団地地区）」の開催など、地域性に合わせコロナ禍でも楽しむ要素を盛り込む事業展開を支援した。

(2) 【重点】住民ニーズの把握と課題・共有化

諏訪地区や中沢地区など、都営住宅の移転があった地域では、移転に際し住民ニーズの把握と課題解決に向けた支援を行った。諏訪地区では移転準備の段階から支援に入り、引っ越し困難な高齢者などの相談には包括支援センターと連携し対応した。中沢地区では、移転後に自治会役員や包括支援センターと新たな居場所づくりや、住民同士の支え合いの仕組みについて相談支援に取り組んだ。

地域福祉推進委員会未設置の東寺方小学校区エリアについては、市の地域委員会構想であるエリアミーティングに継続して参加し、状況把握を行った。

(3) 【重点】自治会・住宅管理組合等小エリア（第3層）での地域福祉活動の展開支援

自治会・住宅管理組合の支えあい活動の推進を目的に作成した「ご近所支えあいハンドブック」について、同団体を対象とする助成金の申請書類に同封し啓発を行ったが、今年度もコロナ禍で自治会・住宅管理組合が実施する地域活動がほとんど中止となる状況になり、今年度は13件に留まった。

諏訪地区の住宅管理組合では、昨年度団地内の課題や支えあいのアンケートを実施し、コロナ禍で延期していた住民報告会を3月に開催した。アンケート結果の共有と支えあいの仕組みづくりについて支援を開始した。

2. ボランティア、地域活動者の発掘・育成

(1) 【重点】 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成

長引くコロナ禍に伴い、ボランティア活動自体も活動自粛や休止となり、また、ボランティア受入れ施設などについても、その多くが受入れ自粛や中止となった。このため、本来ならば人と人とのふれあいや共感により育まれるボランティア活動を促進することが難しい状況となったが、以下のとおりコロナ禍に対応した創意工夫した取り組みを行った。

○夏のボランティア体験は事業中止としたが、活動希望者には、受入れ可能な施設等を紹介し、個別マッチングを行った。

また、「夏のリモートボランティア体験 2021」と題して、新たに在宅でもできるボランティア活動や、オンライン（Zoom）を活用した体験講座メニューを開発・実施し、活動者の裾野を広げた。

○市内大学での出張相談窓口の設置に関しては、令和3年4月に開設した「多摩大学ボランティアコーナー」で出張相談を実施したが、コロナウィルスの再感染拡大により定期開催までには至らなかった。令和4年度より、同大学にて「ボランティアセミナー」を開催しながら、出張相談窓口の定例化を図ることとした。

○感染症下にて新たなボランティア活動へつなげる一助として、昨年度から実施している「0からはじめる ZOOM 講座」を「初級編」「ステップアップ編」として実施し、SNS を活用したボランティア活動の振興を図った。

また、コロナ禍でも活動を続けている市内の子ども・誰でも食堂に対するボランティアを育成するため、「食の支援ボランティア入門講座」を開催するとともに、感染症下において、活動を自粛や休止しているボランティア・市民活動団体を対象とした「ステップアップ講座～コロナを踏まえたこれからの活動を考える～」を開催し、感染症下における新たなニーズに対するボランティアの育成、団体支援を行った。

3. 企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

(1) 【重点】 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築

① 多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会

多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会の公益的な取組として、多摩ボラセンと協力して昨年度に設置した作業部会において検討・作成を行ってきた、市内小中学校の総合的学習での「車いす体験」のマニュアルが完成した。

また、「多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）」が主催して行った「食料等無料配布事業」への協力として、各法人内で集めた食料等の提供を行った。

② 「多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）」の運営支援

○令和2年11月に発足した「多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）」の事務局を担い、長引くコロナ禍により、生活困窮者・世帯が増大している情勢を踏まえ、特に子どもの貧困に対して、ニーズに応じた取り組みを多摩ボラセンがコーディネートし、ゆるたまネット主催事業として、生活に困窮している「大学生以下の子どもがいる世帯」や「大学生」を対象とした「食料等無料配布事業」を6月と12月の2回実施した。

「食料等無料配布事業」には、多くの市民や事業所等から、延べ4,309 kgもの食料等の寄附が寄せられ、延べ237世帯、744名の方に配布した。

4. 権利擁護の推進

(1) 【重点】権利擁護センターの運営

中核機関及び第一次相談窓口として、相談件数が大幅に増加（延べ661件/昨年度360件）した。

また、成年後見制度の利用につなげるため、関係機関への成年後見制度事業説明会を実施したほか、地域ケア会議・ケースカンファレンス等へ参加し、関係機関との連携を図り、利用促進に取り組んだ。

成年後見制度の周知については、関係機関向け事業説明会を4回、市民向け事業説明会を1回、相談会を1回実施した。後見人の活動支援については、親族後見人及び専門職の後見人懇談会を各1回開催した。生活支援員については、今年度新規登録が6名、令和4年3月末時点の登録者数は40名であった。

(2) 【重点】市民後見人の育成

昨年に引き続き、地域福祉権利擁護事業の利用から、成年後見制度の利用へ移行する1ケースについて、市民後見人登録者を後見人候補者として推薦し、家庭裁判所に申し立てを行った結果、11月に後見人として選任され、多摩市社会福祉協議会は後見監督人として選任された。後見監督人として市民後見人からの相談に対応するほか、裁判所への提出書類の作成支援などを実施した。

5. 多様な相談機会の提供

(1) 【重点】生活支援の推進（（仮称）高齢者安心サポート事業）

多摩市老人クラブ連合会や自治会、サロン等の協力を得て、市内在住高齢者へニーズ調査を実施した。調査結果については、法政大学宮城孝ゼミの協力のもと、一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯を中心に分析をおこない、報告書を作成した。また、すでに事業を実施している他社協にヒヤリングをおこない、事業実態や課題について聞き取りを行った。今後、ニーズ調査の結果、他社協のヒヤリングの内容を参考に事業内容を定め、事業実施に向け取り組んでいく。

（２）【重点】生活支援の推進（ひきこもり家族支援）

ひきこもり家族会について、主に広報面での支援や、当事者を講師に招いた講演会を共催で開催した。家族会として感染拡大時にもオンラインツールを利用し会員相互の交流を継続している。今後も、家族の主体的な運営を支援しながら、広報面や関係機関からの問合せなどを連携しながら行っていく。

【見直し・拡充】

1. ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充

- 東永山複合施設（永山分室）の閉鎖に伴い、ボランティア団体の新たな活動拠点について市と協議を行った結果、多摩ボラセン内に設置されているオリンピック・パラリンピック推進室の跡地を、令和4年度からボランティア活動室として使用することとなった。これにより、多摩ボラセンに3つの活動室を設置することとなり、団体の活動場所を確保することができた。（レイアウト変更は令和4年度）
- また、移転に関しては、永山分室利用団体懇談会を経て、代表者会議（9月、12月開催）で説明するなど、移転に向けた調整を行った。
- 永山分室閉鎖後の令和4年2月から4月中旬まで、総合福祉センターの各部屋で活動継続ができるように調整した。
- 令和3年2月に制定した「団体登録制度実施要綱」及び「同実施要綱細則」を、多摩ボラセン登録団体に丁寧に説明するとともに、令和3年度を移行期間とした。
- また、団体登録の可否及び団体区分については、要綱に基づき、多摩ボラセン運営委員会にて審査を実施し、本会会長が決定する内容で実施した。

2. 災害ボランティアセンター運営体制の拡充

- 近年多発している「風水害」をテーマに「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を6月に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止し、9月に職員のみで訓練を実施した（職員32名参加）。
- 災害ボランティアセンター運営体制を拡充するため、以下のとおり取り組んだ。
 - ① 運営ボランティアの登録者のスキルアップも兼ねた「災害ボラセン運営ボランティア育成講座（参加者25人）」を開催し、4名の運営ボランティア登録があった（登録者56名 令和4年3月末現在）
 - ② 災害時の相互協力の協定を締結した南多摩ブロック5市社協が協働して、災害ボランティアセンターオリエンテーション動画等を作成した。多摩ボラセンのホームページにて、常時視聴できるようにした。
 - ③ 水害及び感染症対策を盛り込んだ「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を、多摩社協職員による班長会及び各班会議を開催し、作成に取り組んだ。

3. 広報媒体の強化

- 「ボランティア通信」は、コロナ禍により施設内でのボランティア活動が自粛されている福祉施設等において、在宅でできるボランティア（手芸など）や園庭など、施設外を利用した活動を開拓し、コロナ禍でもできる活動を提案するなど紙面内容の工夫を図った。
- また、昨年度に引き続き多摩大学中村その子ゼミに協力していただき、ゼミ企画などを紙面に盛り込み、内容の充実を図った。結果、商業施設などの配架部数が増加した。

4. 障害理解、啓発の取り組み推進

コロナ禍によりひとときの和の通常開催は見送りとなったため、当事者団体との協力により、障がい理解のパンフレット・動画 DVD 作成に着手し、パンフレットが完成した。

5. 財政基盤の強化

自動販売機設置事業において、市内工事現場の情報を随時確認しながら自販機の設置依頼を行い、3箇所計4台設置した。

6. フードドライブの拡充

- 市内でダイエーが運営するスーパー2店舗及び豊ヶ丘商店街内のコミュニティスペース「とよよん」の計3か所に、フードドライブの窓口を設置することができた。また、ゆるたまネットの企業・団体や市内の社会福祉法人などが、職場内でフードドライブを実施するなど、食料支援の輪を広げることができた。
- 多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）主催事業として、生活に困窮している「大学生以下の子どもがいる世帯」や「大学生」を対象とした「食料等無料配布事業」を6月と12月の2回実施した。
「食料等無料配布事業」には、多くの市民や事業所等から、延べ4,309kgもの食料等の寄附が寄せられ、延べ237世帯、744名の方に配布した。
- 「子どもたちのために」「子ども食堂のために」といった寄附金を、寄付者の意向に沿って活用するため、「子ども・若者応援基金」（令和4年2月施行）を設置した。
- 「子ども・若者応援基金」の活用の使途、対象経費等を明確化するため、多摩ボラセン運営委員会内に「子ども・若者応援基金活動検討専門委員会」を設置し、「子ども食堂等活動支援金」の見直し、検討を進めた。

1 みんなが“つながり”“助けあえる”仕組みを広げます

1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

- コミュニティエリアごとに地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民や関係機関からの相談対応や地域福祉推進委員会の運営支援を行うことで、人と人、人とサービスをつなぎ、制度の狭間にある生活課題や地域課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。
- たすけあい有償活動の推進や自治会等福祉活動の支援を継続し、地域での支え合いの仕組みづくりに取り組みます。
- ふれあい・いきいきサロン活動の推進を継続しながら、サロンなどに限らず幅広く地域の方々の通いの場となる居場所づくりに取り組みます。

No. 1-1-1-1 重点	地域福祉推進委員会の運営支援		まちづくり推進担当
内 容	<p>10のコミュニティエリアごとに設置した「地域福祉推進委員会」の運営を、エリアごとに作成した地域福祉推進委員会活動計画に則して、わいわいがやがやみんなが集い、楽しみ、住民同士のつながりやささえあいを創出しながら、課題解決に向けた取り組みを支援していきます。</p> <p>また、この計画は本計画同様に3年ごとに見直しをしていくため、普段委員会に参加していない方など広く地域住民の方々の声を聞きながら、計画の見直しをすすめていきます。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度) ●各地域福祉推進委員会活動計画に則して運営支援	令和3年度 (2021年度) ●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討	令和4年度 (2022年度) ●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討・作成(令和5年度～令和7年度の計画)
令和3年度 事業計画 (実施目標)	感染症下において、新たな地域でのつながり方の一つとして、オンラインを活用した取り組みを推進し、多世代やより多くの市民や専門機関等が参加できるように支援していく。また、各地域福祉推進委員会活動計画の見直しに向けた検討を開始し、今後の委員会活動の方向性などについて意見交換していく。		

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症対策として、オンライン開催できるよう引き続き運営支援に力を入れた。オンラインの活用ができない参加者には、サテライト会場を設けるなどの対策を講じつつ、オンライン環境を整備し運営支援を行った。 ●エリアによっては、地域福祉推進委員会で SNS を導入するなど、若い世代等もターゲットにした情報発信に努めた
------	---

重点 No. 1-1-2-1	住民ニーズの把握と課題・共有化		まちづくり推進担当
内 容	<p>コーディネーターが、サロン訪問、近トレ訪問、たすけあい訪問、福祉なんでも相談等を通じて、常に個別ニーズ・課題、地域ニーズ・課題の把握に努めていくとともに、地域福祉推進委員会等で幅広く住民ニーズや課題を把握し、共有していきます。その中で出た意見や地域生活課題について、各地域福祉推進委員会で協議していきます。</p> <p>コミュニティエリアよりも小域での取り組みが必要な地域においては、住民懇談会等を開催し、小域で地域福祉推進委員会を設置するなど協議の場づくりに取り組みます。</p> <p>また、明らかになったニーズや課題に対しての取り組みを可視化・共有化していくために、年度ごとに地域福祉コーディネーター及び生活支援コーディネーター報告書を作成します。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●小域での地域生活課題解決の場づくりについて検討 <p style="background-color: #ffff00;">※コロナ禍で検討不十分。 次年度継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●住民懇談会等を開催 ●地域生活課題解決を図る協議の場の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●住民懇談会等を開催 ●地域生活課題解決を図る協議の場の設置
令和 3 年度 事業計画 (実施目標)	<p>コーディネーターが積極的にサロンや自治会等へ出向き、情報交換等を行いながら地域生活課題を把握し、地域内で共有化を図っていく。</p> <p>地域生活課題解決に向けた取り組みで、コミュニティエリアよりも小域で行うことが必要な地域においては、住民懇談会等を開催し、協議の場の設置に向けて検討していく。(東寺方地区等を想定)</p>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●都営住宅の移転(諏訪地区・中沢地区)があった地区では、移転後の居場所づくりや、相談対応等の支援をするため、自治会役員等との会議の場に包括支援センターと一緒に参加し、連携して支援した。 ●東寺方地区は多摩市主催のモデル事業である、タウンミーティングに参加し、市が進める事業の状況を把握し、連携しながら参加した。 		

<p style="text-align: center;">重点</p> <p>No. 1-1-3-1</p>	自治会・住宅管理組合等小エリア（第3層）での地域福祉活動の展開支援		まちづくり推進担当
内 容	<p>自治会・住宅管理組合等小エリアにおける、見守り・支えあい体制の組織づくりを支援していきます。また、「住民同士の支えあい手引き」を作成し、自治会・住宅管理組合等の福祉活動を応援する助成金制度の啓発も含めて、仕組みづくりの手法を可視化し、住民が安心して暮らせるまちづくりをコーディネートしていきます。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会・住宅管理組合等単位での見守り・支えあい体制の組織づくりを支援 	<p style="text-align: center;">→</p>	<p style="text-align: center;">→</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会等助成金制度の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●検証 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて見直し
<ul style="list-style-type: none"> ●住民同士の支え合いの手引きの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●周知 	<p style="text-align: center;">→</p>	
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<p>【継続支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の支えあい活動（助成金・区分1助成団体）を実施している4つの団体（永山地区、鶴牧地区、百草団地地区、聖ヶ丘地区）を継続支援していく。 <p>【新規支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度生活支援に関するニーズ調査を行った団地の住宅管理組合と連携し、支えあいの仕組みづくりに向けた支援を行っていく。（諏訪地区） ・新たに助成金（区分1）を活用して、住民主体の支えあい活動に取り組む団体に対し、伴走支援していく。 <p>【啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご近所支えあいハンドブック」を活用し、自治会・住宅管理組合単位での支えあいの仕組みづくりを啓発し、新たに支えあい活動に取り組む団体を支援していく。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●諏訪地区の集合住宅で住民懇談会を開催し、「住民の生活課題」に関するアンケート結果の共有を行った。今後は団地内で「ゴミ出し等」の支えあいの仕組みづくりを支援していく。 ●自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金 今年度は合計13件の交付となった。感染症拡大の影響により、自治会・住宅管理組合の活動自体が昨年度に続き自粛傾向にあったが、区分1については新規で1団体の申請があった。（豊ヶ丘地区） 		

No. 1-1-4-1	たすけあい有償活動の推進		まちづくり推進担当
内 容	<p>福祉制度では対応できない、“日常生活のちょっと困った”を支えるお手伝い活動として、たすけあい有償活動を引き続き推進していきます。同時に、住民ニーズに応じて、たすけあい有償活動の見直しを検討していきます。また、今後利用ニーズが増大していくことが予想されるため、協力員の増員を図ります。特に協力員の少ないエリアにおいては、地区や自治会・住宅管理組合等小エリアごとに協力員説明会を開催するなど増員に努めていきます。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●見直し検討 ●協力員増員(年間新規10人以上) 	<p>→</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●見直し <p>→</p>
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金や活動時間設定などの見直しについて検討していく。 ・高齢化に伴い退会者が増え、協力員が少なくなっている地域（和田や愛宕等）ごとに、自治会・住宅管理組合・コミュニティセンター運営協議会などと連携し、協力員の説明会を開催する。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●買い物支援などは、1時間で活動が終了しないケースがあるため、30分単位で延長できるように、現状対応に合わせ見直し、要綱の改正を行った。 ●協力員の説明会は、和田、関戸、諏訪地区で開催した。新規で15人が登録した他、協力員の口コミにより新規で6人が登録し、合計21人の協力員を確保できた。 		

No. 1-1-5-1	ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援と活動支援		まちづくり推進担当
内 容	<p>「通いの場づくりハンドブック」を活用し、高齢者や子育て中の親子など地域の誰もが楽しく気軽に立ち寄れる仲間づくりの場として、「ふれあい・いきいきサロン」等通いの場（*）の立ち上げ・運営支援を行います。</p> <p>サロンの開催回数に応じて運営継続支援を行っています。</p> <p>（*）通いの場についての説明はNO. 1-1-6-1 参照</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●100か所以上活動支援 		→

	●居場所づくりの手引きの検討・作成	●周知	→
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症下の中で、休止している団体も含め、サロンが継続して活動できるよう、他サロンの情報やオンラインの導入など運営支援の方法を提供する。 ・「通いの場づくりハンドブック」を活用し、通いの場が少ない地域で説明会を開催し、サロンなどの立ち上げや運営を支援していく。 ・通いの場マップや支えあいリストを活用し、サロンへ地域住民の参加を促進し、地域内のつながりづくりを推進していく。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●長期化する感染症下でサロン活動を休止や解散する団体（計10団体）があった。活動継続のための支援として、サロン交流会は、「オンライン」も含め、複数回に分けて開催し、感染症防止に努めながら開催した。 ●諏訪地区や中沢地区では都営住宅の移転により、移転先で住民向けの説明会を実施し、居場所づくり等の支援を開始した。 ●地域の居場所が少ない唐木田地区では、自治会館を活用し、出前サロンを月1回開催して、住民運営に向けて支援した。（継続） 		

No. 1-1-6-1	生活支援体制整備事業の推進	まちづくり推進 担当
内 容	<p>地域福祉コーディネーターが生活支援コーディネーターを兼務し、コミュニティエリア（第2層）での、高齢者の生活支援、介護予防、社会参加を一体的に推進します。</p> <p>今後、ますます高齢化が進んでいくため、地域住民が助け合って、さまざまな機関と連携しながら日常生活を支えていけるようコーディネートしていきます。特に、高齢者自身が支えられるだけでなく、支え手になることでその人の生きがいや介護予防につなげていくため、この支え合い活動の一つである「通いの場（*）づくり」や「通いの場への参加」など通いの場を通じて、地域のつながりの輪を広げ、安心して暮らせる支え合いの地域にしていくことをコーディネートしていきます。</p> <p>また多摩市及び第1層とも連携し、新たな事業を検討し、実施していきます。</p> <p>（*）通いの場とは、地域の人々が集う、身近な交流の場のことをいう。例えば「ふれあい・いきいきサロン」「近所 de 元気アップトレーニング（近トレ）」「認知症カフェ」「子ども・だれでも食堂」「コミュニティカフェ」など。</p> <p>周囲の人との人間関係が希薄化しつつある中、通いの場は、参加者が楽しみながら地域の人間関係を再構築し、つながりをつくるきっかけとなる有効な活動です。</p>	

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
活動計画 (年次計画)	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活圏域の社会資源リストの更新と発信 ●近トレの他新たな通いの場づくり・参加促進 ●ニーズに応じた新規事業の検討・実施 		→
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<p>・日常生活圏域ごとに発行している社会資源リスト(「地域活動・支えあいリスト」)を配布し、高齢者の介護予防や社会参加を促進するべく、「近所 de 元気アップトレーニング」等の普及啓発を継続して行う。</p> <p>昨年度感染症下で活動休止した団体も多くあり、再開のための相談・訪問等の支援を実施する。また、屋外での体操も視野に入れ提案していく。</p> <p>・豊ヶ丘健幸つながるひろば「とよよん」が、新たな通いの場となるよう、とよよん運営住民サポーターや運営主体の楽友会と連携し、様々なプログラム展開を図り、地域での支えあい活動を推進していく。</p> <p>・オンラインを活用した買い物支援など、コロナ禍でも継続実施していけるよう、新たな手法を検討し、地域での支え合いをコーディネートしていく。</p> <p>また第2層で実施が難しいニーズや課題が生じた場合は、第1層協議体に提案するなど、第1層とも連携し、新たな事業を検討していく。</p>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●「地域活動・支えあいリスト」を、民生委員の友愛訪問で配布してもらったことにより、高齢者より「通いの場に参加したい」との問い合わせが多数あった。閉じこもりがちな高齢者(通いの場へつながっていない)をつなげることができた。 ●「認知機能低下に寄り添う通いの場創出」として、高齢支援課、包括支援センター、リハ職と連携しモデル事業の取組みを開始した。 ●近トレの新規立ち上げ 感染症拡大の影響もあり、新規に2団体が立ち上がった。市内近トレ登録団体数:42 団体(R4.3 月末現在)。コロナ禍で活動休止・解散する団体もあった。 ●新たな通いの場づくり 「豊ヶ丘健幸つながるひろば」では、高齢者の男性サポーターや参加者を増やすため、ボランティアセンターと連携し、テーマ型の講座「男匠塾」を開催し、男性の参加促進を図った。3 テーマ(昔遊び・手芸・バルーンアート)12名の男性の参加があった。 		

No. 1-1-7-1	活動拠点の確保		まちづくり推進 担当
内 容	<p>【住民活動の拠点】 身近な地域において社会福祉分野の専門職等と地域住民が協働し、見守りや居場所づくり、食を通じた取り組みや学習支援、生活相談などが展開できる多種多様な福祉コミュニティ（「出会いの場」「協働の場」「協議の場」）が地域に重層的につくられるようコーディネートしていきます。</p> <p>また、東永山複合施設を活動拠点としている、永山地区及び馬引沢・諏訪地区の地域福祉推進委員会活動の拠点確保に向けた調整も引き続きすすめていきます。</p> <p>【地域福祉コーディネーターの拠点】 コーディネーターが、住民に寄り添った支援（コーディネート）をし、コーディネーターが常駐する場の確保など、地域に根ざした活動支援を行い、地域の生活課題の早期発見と早期対応を行う体制づくりに向けて、取り組みます。また、そのために地域福祉コーディネーターの業務内容についても精査していきます。</p>		
活動計画 (年次計画)	<p>令和2年度 (2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 健幸つながる広場（豊ヶ丘）の運営支援 ● 諏訪支部社協のあり方の検討 ● 永山、馬引沢・諏訪地区の地域福祉推進委員会活動の拠点検討 ● 地域福祉コーディネーター業務内容の精査 <p>※コロナ禍で精査不十分。 次年度継続</p>	<p>令和3年度 (2021年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 検討結果を踏まえて取り組み ● 新たな拠点で活動継続支援 ● 地域福祉コーディネーター拠点の検討 	<p>令和4年度 (2022年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域福祉コーディネーター拠点確保に向けた調整
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<p>・「健幸つながるひろば・とよよん(豊ヶ丘地区)」については、地域の大学や企業、ボランティア団体等と地域住民をつなぎ、住民主体の運営に向けての仕組みの構築を目指し、多世代が交流できる場＝地域福祉プラットフォーム(*)となるように支援する。</p> <p>・諏訪支部社協解散に伴い、これまで実施してきた茶話会をサロンとして継続支援できるよう調整するなど、ニーズのある事業の継続実施について、エリア内の地域福祉推進委員会などを通じて検討していく。</p> <p>・永山、馬引沢・諏訪地区の地域福祉推進委員会は、諏訪地区市民ホールをはじめとした公共施設や地域の学校等を活用し、開催していく。</p> <p>・引き続き、地域福祉コーディネーターの拠点確保に向けて、業務内容の精査を行う。</p> <p>(*) 地域福祉プラットフォームとは、だれもが気軽に立ち寄れ、多世代が</p>		

	交流できる居場所。地域住民の困りごと相談にも対応できる場。
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●「豊ヶ丘つながるひろば」については、住民主体の運営を支援し、毎月サポーターミーティングを開催した。住民サポーターは 18 名 (R4. 3 現在) 登録があり、今年度は男性高齢者が参加しやすい、ノルディックウォーキングや、ボランティアセンターと連携した「男匠塾」、多摩大学と連携した「メルカリ講座」等を開催した。 ●東永山複合施設が令和 4 年 1 月をもって使用できなくなったため、施設を利用していた地域福祉推進委員会(永山、馬引沢・諏訪地区)については、学校や福祉館等の施設を活用し開催した。 ●地域福祉コーディネーターの拠点に関しては、組織内で検討に至っていない。主査・係長会議を設け(R3.9)、今後の組織体制及び事務分掌について検討した。アウトリーチするためには、地域福祉コーディネーター業務について精査(たすけあい有償活動・住民主体による訪問型サービスのあり方等)する必要があるため、継続して検討していく。

2 みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます！

2-1 福祉を身近に感じる機会の提供

○市民が誰でも参加できる福祉に関わる行事を開催し、福祉活動の意義や重要性の周知や意識の啓発を図ります。

No. 2-1-1-1	福祉に対する意識の醸成のための事業の実施 (福祉大会・福祉フェスタ)			総務係
内 容	幅広い年代の市民の方々へ体験型や啓発事業として各種福祉イベントを開催し、福祉を身近に感じていただくことのできる機会を設けます。また、パラリンピックの開催など福祉への関心が深まる機に準じ、障害への理解やボランティア・地域活動への意識を高めるための事業を計画していきます。			
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	→
	●福祉大会の開催	●(継続)	●(継続)	
	●福祉フェスタの開催	●(継続)	●(継続)	
令和3年度 事業計画 (実施目標)	・福祉をより身近に感じてもらえるよう、啓発事業として福祉大会および福祉フェスタを開催する。感染症下においては、予防のための各種対策を取って開催するほか、人の集まる催しや体験型の催しから配信などを活用した新しい形式への変更も検討し対応していく。			
取組結果	●コロナ禍での感染拡大防止の観点から、福祉大会・福祉フェスタともに来場を伴うイベントは中止とした。身近な地域での福祉活動について意識啓発を行えるように、地域福祉功労者の表彰について動画を作成しオンライン上での公開を行った。			

No. 2-1-1-2	福祉に対する意識の醸成のための事業の実施 (地域出前事業の開催)			多摩ボラセン
内 容	学校やボランティア・市民活動団体、関係機関等との連携を図りながら、学校での「総合的学習」や企業での「研修会」などの「地域出前事業」を実施するとともに、「学生向けボランティアハンドブック」や「シニア向けボランティア・地域活動ハンドブック」、「要配慮者からのメッセージ」などを活用した「学習会」の開催に取り組みます。 また、「ボランティア・地域活動見本市」の内容を精査し、新たな事業展開や開催時期など含めてボランティア活動を普及・啓発する機会の見直しを図ります。			

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
活動計画 (年次計画)	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉教育、市民学習機会の提供 「地域出前事業の開催」 (年15回以上開催) ●「普及・啓発事業」の見直し検討・実施 (年1回開催) ※コロナ禍で事業中止。 	<ul style="list-style-type: none"> (年15回以上開催) ●「普及・啓発事業」の見直し検討・実施 (年1回開催) ※コロナ禍で事業中止。 	<ul style="list-style-type: none"> (年15回以上開催) ●精査・実施 (年1回開催)
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や企業などにて、各種ハンドブックも活用しながら、地域出前事業を年15回以上実施する。 ・ボランティア・地域活動見本市を福祉フェスタ内で開催し、感染症下においては、予防のための各種対策を取って開催するほか、体験型の催しから配信（オンライン）などを活用した新しい形式への変更も検討し対応していくことで、活動者の発掘を図る。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の小学校の総合的学習に協力（5校）し、高齢者施設やボランティア登録団体等と高齢者疑似体験、車椅子学習会を実施。多摩大学中村ゼミにて「ゲスト講義」の授業を実施した。また、多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会と連携し、車椅子体験の総合的学習のニーズに対応した福祉学習マニュアルを作成した。 ●福祉フェスタにてボランティア・地域活動見本市を開催予定だったが、コロナ禍により福祉フェスタ同様中止とした。 		

No. 2-1-2-1	障がい者理解の促進		センター係 (障がい担当)
内 容	<p>「障がい者と共にひとときの和」開催校のニーズに応じたプログラムを実施するとともに障がい者理解を深める内容の充実を図ります。また、福祉イベント等でハンディキャップ体験を実施、地域や関係機関と連携した講座を開催することで障がい者理解を促進します。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●「障がい者と共にひとときの和」今後の開催に向けて課題等、整理し実施 ※コロナ禍で事業中止。次年度に順延。 ●障がい者スポーツを通じた理解の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ※コロナ禍で事業中止。次年度に順延。 	

	<p>※コロナ禍で事業中止。</p> <p>● 防災訓練や福祉イベント、学校等でのハンディキャップ体験の実施・協力</p> <p>※コロナ禍で事業中止。</p> <p>● 関係機関と連携した地域での学習会やミニ理解講座等の開催</p> <p>※コロナ禍で事業中止。</p>	<p>※コロナ禍で事業中止。</p> <p>※コロナ禍で事業中止。</p> <p>※コロナ禍で事業中止。</p> <p>※コロナ禍で事業中止。</p>	
令和3年度事業計画(実施目標)	<p>「障がい者と共にひとときの和」については、感染症予防のため人が集う従来の方法以外での実施について、開催校のニーズを確認し開催方法を検討する。体験型のみならず理解促進のためのリーフレットなどを活用した取り組みも進めていく。ハンディキャップ体験は新たな実施方法を検討していく。</p>		
取組結果	<p>● コロナ禍によりひとときの和の通常開催は見送りとなり、当事者団体の協力による障がい理解のパンフレット・動画DVD作成に着手、パンフレットが完成した。引き続き、周知や活用法について当事者団体と調整し、次年度の取組みとする。</p> <p>● とよよんにて、市内の補聴器販売店協力による聞こえに関する講話や補聴器についての相談会の開催に向け調整を行ったが、緊急事態宣言発出に伴う閉所のため、開催に至らなかった。</p>		

2-2 ボランティア・地域活動者の発掘・育成

○ボランティア活動や有償活動等、地域の福祉活動や健康づくり活動に積極的に関わっていく人材を育成します。また、単体組織・団体では解決できない課題等に対応していくため、ボランティア団体、NPO・市民活動団体との連携及び支援を強化していきます。

No. 2-2-1-1	ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（社協活動協力員）			総務係
内 容	社協理事・評議員経験者をはじめ、地域で福祉活動を実践しているなど福祉に理解のある幅広い方々に呼びかけをして、活動協力員を増やしていきます。			
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	
	●社協活動協力員の 拡充		→	
令和3年度 事業計画 (実施目標)	協力員へ幅広い内容の協力活動(感染症下の場合は予防を配慮した内容の活動)の呼びかけをして拡大していく。 役員・支援員等退任・退職者に依頼し協力員数を増やしていく。			
取組結果	●コロナ禍により活動は制限されたが、役員・評議員等退任・退職者の協力が得られ増員した。(R4.3月末協力員数34名)			

重点 No. 2-2-1-2	ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（多世代のボランティア・市民活動者）			多摩ボラセン
内 容	<p>子どもからシニアまでを対象に幅広く各年代がボランティア活動等に関心を持ち、気軽に参加できるよう様々なプログラムを実施します。</p> <p>特に、学生がボランティア活動に関心を持ってもらうように、大学等に出向いてボランティア体験の受付や相談窓口の機会を設け、適切な情報提供などをしながら、社会ニーズと学生ニーズのマッチングを行っていきます。同時に、継続的な活動につなげていくためにボランティアサークルの立ち上げ支援や学生個人ボランティアのネットワークづくりなど、学生に寄り添った活動支援を行っていきます。</p> <p>また、元気な高齢者がボランティア・地域活動に参加しやすい環境を整えるために、「多摩市介護予防ボランティアポイント事業」(市受託事業)を実施しながら、活動者の裾野を広げていきます。地域</p>			

	で定期的に相談窓口を設置するなど、高齢者に寄り添った活動支援を行っていきます。		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	●夏のボランティア体験の拡充 (体験メニュー 100メニュー以上) (参加者 400人以上) ※コロナ禍で事業中止。次年度に順延。	(体験メニュー 105メニュー以上) (参加者 400人以上) ※コロナ禍で事業中止。次年度に順延。 ※夏のリモートボランティア体験として実施	(体験メニュー 110メニュー以上) (参加者 425人以上)
	●市内大学(5校)でのボランティア出張相談窓口等の検討・設置(大学1校) ※コロナ禍で調整延期。次年度に順延。	●出張相談窓口等の設置 (大学1校以上) ※コロナ禍で定例開設調整延期。次年度に順延。	●出張相談窓口等の設置 (大学1校以上)
	●市民活動講座の開催(フォローアップ講座を含む) (年2講座以上)	(年2講座以上)	(年2講座以上)
	●多摩市ボランティアポイント事業の拡充		
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<p>・感染症下の場合、市民活動講座や夏のボランティア体験等は感染症予防のためオンライン講座や在宅でできるボランティアを検討、実施する。</p> <p>・多摩市介護予防ボランティアポイント登録者説明会および出張相談を毎月実施する。また高齢者だけでなく、学生のボランティア参加を増やしていくため、大学でのボランティア出張相談窓口等の設置に取り組む。</p>		
取組結果	<p>●ボランティア登録団体(多摩市手話サークル「クローバー」)や高齢者施設と連携し「夏のリモートボランティア体験」を開催(7月15日～7月26日)。参加者数88人。コロナ禍により例年の夏のボランティア体験は中止としたが、活動希望者には、受入れ可能な施設等を紹介し、個別マッチング(6件)を行った。</p> <p>●6月に多摩大学でのボランティア出張相談を実施。相談者4人。</p> <p>●高齢者施設やボランティア活動者と協力しオンラインによるボランティア入門講座を5月25日に開催(参加者8人)。0から始めるZoom講座(初級・ステップアップ)を4月から12月に開催(55人参加)。ボランティア・市民活動団体向け講座を11月20日に開催(オンラインおよび会場。参加者18人)。食の支援ボランティア入門講座を11月8日に開催(参加者28人)。</p> <p>●コロナ禍により活動を自粛、休止しているボランティア・市民活動団体の支援として、「ボランティア・市民活動団体向けステップアップ講座」～コロナを踏まえたこれからの活動を考える～を11月20日に開催(参</p>		

	<p>加者 18 人)し、感染症下における新たなニーズに対するボランティアの育成、団体支援を行った。</p> <p>●ボランティアポイント事業については、コロナ禍により登録施設でのボランティア受け入れを休止しているところが多かったが、新規登録者には受け入れ先を調整し活動に入ってもらった。(マッチング数 9 件)</p>
--	--

No. 2-2-1-3	ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（老人福祉センター）		センター係（高齢担当）
内 容	老人福祉センター利用者や同好会へのボランティア活動等の紹介、地域への広報活動を行い、よりボランティアニーズに応じた具体的な活動に結びつくようコーディネート支援します。		
活動計画 (年次計画)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)
	●活動紹介、コーディネート の機会の拡充	事業の移管に伴い事業受託終了	
令和 3 年度 事業計画 (実施目標)			

No. 2-2-1-4	ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（同行援護従事者）		センター係（障がい担当）
内 容	視覚障がい者の移動や情報支援のための同行援護従事者の増員につながるように、当事者団体や多摩ボラセン、養成校等と連携し取り組みます。		
活動計画 (年次計画)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)
	●より安定した派遣を 行うため、同行援護 従事者の増員を図 る。 (新規登録者 3 名)	(新規登録者 4 名)	→
令和 3 年度 事業計画 (実施目標)	同行援護従事者募集のチラシを同行援護従事者養成校に配布してもらおう。また有償ボランティア説明会等に参加し地域で福祉の仕事に関心がある方に紹介し増員につなげる。		
取組結果	●従事者養成校及び日本点字図書館への募集チラシ配布や、ふくしだより等の広報誌への掲載により、新規に 7 名の方が従事者登録を行った。		

No. 2-2-2-1	個別ニーズに応じたボランティア活動支援(コーディネート)の推進		多摩ボラセン
内 容	<p>個人に対するボランティア活動支援を求められるニーズが少しずつ増えてきています。そのような個別ニーズに対応するため、たすけあい有償活動の仕組みを活かした、「新たな支え合い活動の仕組みづくり(ちょいボラ等)」の検討やボランティアの養成方法、ボランティアをサポートする体制づくりを検討し、双方に寄り添ったコーディネートに取り組んでいきます。</p> <p>特に、自治会のない地域や高齢化率の高い地域では、自治会単位での助け合い活動が難しく、地域での顔の見える関係が希薄化し、とじこもりがちになり孤立しているケースもあるため、まちづくり推進担当の地域福祉コーディネーターが取り組む居場所づくりと連携し、個別ニーズに応じたボランティア活動支援に取り組んでいきます。</p>		
活動計画 (年次計画)	<p>令和2年度 (2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住民ニーズ調査の検討・実施 ●新たな支え合い活動の仕組みづくりの検討 <p>※コロナ禍で調整延期。次年度に順延。</p>	<p>令和3年度 (2021年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住民ニーズ調査の検討・実施 ●新たな支え合い活動の仕組みづくりの検討 	<p>令和4年度 (2022年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアの養成方法やボランティアをサポートする仕組みづくりの検討・構築 ●新たな支え合い活動の仕組みを構築
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<p>・地域で多様化、複雑化する個別ニーズに対して、新たな住民相互の支え合い活動の仕組みづくり(ちょいボラ等)の検討を進めるため、住民ニーズ調査等を検討し、個別ニーズの把握に取り組む。</p>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●とよよんを拠点に日常生活の支援ができる担い手(特に男性)を育成するための企画として、とよよんを会場に「とよよんカレッジ男匠塾」を開催。男性でも気軽に参加できる日常生活支援につながるテーマとして、「手芸(5人)」「昔あそび(6人)」「バルーンアート(5人)」に分け、各月1回開催予定だったが、コロナウイルス感染拡大により、とよよんが2月から閉鎖となったため、2月の講座は中止となった。3月は会場をとよよん近くの集会所に変更して実施した。 ●「とよよんカレッジ男匠塾」では実人数7人(延べ12人)の男性の参加を得ることができた。同じ参加者が複数の講座を受講しているため、参加者同士の交流も行えた。 ●男匠塾の終了後、懇談会を実施し、3名の参加者が4月以降もとよよんを拠点に活動を続けることになった。活動後にとよよんから徒歩圏内の移動販売所で、買い物支援ボランティア活動(※)を実施予定。 <p>(※)【買い物支援ボランティア活動】 移動販売所で買いたいものがあったとしても重くて持ち帰ることができず、買い物をあきらめている主に高齢の方を対象に、購入品を自宅まで一緒に持ち帰りを行う活動。</p>		

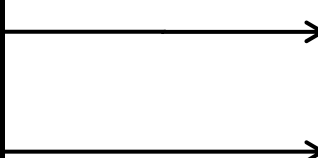
No. 2-2-3-1	ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充		多摩ボラセン
内 容	<p>東永山複合施設の閉鎖に伴い、多摩ボラセン永山分室が使用できなくなるため、多摩ボラセン打ち合わせコーナーの拡張や総合福祉センター等をボランティア団体が使用できるように調整します。</p> <p>また、多摩ボラセン登録団体の支援内容を運営委員会にはかり、登録団体基準等の見直しを検討します。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動団体の活動拠点の整備 ※コロナ禍で調整延期。次年度に順延。 ● ボランティア登録団体基準等の見直し・検討要綱等の改正 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動団体の活動拠点の整備と円滑な移転 ● 新たな「団体登録制度実施要綱」及び「実施要綱細則」に基づいた「団体区分」に沿った支援を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな拠点での支援を開始 ● 精査
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<p>引き続き、ボランティア・市民活動団体の活動拠点について、市と調整しながら、整備を進めるとともに、その移転時期や利用方法などを明確にし、円滑に移転できるようにする。また、令和3年2月に施行した「多摩ボランティア・市民活動支援センター団体登録制度実施要綱」及び「同要綱細則」に基づいた登録団体の「団体区分」に沿って、登録団体への支援内容の見直しを図りながら、ボランティア・市民活動団体の活動を支援していく。</p>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ● 永山分室閉鎖後は、本センター内をレイアウト変更し、新たに活動室 1 から 3 を整備することとした。 ● 移転に関しては、永山分室利用団体懇談会を経て、代表者会議(9月、12月開催)で説明するなど、移転に向けた調整を行った。 ● 永山分室閉鎖後の令和4年2月から4月中旬までは、総合福祉センターの各部屋で活動継続ができるように調整した。 ● 令和3年2月に制定した「団体登録制度実施要綱」及び「同実施要綱細則」を、多摩ボラセン登録団体に丁寧に説明するとともに、令和3年度を移行期間とした。 ● 団体登録の可否及び団体区分については、要綱に基づき、多摩ボラセン運営委員会にて審査を実施し、本会会長が決定する内容で実施した。 		

2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

○市内の企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動に対する支援やコーディネートを行うとともに、民間団体の福祉的活動への支援を推進します。

<p>重点 No. 2-3-1-1</p>	<p>多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築 (多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会)</p>			<p>総務係</p>
<p>内 容</p>	<p>市内社会福祉法人や地域団体・福祉活動団体、企業等と連携しながら、生活困窮・閉じこもり・災害時の支援のような新たな地域ニーズ・生活課題に対しての公益的取組を検討し実施していきます。</p>			
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<p>令和2年度 (2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●法人連携による生活支援・地域活動支援の取組の継続 ●新たな連携事業の実施 <p>※コロナ禍で次年度に順延。</p>	<p>令和3年度 (2021年度)</p> <p>●連携事業の実施</p>	<p>令和4年度 (2022年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業の継続、見直し ●地域ニーズに関する情報収集 	
<p>令和3年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>新たに小中学校における総合的学習の場へ連絡会としての協力を行い、若い世代への福祉啓発を行うにあたって、多摩ボラセンと連携し内容についての精査・検討を進める。また、地域ニーズについて情報収集を継続して行い、フードドライブ事業や地域活動団体への支援等、感染症下における取組み方法を精査・検討しながら、公益的な取組を継続して行っていく。</p>			
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●連絡会内各法人によるフードドライブ実施に向けた食品寄付受付を継続して行い、「多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」の実施する食料提供事業へ協力すると共に、生活困窮者・食支援団体へ継続して食料の提供を行った。 ●若い世代への福祉意識醸成を目的とし、小中学校で行われている総合的学習への協力を行うため、連絡会内に作業部会を設置。ボランティア担当と連携し、総合的学習の場で行われる車椅子体験について、共通のマニュアルを作成した。 			

<p>重点 No. 2-3-1-2</p>	<p>多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築 (「(仮称)多摩地域企業・大学ネットワーク連絡会」の設置)</p>		<p>多摩ボラセン</p>
<p>内 容</p>	<p>市内社会福祉法人や福祉活動団体、企業等の地域福祉活動への参画を促進し、連携・協働しながら、多様な福祉ニーズや生活課題などを解決できるように「多摩地域企業等情報交換の集い」を開催するとともに、ゆるやかなネットワーク化を図りながら、「(仮称)多</p>		

	<p>摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」の組織化に取り組みます。 連絡会設置後は、企業等情報交換の集いと題して行ってきた学習会等や「たまボランティアギフト」の仕組みなどの見直しは、連絡会の中で協議し、それぞれの企業等が「ヒト・モノ・コト・カネ」含めて、協働した取り組みを行っていきけるように活動を支援（コーディネート）していきます。</p>		
	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)
活動計画 (年次計画)	<ul style="list-style-type: none"> ●「多摩地域企業等情報交換の集い」の開催 ●「(仮称)多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」の設置・運営支援 <p>(参加企業等 20 社以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「多摩地域企業・大学等連絡会」の運営支援 ●企業等との協働活動(地域貢献活動)の推進 (仮称)「生活困窮世帯に対する食材提供事業」の試行実施 <p>(参加企業等 22 社以上)</p>	
令和 3 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度設置した「多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)」を通じて、多様化・複合化する地域生活課題等をテーマに学習会や意見情報交換会などを実施し、ネットワークを活かした連携・協働した取り組み(地域貢献活動)が行えるようにコーディネートする。 ・「食」の支援を通じた、「(仮称)生活困窮世帯に対する食材提供事業」の試行実施に向け、協力を働きかける。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●ゆるたまネットが主催して、生活に困窮している「大学生以下の子どもがいる世帯」や「大学生」を対象に、「食料等無料配布事業」を令和 3 年度の 6 月と 12 月に実施した。 ・第 1 弾では 86 世帯 264 名に食料を配布 ・第 2 弾は、151 世帯 480 名に食料を配布 ●「食料等無料配布事業」など食の支援の取り組みを通じて、ネットワークを広げることができた。(会員:R3 年度 28 事業所*R2 年度 25 事業所) ●令和 4 年度は、ゆるたまネット内に食料等無料配布事業実行委員会を設置し、検討・実施していくことになった。 ●また、「災害時の連携について」をテーマに学習会等を実施し、検討していくことになった。 		

No. 2-3-1-3	多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築 (福祉協力店)		総務係
内 容	自販機設置の設置を協力していただける新規福祉協力店を開拓し、本会財政基盤の強化を図っていきます。		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	●自販機設置の新規 協力店の開拓	●1店舗獲得	●見直し
令和3年度 事業計画 (実施目標)	自動販売機の新規協力店を、1店舗獲得を目指す。(自販機は計2台増 増台を目指す。)また自動販売機の設置について、多摩市の入札情報を随時確認し、工 事現場への設置の依頼を行う。		
取組結果	●工場現場への設置は1箇所減(工事終了に伴う撤去)、3箇所新規設 置となった。		

3 みんなの暮らしに“安心”を届けます！

3-1 権利擁護の推進

○成年後見制度をはじめとした権利擁護に関する事業の周知・啓発を図るとともに、市民後見人の育成に努めます。

<div style="background-color: #f08080; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; font-weight: bold;">重点</div> No. 3-1-1-1	権利擁護センターの運営		権利擁護センター	
内 容	高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、福祉サービスの利用支援や、成年後見制度の利用相談等を行います。また、後見活動等の相談や成年後見制度に関わる講演会等を実施し、成年後見制度の普及啓発を行います。			
活動計画 (年次計画)		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	福祉サービス 利用支援事業 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●新規契約 25件 ●普及啓発事業継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●新規契約 25件 	<ul style="list-style-type: none"> ●新規契約 25件
	生活支援員の 育成	<ul style="list-style-type: none"> ●年3回生活支援員募集を行う。 ●年2回生活支援員研修会を実施。 		
	成年後見制度 の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ●成年後見に関する講座、学習会の開催(年5回) ※コロナ禍で中止した講座あり。 ●相談事業継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●成年後見に関する講座、学習会の開催 ●関係機関向け事業・制度説明会の開催 	
成年後見人等 支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●後見人懇談会の開催(年3回) ※コロナ禍で中止した懇談会あり。 ●相談事業継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●後見人懇談会の開催 		
令和3年度 事業計画 (実施目標)	・成年後見制度の一次相談窓口機能を充実させ、関係機関と連携して成年後見制度の利用について検討する場を設け、チームとして本人と後見人等を支援していく体制を整備する。また、後見人等のマッチング支援や親族後見人には定期的な支援を行うなど中核機関としての役割を担っていく。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関向けに事業・制度説明会を行う。 ・高齢者や障がい者およびその家族に、制度・事業説明を行い権利擁護支援が必要な方に適切な支援を行う。 ・福祉サービス利用支援事業の担い手である生活支援員の募集を行い、新たに3名の登録を目指す。また、生活支援員の育成を行う。
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●新規契約者 32 名(内訳:認知症 20 名、精神障がい 9 名、高次脳機能障がい 1 名、要支援1名、身体障がい 1 名) R3 年度末契約者数 109 件。解約者数 24 件。 ●生活支援員募集は 1 回実施。新規生活支援員 5 名登録。生活支援員研修及び連絡会については、地域包括支援センターの役割や今年度発生したヒヤリハットを検証するなど、活動に活かせる内容で実施した。 ●弁護士や税理士などの専門職による、遺言と相続について制度の利用方法等について講演会を開催。新型コロナウイルス感染拡大により、講座が一度延期となったが、申込者のほとんどが延期した講座に参加できた。(2 日間開催、参加者延べ 48 名) ●司法書士会と連携し、成年後見制度に関する相談会を実施した。(1 回実施、参加者 7 名) ●専門職及び親族の後見人等を対象とした懇談会を実施。親族後見人懇談会については、金銭管理における注意点と家裁への報告手続きについて学び、親族後見人としての活動する心構えや、具体的な活動の内容を伝える機会とした。(2 回実施、参加者 12 名) ●成年後見制度の相談件数は 661 件。本人の権利擁護支援に関する検討の場(地域ケア会議等)への参加 38 件。後見人候補者と本人のマッチング支援 26 件。


No. 3-1-2-1	重点		市民後見人の育成	権利擁護センター
	<p>地域住民による支え合いを推進するにあたり、市民後見人を研修や実践を通じて育成を行います。また、法人後見監督人*となり市民後見人の後見活動等支援を行います。</p>			
内 容	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人の養成を受けた人に対してケース受任 ●法人後見監督人として受任、市民後見人の支援・監督 			→

*法人後見監督人：成年後見人等の事務執行を監督する者のこと。市民後見人が家庭裁判所から後見人などに選任された場合、社会福祉協議会等の法人が市民後見人による活動を監督する。

<p>令和3年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●社協に登録した市民後見人へフォローアップ研修を行い、ケース受任に繋げていく。 ●受任された市民後見人に対して法人後見監督人として市民後見人の支援と監督を行う。
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●11月に市民後見人候補者が後見人として受任。また、多摩市社会福祉協議会が法人後見監督人として受任。被後見人の居所を整理の際、法人後見監督人として市民後見人からの相談に対応するほか、裁判所への提出書類の作成支援などを実施した。 <p>令和4年3月末現在、登録市民後見人は2名。フォローアップ研修として、専門職による遺言と相続講座や親族後見人等懇談会に参加し、後見人活動に必要な知識の習得や情報交換をおこなった。</p>

3-2 多様な相談機会の提供

○相談者のニーズに即した専門相談機能を充実するとともに、相談者への包括的支援を目指し、各相談機関及び関係機関との連携を図る体制づくりを進めます。

No. 3-2-1-1	相談窓口の拡充		まちづくり推進担当
内 容	<p>多様化・複雑化する地域生活課題に対応するため、身近な相談場所を広く設置し、分野を問わない「福祉なんでも相談」を実施します。相談者の多様なニーズに応じるため、組織内での連携はもとより、行政や関係機関と連携を図ります。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<p>●地域相談窓口(福祉なんでも相談窓口)の設置(10箇所以上実施)</p>		
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<p>・現在、10カ所で実施している「福祉なんでも相談」については、感染症下での対応方法などをコミュニティセンター等と検討すると共に、引き続き社協内(権利擁護センター、地域活動センター)や専門機関(居住者支援など)と連携して、多機関連携によるテーマ型の相談会を継続して実施する。</p> <p>・「脳トレ」や「ミニ講座」を開催し、参加した高齢者等の顕在化したニーズ以外にも、潜在化したニーズを発見し専門機関等へつなぎ、個別課題の早期発見・解決に努める。また、その参加者が把握している、地域内で起きているちょっとした困り事や気になる人の情報などを聞き出し、解決に結びつけられるようにコーディネートしていく。</p>		
取組結果	<p>●コロナウイルス感染拡大防止の観点から、福祉なんでも相談が中止となったコミュニティセンター等では、電話による相談を受け付けているチラシを掲示して対応した。(令和3年度相談件数59件)</p> <p>●令和3年7月より鶴牧・落合・南野地区のトムハウス(コミュニティセンター)は改修工事により、なんでも相談は開催不可となったため、代替え場所としてJKKと連携し、落合地区の集会所2カ所で実施した。</p>		

3-3 災害時支援体制の強化

○災害時・緊急時に平常時から備えるとともに、災害時・緊急時には市民同士が助け合えるような仕組み・関係を構築します。

No. 3-3-1-1	災害ボランティアセンター運営体制の拡充及び災害時要配慮者支援の啓発の推進		多摩ボラセン
内 容	<p>地域の連携を深め、災害時に高齢者や障がいのある人などが災害弱者にならない体制づくりに努め、日頃から災害に備えた対策を進めるとともに、災害発生時に迅速な対応ができる体制を整備します。</p> <p>災害の規模や内容に応じた「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施し、適時「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の改訂に取り組むなど、日頃から災害に備えた対策を進めていきます。</p> <p>あわせて、災害発生時に迅速な対応ができるよう体制を整備していきます。</p> <p>また、地域防災訓練などに参加しながら地域との連携を深め、冊子「要配慮者からのメッセージ」などを配布するなど、災害時に高齢者や障がいのある人などが災害弱者にならない体制づくりの必要性を当事者とともに啓発していきます。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座を実施して登録運営ボランティアを増やす (登録者数 55 人以上) ※コロナ禍で事業中止。次年度に順延。 	(登録者数 55 人以上)	(登録者数 60 人以上)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害の規模、内容に応じた災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施 (年 1 回) 	(年 1 回) ※コロナ禍で職員のみで実施。	(年 1 回)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害ボラセン運営ボランティア登録者連絡会の開催 (年1回) 	(年1回)	(年 1 回)
<ul style="list-style-type: none"> ● 「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を適時見直し 			

	●災害時要配慮者支援の啓発 (年3回以上)	(年3回以上)	(年3回以上)
	→		
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<p>・「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の見直しを図り、新たに感染症防止対策を盛り込んだ、実践的な「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施する。また、災害支援協定を結んだ、南多摩ブロック4社協（八王子市、町田市、日野市、稲城市）や青年会議所、国土館大学と連携し、共通の「災害ボランティアのオリエンテーションフォーム」の作成や、感染症下の状況に応じて参加者や訓練規模の検討を行い、災害ボラセンの専用フォームでのボランティア等の事前受付や、SNS等を活用した新たな内容を取り入れて実施する。</p> <p>・地域防災訓練に参加するなど、地域との連携を深め「要配慮者からのメッセージ」を配布し、災害時の避難に配慮が必要な方々が、災害弱者にならないような体制づくりを当事者とともに啓発していく。</p> <p>・災害発生時に迅速な対応ができる体制を整備するため、訓練等に協力いただいた市民や災害支援活動を行っている組織・団体と連携して、災害ボラセン運営ボランティア登録者を増やしていくとともに、登録者向けの学習会を開催する。</p>		
取組結果	<p>●近年多発している「風水害」をテーマに「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を6月に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止し、9月に職員のみ訓練を実施した（職員32名参加）。</p> <p>●災害ボランティアセンター運営体制を拡充するため、以下のとおり取り組んだ。</p> <p>①運営ボランティアの登録者のスキルアップも兼ねた「災害ボラセン運営ボランティア育成講座（参加者25人）」を開催し、4名の運営ボランティア登録があった（現在の登録者数56人）。</p> <p>②災害時の相互協力の協定を締結した南多摩ブロック5市社協が協働して、災害ボランティアセンターオリエンテーション動画等を作成した。多摩ボラセンのホームページにて、常時視聴できるようにした。</p> <p>③水害及び感染症対策を盛り込んだ「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を、多摩社協職員による班長会及び各班会議を開催し、作成に取り組んだ。</p>		

3-4 情報発信の強化

○ふくしだよりをはじめ、インターネットやSNSなど多様な情報媒体の活用による福祉情報の発信体制を強化します。

No. 3-4-1-1	広報媒体の拡充			総務係、多摩ボラセン
内 容	<p>情報発信機能の強化のため、ホームページをリニューアル及びFacebook や Twitter などの SNS を活用し、タイムリーな情報発信と相互情報交換が可能になる仕組みを導入するとともに、スマートフォン用ホームページの構築を図ります。</p> <p>また、紙媒体による情報を必要とされる方のために、ホームページやSNSに誘導するだけでなく、ふくしだよりやちらしを見やすいデザインへの変更やボランティア通信のリニューアルも検討します。</p>			
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	
	●ホームページのリニューアルの検討・実施 (スマートフォン用ホームページ含む)	●ホームページリニューアルの実施(未実施分)、スマートフォン版ホームページ作成	●精査	
	●ボランティア通信のリニューアル検討・実施	●ボランティア通信のリニューアルの実施(未実施分)	●精査	
	●Facebook、Twitterの導入検討・実施	●SNSを活用した情報発信の実施	●精査	
	●ふくしだより、ちらしの構成見直し	●実施	→	
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<p>【多摩ボラセン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い年代にも関心をもってもらえるよう、ボランティア通信の編集レイアウトなどを学生の協力を得て検討、実施する <p>【総務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページのリニューアル作業を進め、完了後スマートフォン版のホームページを作成する。 YouTube等、SNSを活用した情報発信の検討や相互情報交換を実施する。 			
取組結果	<p>【多摩ボラセン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍によりボランティア募集は減少しているが、福祉施設で在宅でできるボランティア(手芸など)や園庭など施設内ではなく施設外を利用した活動を開拓し、コロナ禍でもできる活動を提案する 			

など、内容も工夫。また、昨年度に引き続き多摩大学中村その子ゼミに協力していただき、ゼミ企画などを紙面に盛り込み、内容の充実を図った。結果、商業施設などの配架部数が増加した。

【総務係】

- 多摩市社協・多摩ボラセン両ホームページについて、改ざんやなりすまし等を防止する「通信の暗号化」が行われていることを提示可能なSSL証明を導入しセキュリティ強化を行った。
- 広報広聴部会は6回開催。コロナ禍における、障がい者の就労支援施設紹介の応援企画や、食料無料配布事業の取り組みなどの記事をタイムリーな題材について掲載した。

3-5 多様なサービスの提供

○地域住民の福祉ニーズの把握を行い、地域住民が適切なサービスの利用や活動への参加ができるよう、社協受託事業を中心とした福祉サービスの提供体制づくりを推進します。

No. 3-5-1-1	老人福祉センターの充実			センター係 (高齢担当)
内 容	高齢者が充実した地域生活を送れるように、健康増進・いきがいづくり事業、特に退職後の男性の参加が見込まれる内容の精査・実施をするとともに、同好会等にむけて、社会貢献活動についての情報提供や働きかけの強化を図ります。			
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座内容の見直し精査、新規講座2講座以上(年間20講座以上実施) ● ボランティア活動・地域活動につながる講演講座の実施(年間2講座以上) ● 同好会(自主活動グループ)へのボランティア活動等の参加の促進(働きかけの強化) 	事業の移管に伴い事業受託終了		
	令和3年度 事業計画 (実施目標)			

No. 3-5-2-1	地域活動支援センター(障がい者福祉センター)の充実			センター係 (障害担当)
内 容	地域活動支援センターの充実によるサービスの利用拡大や地域活動への参加を進めるとともに、関係機関と連携した障がい者理解の機会の提供を行います。			
活動計画 (年次計画)		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	利用者のニーズに沿った活	● 高次脳機能障がい者向けの	● 事業内容の精査、試行実施	

	動やツールの提供	<p>プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域活動支援センター講座の開催(年12講座) <p>※コロナ禍で中止した講座あり。</p>	<p>※コロナ禍で中止した講座あり。</p>	
	将来安心した生活を送るための相談会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●親なきあと相談会の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●実施 	
	プログラムを通じたボランティアの育成と障がい者理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●ボッチャ貸出、体験会開催。 <p>※コロナ禍で事業中止。(貸出のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【再掲】 <p>スポーツを通じた障がい者理解の推進</p> <p>※コロナ禍で事業中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【再掲】 <p>防災訓練や福祉イベント、学校等でのハンディキャップ体験の実施・協力</p> <p>※コロナ禍で事業中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【再掲】 <p>関係機関と連携した地域での学習会やミニ理解講座等の開催</p> <p>※コロナ禍で開催見送り。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●貸出の実施 <p>※コロナ禍で事業中止。(貸出のみ)</p>	
令3年度事業計画(実施目標)	<p>失語症・高次脳機能障害・統合失調症等のある方を対象としたグループ活動を実施し、社会参加と当事者同士の交流の場を提供していく。活動を通じて生活状況の確認や相談の場としても繋がりを継続していく。事業の周知について、より関心を持ってもらえるよう広報紙の内容をリニューアルを検討する。</p>			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●各種講座は、年12講座の開催を予定していたが、コロナ禍により年7講座の開催となった。 ●失語症グループ活動は今後の自主的な活動に向けた試行を3月より開始した。高次脳機能障がい者向けグループ活動は活動着が見 			

	<p>られるが、グループ活動に馴染まない方への社会参加活動の支援について検討が必要。</p> <p>●親なきあと相談会は、市内事業所の協力によりチラシを配布し、親のみならず兄弟からの新規申込もあった。</p>
--	--

No. 3-5-3-1	障害福祉サービスの提供			センター係 障害担当
内 容	同行援護・意思疎通支援等、その人に必要な多様なサービスの提供と、他機関との調整・連携を行います。			
活動計画 (年次計画)		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●同行援護従事者派遣事業の推進 ●意思疎通支援事業（手話通訳者派遣・要約筆記者派遣）の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●適切なサービスの提供 ●社会参加の促進 ●他機関との連携による利用者支援 	(継続)	→
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●安定した派遣を行い障害のある方の社会参加につなげる。また、利用者の高齢化に伴い関係機関と連携しその方が予定した支援が受けられ安定した生活を維持継続する。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●同行援護/感染症対策を呼びかけながら、社会参加に向けた外出支援を実施した。独居の方の生活状況や健康状態などで課題と思われる点については、関係者と連携した支援を行った。 ●意思疎通支援（手話）/利用者の高齢化に伴い定期通院回数や時間が増加、活動者には専用の透明マスクなどを配布し感染予防に努めながら派遣を継続し行った。要約筆記者の派遣については、講演会等の減により2年連続し、活動が大幅に減少した。 			

No. 3-5-4-1	生活支援の推進（貸付事業）		総務係
内 容	生活困窮者等への貸付事業制度の周知と、しごと・くらしサポートステーション等との連携を通して、必要な生活支援を行います。		
活動計画 (年次計画)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)
	●貸付事業の実施	→	
令和 3 年度 事業計画 (実施目標)	<p>相談を通じて利用者との信頼関係を築き、支援につながる貸付を行い、償還完了までの支援が継続できるよう民生委員との連携体制を作る。</p> <p>また、コロナウィルス感染症に対する特例貸付の償還が今年度から本格化することから、相談や償還を通じて利用者の生活状況の把握を行い、しごと・くらしサポートステーションや民生委員等の関係機関と連携しながら、償還完了までの支援を行う。</p>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●生活福祉資金の相談件数は 295 件、うち貸付決定件数は 5 件。また、小口資金の相談件数は 154 件、うち貸付決定件数は 3 件だった。 ●新型コロナウイルス感染症の影響を受け、失業や休業等で収入減少された方を対象に、生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）が令和 2 年 3 月から開始され、その後、総合支援資金については、令和 2 年 7 月から延長申請が、令和 3 年 2 月から再貸付申請が開始された。 <p>緊急小口資金の相談件数は 597 件、うち申請件数は 438 件（貸付件数については、東社協から多摩社協への決定通知がなく不明）、総合支援資金の相談件数は 937 件、うち貸付決定件数は初回申請 454 件、延長申請 187 件、再貸付申請 553 件だった。</p> <p>主に低所得者向けの通常的生活福祉資金が、今回新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方へ要件が緩和されたことで、特例貸付に申し込まれた方が多かったため、通常的生活福祉資金の貸付相談が減少した。</p> ●生活福祉資金特例貸付の総合支援資金の申請について、生活困窮者自立支援窓口への相談が必須となっていることから、多摩市しごと・くらしサポートステーションや多摩市役所生活福祉課等関係機関と連携して、申請者の支援を行った。 ●特例貸付の償還が開始され償還の相談件数は 50 件受けた。 		


<p style="text-align: center;">重点</p> <p>No. 3-5-4-2</p>	生活支援の推進（（仮称）高齢者安心サポート事業）		権利擁護センター
内 容	新たな取り組みとして高齢者の入院時支援などの対応を行う「（仮称）高齢者安心サポート事業」について検討を行います。		
活動計画（年次計画）	<p style="text-align: center;">令和 2 年度 (2020 年度)</p> <p>●ニーズ調査 ※コロナ禍で次年度に順延。</p>	<p style="text-align: center;">令和 3 年度 (2021 年度)</p> <p>●ニーズ調査 ●事業内容について検討</p>	<p style="text-align: center;">令和 4 年度 (2022 年度)</p>
令和 3 年度事業計画（実施目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が地域で安心して生活を送るための課題やニーズ調査を行い、（仮称）高齢者安心サポート事業の実施内容及び事業実施の必要性等を検討する。 ・ニーズ調査の実施に向けて市と調整しながら取り組む。 		
取組結果	<p>●法政大学宮城孝ゼミの協力を得て、ニーズ調査を実施。市内の高齢者 1,085 名から回答を得られた。一人暮らし、高齢者のみの世帯を中心に分析を行い、報告書を作成した。また、都内で先駆的に事業実施している他社協からのヒヤリングを実施。事業の成果、課題等を聞き取ることができた。ニーズ調査結果、他社協のヒヤリングを基に事業内容の検討を進めた。</p>		

<p>No. 3-5-4-3</p>	生活支援の推進（住民主体による訪問型サービス）		まちづくり推進担当
内 容	多摩市の介護保険制度の介護予防日常生活支援総合事業である「住民主体による訪問型サービス」の事業者として、地域包括支援センターが作成したケアプランに基づいてサービスを提供します。サポーターはたすけあい有償活動の協力員登録をしている者で、多摩市が実施する研修を受講終了した者がサービス従事にあたるようにしているため、協力員増員の取り組みにあわせて活動者を発掘・育成していきます。		
活動計画（年次計画）	<p style="text-align: center;">令和 2 年度 (2020 年度)</p> <p>●サポーター増員(年間新規 10 人以上) *たすけあい協力員の育成と連動</p>	<p style="text-align: center;">令和 3 年度 (2021 年度)</p>	<p style="text-align: center;">令和 4 年度 (2022 年度)</p>
令和 3 年度事業計画（実施目標）	たすけあい有償活動の新規協力員に対し、生活サポーター養成講座について参加を促し、生活サポーターの登録数増員を目指す。また、第 1 層生活支援コーディネーターと連携し、生活サポーターが不足する地域で養成講座参加者を呼びかけるなど、効率よく効果的にサポーターの育成を図っていく。		

	生活支援体制整備事業第1層コーディネーターが主催する、「訪問型サービス指定事業所連絡会」に参加し、他の事業所と情報交換・共有しながら円滑な事業運営をしていく。
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●たすけあい有償活動に登録している協力員へ、生活サポーター養成講座への参加を呼びかけ、今年度新規で10名がサポーター登録をした。 <p>コロナ禍ではあるが、新規利用者は12人あった。感染拡大に留意しつつ活動を継続し、高齢者の生活支援を行った。</p>

No. 3-5-4-4	生活支援の推進（フードドライブ等事業）	多摩ボラセン	
内 容	<p>既存の「誰でも食堂、子ども食堂」運営団体やフードバンク団体と連携を強化し、フードバンク・フードドライブ事業の普及・啓発に取り組みます。</p> <p>また「子ども食堂等活動支援金」は支援対象経費が限られているため、より柔軟に支援金を交付できるように要綱の見直しを行います。</p>		
活動計画 (年次計画)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	●フードドライブ等事業の推進		→
	●「子ども食堂等活動支援金実施要綱」の見直し・改正・実施		→
令和3年度 事業計画 (実施目標)	<p>・「誰でも食堂、子ども食堂」運営団体やフードバンク団体のほか、「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」や「多摩地域企業・大学等連絡会」を通じて、各団体の開催するイベント等でのフードドライブ受付窓口の増設に取り組むとともに、「(仮称)生活困窮世帯に対する食材提供事業」を試行実施する。</p> <p>また、より柔軟な仕組みに改定した「子ども食堂等活動支援金実施要綱」をもとに、子ども食堂等運営団体を支援する。</p>		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●市内でダイエーが運営するスーパー2店舗及び豊ヶ丘商店街内のコミュニティスペース「とよよん」の計3か所に、フードドライブの窓口を設置することができた。また、ゆるたまネットの企業・団体や市内の社会福祉法人などが、職場内でフードドライブを実施するなど、食料支援の輪を広げることができた。 ●多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)主催事業として、生活に困窮している「大学生以下の子どもがいる世帯」や「大学生」を対象とした「食料等無料配布事業」を6月と12月の2回実施した。 <p>「食料等無料配布事業」には、多くの市民や事業所等から、延べ</p>		

	<p>4,309 kgもの食料等の寄附が寄せられ、延べ 237 世帯、744 名の方に配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「子どもたちのために」「子ども食堂のために」といった寄附金を、寄付者の意向に沿って活用するため、「子ども・若者応援基金」(令和4年2月施行)を設置した。 ●「子ども・若者応援基金」の活用の使途、対象経費等を明確化するため、多摩ボラセン運営委員会内に「子ども・若者応援基金活動検討専門委員会」を設置し、「子ども食堂等活動支援金」の見直し、検討を進めた。
--	--

重点 No. 3-5-4-5	生活支援の推進（ひきこもり家族支援）		センター係 （障害担当）
内 容	関係機関と連携してひきこもり家族会を支援し、当事者や家族、支援者に必要な助言や情報提供、支援機関の紹介等を行い、ひきこもり当事者の自立を支援していきます。		
	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)
活動計画 (年次計画)	<ul style="list-style-type: none"> ●ひきこもり家族会の運営会議・定例会に協力し、講演会等を実施 	(継続)	
令和 3 年度 事業計画 (実施目標)	家族会の運営のための助言や情報提供、支援機関との連携、広報に協力していく。家族会の定例会・講演会などの活動を支援し、安心して社会とつながることができる居場所づくりと地域におけるひきこもり等への理解につなげていく。		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍により定例会中止の会もあったが、オンラインツールを利用し世話人を中心に交流を継続、センターだよりへの日程掲載などの広報面で支援を行った。 ●7月に、共催で当事者及び他地域の家族会参加による講演会を実施した。 		

令和3年度 事業報告書

附属明細書

1 組織運営

(1) 三役会の開催

第1回 (R3. 4. 8)	第7回 (R3. 12. 2)
第2回 (R3. 5. 27)	第8回 (R3. 12. 23)
第3回 (R3. 8. 5) ※オンライン開催	第9回 (R4. 2. 3) ※オンライン開催
第4回 (R3. 8. 26) ※オンライン開催	第10回 (R4. 2. 24) ※オンライン併用開催
第5回 (R3. 10. 7)	
第6回 (R3. 10. 28)	

令和4年3月31日現在の役員・評議員の状況

	理事	監事	評議員
定数	10～15	2	30～35
現員数	15	2	33

(2) 理事会の開催

第1回 (R3.6.9) 出席者 10名	
【審議事項】	
第1号議案	令和3年度職員勸奨退職実施要綱の制定について
第2号議案	第24期評議員選任候補者の推薦について
第3号議案	評議員選任・解任委員の外部委員の選任について
第4号議案	役員等賠償保険の契約について
第5号議案	令和2年度事業報告について
第6号議案	令和2年度決算について
第7号議案	令和3年度補正予算について
第8号議案	令和3年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について
第2回 (R3.6.28) 出席者 13名	
第9号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会会長の選定について
第10号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会副会長の選定について
第11号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会常務理事の選定について
第3回 (R3.9.) 書面決議	
第12号議案	令和3年度補正予算について
第13号議案	令和3年度第2回評議員会の招集について
第4回 (R4.1.12) 出席者 11名	
第14号議案	各種基金設置に関する規程の一部改正について
第15号議案	子ども・若者応援基金の制定について
第16号議案	第5次多摩市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱の制定について
第17号議案	就業規則の一部改正について
第18号議案	嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について
第19号議案	臨時職員雇用等に関する規則の一部改正について
第20号議案	事務決裁規則の一部改正について
第21号議案	経理規程の一部改正について
第22号議案	契約規程の一部改正について
第23号議案	令和3年度補正予算について

第 24 号議案	令和 3 年度福祉大会における被表彰者の決定について
第 25 号議案	令和 3 年度第 3 回評議員の招集について
第 5 回 (R4. 3. 9)	出席者 12 名
第 26 号議案	経理規程の一部改正について
第 27 号議案	職員自己啓発助成取扱要綱の一部改正について
第 28 号議案	たすけあい有償活動事業実施要綱の一部改正について
第 29 号議案	多摩市介護予防・日常生活支援総合事業運営規程の一部改正について
第 30 号議案	嘱託職員雇用規則の一部改正について
第 31 号議案	福祉サービス利用援助事業の利用料不納欠損処理について
第 32 号議案	令和 3 年度補正予算について
第 33 号議案	令和 4 年度事業計画について
第 34 号議案	令和 4 年度予算について
第 35 号議案	令和 3 年度第 4 回評議員会の招集について

(3) 評議員会の開催

第 1 回 (R2. 6.)	書面決議
第 2 回 (R2. 11.)	書面決議
第 3 回 (R3. 1.)	書面決議
第 4 回 (R3. 3. 22)	出席者 27 名

(4) 監査の概要

- 第 1 回 (令和 2 年度決算監査) (R3. 5. 17) 出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。
- 第 2 回 (令和 3 年度中間決算監査) (R3. 11. 5) 出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。

(5) 各委員会の活動報告

地域福祉活動計画推進委員会	
開催状況	第 1 回 (R3. 11. 29) 出席者 10 名
第 5 次地域福祉活動計画策定委員会	
開催状況	第 1 回 (R4. 2. 16) 出席者 14 名
多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会	
開催状況	第 1 回 (R3. 5. 17) 出席者 10 名
	第 2 回 (R3. 9. 6) 出席者 15 名
	第 3 回 (R3. 11. 15) 出席者 13 名
	第 4 回 (R4. 1. 17) 出席者 14 名
	第 5 回 (R4. 3. 14) 出席者 12 名

権利擁護センター運営委員会					
開催状況	第1回	(R 3. 11. 25)	出席者	5名	
	第2回	(R 4. 3. 18)	出席者	6名	

役員選考委員会					
開催状況	第1回	(R 3. 5. 7)	書面決議	8名	
	第2回	(R 4. 2. 18)	出席者	6名	

苦情解決第三者委員会					
開催状況	第1回	(R 3. 11. 18)	出席者	3名	

(6) 各部会の活動報告

総務部会					
開催状況	第1回	(R3. 8. 2)	出席者	9名	
	第2回	(R4. 1. 18)	出席者	7名	

広報広聴部会					
開催状況	第1回	(R3. 4. 16)	出席者	5名	
	第2回	(R3. 6. 15)	出席者	7名	
	第3回	(R3. 7. 13)	出席者	8名	
	第4回	(R3. 8. 11)	出席者	7名	
	第5回	(R3. 10. 19)	出席者	8名	
	第6回	(R3. 12. 13)	出席者	6名	

イベント推進部会					
開催状況	第1回	(R3. 7. 2)	出席者	5名	
	第2回	(R3. 11. 29)	出席者	9名	

地域福祉まちづくり部会					
開催状況	第1回	(R3. 8. 10)	出席者	15名	
	第2回	(R3. 12. 10)	出席者	15名	

部会連絡会					
開催状況	第1回	(R3. 12. 20)	出席者	4名	

(7) 後援名義の使用許可状況

年度	29	30	R1	R2	R3
後援名義使用許可件数	25件	24件	27件	13件	10件

(8) 多摩社協活動協力員登録状況

年度	H29	H30	R1	R2	R3
登録者数	23人	23人	26人	29人	34人

2 連絡調整

(1) 実習生の受入れ状況

年度	人数	期間	学校名
29	5	H29. 8. 1～9. 6 (24日) 2人	大妻女子大学
		H29. 10. 5～11. 27 (25日) 2人	明星大学、武蔵野大学
		H30. 2. 7～3. 15 (24日) 1人	大妻女子大学
30	5	H30. 8. 6～9. 8 (24日) 2人	大妻女子大学
		H30. 10. 1～11. 25 (25日) 2人	明星大学、武蔵野大学
		H31. 2. 5～3. 11 (24日) 1人	大妻女子大学
R1	4	R1. 8. 7～9. 10 (24日) 1人	大妻女子大学
		R1. 10. 1～11. 11 (24日) 1人	武蔵野大学
		R1. 10. 1～11. 12 (24日) 1人	明星大学
		R2. 2. 3～3. 9 (24日) 1人	東海大学
R2	4	R2. 8. ～9 (24日) 2人	大妻女子大学
		R2. 10～11. (24日) 1人	明星大学
		R3. 3. 8～3. 19 (10日) 1人	大妻女子大学
R3	5	R3. 5. 24～6. 15 (14日) 1人	大妻女子大学
		R3. 10. 11～11. 12 (24日) 1人	大妻女子大学
		R3. 10. 11～11. 12 (24日) 1人	明星大学
		R4. 2. 1～3. 7 (24日) 2人	大妻女子大学

(2) 講師の派遣

年度	日数	テーマ	学校名
29	1	ボランティア活動をはじめるにあたって	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
30	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
R1	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
R2		なし	
R3		なし	

3 普及・啓発

(1) 会報「ふくしだより」の発行

単位：円

年度	発行数	配布方法	内 容	広告収入	発行経費
29	年6回 発行 (5・7・9・ 11・1・3 月)	・ポスティングによる全戸配布(平成25年度から実施) ・公共施設、郵便局、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付(録音テープ、デージー版(29年度より実施)を視覚障がい者に送付)	タブロイド版 70,000部	300,000	3,408,749
30				455,000	4,793,591
R1				396,150	4,901,740
R2				155,000	5,502,911
R3				104,000	4,845,500

(2) 福祉バザー

単位：円

年度	日時	場所	バザー等 収入	バザー 経費	収益額	備考
29	29.10.15(日)、 30.2.21(水) ～24(土) 10:00～15:00	総合福祉 センター	693,265 (673,915)	83,392	609,873	福祉フェスタ、春の発表会、福祉大会の開催日に合わせて実施
30	30.10.21(日)、 30.2.20(水) ～22(金) 10:00～15:00		612,131 (599,331)	20,038	592,093	
R1	R1.10.20(日)、 10:00～15:00		412,721 (295,500)	32,438	380,283	
R2	未開催	-	-	-	-	感染症拡大防止のため開催せず
R3	未開催	-	300 (0)	-	300	

※バザー等収入額は、バザー出店参加費、飲み物販売、寄附品の販売等その他収入を含む。

()内の数字はバザーのみの収入額

(3) 福祉フェスタ

年度	日時	場所	来場者数	内容	備考
29	29.10.15(日) 10:00～15:00	総合福祉 センター および アクアブル多摩	約4,200人 ※天候：雨	・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催(共同企画スタンプラリー等実施) ・多摩市共催 地域福祉フォーラム ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん	協賛・協力：28団体 参加：65団体 協力者(ボランティア)71人
30	30.10.21(日) 10:00～15:00		約4,300人 ※天候：晴	・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつり、大妻多摩	協賛・協力：15団体 参加：55団体

				祭との同日開催（共同企画 スタンプラリー、キャラク ターの交流事業実施） ・就活応援セミナー、フード ドライブ受付 ・福祉団体等による販売、体 験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけ んちん	協力者（ボランティア）63 人
R1	R1. 10. 21(日) 10:00～15:00		約 4,000 人 ※天候：曇	・たまかんフェスタ、からき だ菖蒲館まつり、大妻多摩 祭との同日開催（共同企画 スタンプラリー、キャラク ターの交流事業実施） ・ボランティア・地域活動見 本市 in 福祉フェスタ 2019 ・障がいスポーツボッチャ体 験会 ・福祉団体等による販売、体 験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけ んちん	協賛・協力：16 団体 参加：52 団体 協力者（ボランティア）53 人
R2	未開催	-	-	-	感染症拡大防止のため 開催せず
R3	未開催	-	-	-	

(4) 福祉大会

年度	日時	場所	内容	参加者
29	30. 2. 24 (土) 10:00～15:00	総合福祉 センター およびア クアブル ー多摩	・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、 模擬店、福祉体験コーナー、発表 ・バリアフリー映画上映会 ・式典(表彰者：個人 27 人、4 団体) 感謝状：個人 5 人、16 団体) 平成 29 年度事業報告 フラダンス同好会ステージ発表 協力：1 団体、参加：25 団体	・受賞者 36 人 ・来賓者 21 人 ・来場者 1,000 人
30	31. 2. 9(土) 13:00 ～16:45	パルテノ ン多摩小 ホール	「法人化 45 周年平成 30 年度福祉大会」 ・福祉功労者の表彰式典及びミニコンサート (表彰者：個人 26 人、10 団体) 感謝状：個人 31 人、204 団体) ・子どもの貧困に関する講演会 講師：首都大学東京子ども・若者貧困研究セ ンター長 阿部 彩 氏 役員等研修参加者 64 人、一般参加者 212 人、行政職員等 8 人	・受賞者 81 人 ・来賓者 23 人 ・式典/講演会延べ 来場者 486 人
R1	R2. 2. 29(土) (式典中止)		・福祉功労者の表彰(表彰状：個人 16 人、9 団体、感謝状：個人 5 人、21 団体)、郵送 にて賞状と記念品を贈呈 ・多摩市共催講演会「誰もが安心して暮らせ る地域づくりに向けて」、多摩桜の丘学園に よるアトラクションは中止	

R2	R3. 2. 27(土) (式典中止)		<ul style="list-style-type: none"> 福祉功労者の表彰(表彰状：個人 18 人、7 団体、感謝状：個人 10 人、14 団体)、郵送にて賞状と記念品を贈呈 ふくしだより紙面および多摩社協 HP 上にて表彰者を紹介。表彰者へのメッセージを撮影し、オンライン上で公開。 	
R3	R4. 2. 26(土) (式典中止)		<ul style="list-style-type: none"> 福祉功労者の表彰(表彰状：個人 20 人、6 団体、感謝状：個人 9 人、13 団体)、郵送にて賞状と記念品を贈呈 ふくしだより紙面および多摩社協 HP 上にて表彰者を紹介。表彰者へのメッセージを撮影し、オンライン上で公開。 	

(5) メールマガジン配信状況

年度	29	30	R1	R2	R3
年度末 登録者数	810	815	765	734	683
配信回数	6	12	16	13	13

※原則毎月 15 日に配信。そのほか不定期に配信

※平成29年10月より配信開始

(6) 福祉協力店状況

年度		H29	H30	R1	R2	R3
店舗数		66	76	75	80	77
協 力 内 容	募金箱	53	57	57	58	59
	広報紙	60	63	65	69	68
	自販機	7	6	5	5	4
	車椅子	4	4	7	9	6
	入れ歯回収	-	3	3	5	8
	フードドライブ	-	-	-	2	2

※平成29年度より「災害用自動販売機（自販機）の設置」及び「車椅子の設置」を新設

※平成30年度より「入れ歯回収ボックスの設置」を協力内容に新設

※令和2年度より「フードドライブ」を協力内容に新設

※協力内容（内訳）の件数は延べ数

4 組織強化活動

(1) 会員賛助金の状況

会費及び賛助金の単位：円

区分・単価 (円)	29年度		30年度		R1年度		R2年度		R3年度	
	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金	件数	賛助金
個人会員 @500以上	3,302	2,457,118	3,465	2,561,440	2,997	2,229,700	2,504	2,094,200	2,464	1,989,000
団体会員 3,000以上	168	559,500	178	585,500	185	612,873	155	615,100	141	529,500
特別会員 10,000以上	120	1,385,000	118	1,467,000	112	1,345,000	108	1,295,000	97	1,185,000
合計	3,590	4,401,618	3,761	4,613,940	3,294	4,187,573	2,767	4,004,300	2,702	3,703,500

(2) チャリティーゴルフ大会

年度	日にち	場所	参加者	参加費 収入	協賛 収入	大会 経費	収益額	備考
29	29. 6. 19 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	165 人	340,000	399,000	75,751	663,249	協賛： 46 団体、個人 4 人
30	30. 6. 18 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	158 人	332,000	370,600	72,497	630,103	協賛： 43 団体、個人 2 人
	30. 12. 3 (月)	府中カントリークラブ	118 人	592,500	234,600	374,450	452,650	協賛： 18 団体、個人 4 人
R1	01. 7. 8 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	174 人	352,000	343,800	97,235	598,565	協賛： 29 団体、個人 2 人
	01. 12. 2 (月)	府中カントリークラブ	94 人	515,000	162,800	363,720	314,080	協賛： 12 団体、個人 2 人
R2	02. 12. 7 (月)	府中カントリークラブ	113 人	348,000	250,600	123,212	475,388	協賛： 18 団体、個人 3 人 (経費には中止した 6 月桜ヶ丘大会の案内 通知経費含む)
R3	03. 10. 4 (月)	桜ヶ丘カントリークラブ	139 人	296,000	324,800	135,310	485,490	協賛：29 団体、個人 6 人 (当初予定 7 月 より延期)
	03. 12. 6 (月)	府中カントリークラブ	128 人	384,000	279,100	146,182	516,918	協賛： 9 団体、個人 6 人

(3) 寄付金の状況

単位：円

区 分	H29	H30	R1	R2	R3	
一般寄付	2,028,021	1,270,461	1,537,622	1,079,968	1,762,858	
指定寄付	ボランティア 基金	9,557	31,353	50,000	442,281	1,108,567
	ボランティア・ 市民活動支援	244,688	231,430	194,600	165,940	2,436,642
	小地域 福祉活動	95,000	45,879	87,538	26,205	17,057
	その他	-	-	-	272,912	30,000
合 計	2,779,266	1,579,123	1,869,760	1,987,306	4,249,572	

※その他は、用途を「子ども食堂」「フードドライブ・フードバンク事業」「地域活動支援センター」へ指定

5 助成事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	5,401,000	4,410,139	81.65	4,916,000	3,643,916	74.12

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	5,401,000	3,249,151	60.15	4,916,000	2,362,777	48.06

(2) 福祉団体補助

① 令和3年度実績

目的	団体へ補助することで、地域福祉の充実と発展を図る。	
補助団体	13 団体 ① おしゃべりノササゲの会 (パーキンソン病患者と家族の会) ② サンクラブ多摩 (精神障がい者の家族会) ③ 多摩市失語症友の会こだま (失語症当事者の会) ④ 多摩市視覚障害者福祉協会 (視覚障がい者当事者の会) ⑤ 多摩市手をつなぐ親の会 (知的障がい児者と保護者の会) ⑥ 多摩市遺族会 (遺族会) ⑦ 多摩市身体障害者福祉協会 (身体障がい者当事者の会) ⑧ 特定非営利活動法人くぬぎ (知的障がい児者の会) ⑨ 多摩市聴覚障害者協会 (聴覚障がい者当事者の会) ⑩ 多摩草むらの会 (精神障がい者と家族の会) ⑪ プレイルームゆづり葉の家 (知的障がい児者の会) ⑫ 多摩市ひとり親家庭の会ほほえみ (ひとり親家庭の会) ⑬ 特定非営利活動法人暉望 (障がい者の会)	上記 13 団体を交付決定したが、新型コロナウイルスの影響のため、2 団体（多摩市失語症友の会こだま・特定非営利活動法人暉望）が事業中止に伴い、全額返還となった。
補助金額	総額 1,482,093 円	

② 福祉団体補助金の状況

単位：円

	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
補助団体	15 団体	13 団体	13 団体	13 団体	13 団体
補助総額	2,509,712	2,197,282	2,182,880	1,503,470	1,482,093

(3) 老人クラブ連合会事業費補助金

連合会が行う事業に要する経費の一部を補助することにより、高齢者間の交流や親睦、連合会の活動の活発化を図る。

補助団体：多摩市老人クラブ連合会

補助金額：150,000 円(年額) ※事業費（芸能大会、車椅子講習、体力測定会等）に充当

※新型コロナウイルス感染拡大の影響による一部事業中止につき 60,000 円返還あり。

(4) 自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金

自治会・住宅管理組合が行う地域での福祉活動（生活支援、見守り活動、地域のまつり、敬老事業、防災・文化活動等）に関する事業に対して助成することで、地域の福祉の振興を図る。

		29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
対象団体	自治会	94 団体	92 団体	92 団体	92 団体	95 団体
	管理組合	102 団体	100 団体	110 団体	110 団体	109 団体
	計	196 団体	192 団体	202 団体	202 団体	204 団体
助成団体	自治会	33 団体	30 団体	26 団体	7 団体	6 団体
	管理組合	34 団体	35 団体	35 団体	4 団体	7 団体
	計	67 団体	65 団体	61 団体	11 団体	13 団体
助成総額		1,286,750	1,407,550	1,175,293	250,000	330,017

単位：円

※平成30年度までは、「自治会・住宅管理組合福祉活動助成金」

※上限額：設立助成金：1 団体 5 万円（区分1のみ対象）

活動助成金：区分1…1 団体 5 万円

区分2…1 団体 2 万円

区分3…1 団体 1 万円

（平成30年度までは上限：1 団体 2 万円）

※申請受付期間：1次(前期)(区分1～区分3)…4月19日～6月30日（交付決定9月）

2次(後期)(区分1～区分3)…7月1日～10月29日（交付決定12月）

※通常は1次募集を区分1～3、2次募集を区分1・2のみだが、コロナウイルス感染症の影響を鑑み、2次募集でも区分1～3を受付。

※令和3年度は、コロナウイルスの影響等で、交付決定17 団体 380,000 円のうち、交付辞退が3 団体 30,000 円、事業中止により全額返還した団体が1 団体 10,000 円、事業の一部中止により一部を返還した団体が1 団体 9,983 円あり。

（辞退、全額返還については、上記の団体数及び助成総額からは除外）

6 地域福祉活動の推進事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	5,370,000	3,597,302	66.99	7,193,000	3,935,027	54.71

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	5,370,000	3,435,653	63.98	7,193,000	3,474,532	48.30

(2) 相談事業「福祉なんでも相談」

①令和3年度実績

開催会場 開催日時	① 愛宕かえで館 第2木曜日 (午後2時～3時30分・10回実施) ② ひじり館 第3金曜日 (午後1時30分～3時・10回実施) ③ 貝取こぶし館 第1月曜日 (午後1時30分～2時30分・12回実施) ④ 三方の森コミュニティ会館 第4水曜日 (午後1時30分～3時・10回実施) ⑤ トムハウス 第2火曜日 (午前11時～午後12時・9回実施) 改修工事のため10月から会場を変更して実施(落合4-5集会所、落合3-2集会所を使用) ⑥ からきだ菖蒲館 第3火曜日 (午後2時～3時30分・9回実施) ⑦ 桜ヶ丘(サロン内) 第1木曜日 (午後2時～3時30分・6回実施) ⑧ 連光寺福祉館 偶数月第4火曜日 (午後2時～3時30分・2回実施) 大規模改修工事のため、終了 ⑨ 大栗川かるがも館 第4火曜日 (午後2時～3時30分・7回実施) ⑩ 諏訪福祉館 奇数月第3火曜日 (午前9時30分～11時・6回実施)
内 容	地域住民の身近な相談を関係する団体等と適切につなぐことで、問題の早期発見と予防に努めるとともに、本協議会や福祉サービスの情報提供及びPRを図る。 地域活動支援センターあんどや権利擁護センターと連携し、専門相談への対応を図る。
対 象 者	市民全般
相談件数	相談件数 59件(高齢51件、障がい1件、その他7件) 事業参加者 146人(脳トレ、ミニ講座等) *前年度同期 36件(高齢51件、障がい2件、その他1件) 事業参加者 141人
連 携 者 (団体)	コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター 多摩市役所都市整備部都市計画課、高齢支援課、地域活動支援センターあんど 権利擁護センター

②福祉なんでも相談の実施状況

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
相談件数	86	75	80	36	59

(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業

①令和3年度実績

内 容	<p>小地域福祉活動推進にあたり、住民主体で行う地域でのサロン活動の推進と支援を行う。</p> <p>登録団体への支援内容 <活動方法・内容等の相談、情報提供、人材紹介、保険料の負担> <活動費の補助・・設立助成金 20,000円、活動助成金 月1回実施 5,000円、月2回または3回実施 10,000円、月4回以上または週1回以上実施 15,000円> ・保険加入団体105団体 ※年度途中で解散した団体があり年度末での団体数は104となっている。 ・助成金返還2団体より合計10,000円あり</p>
対象団体	市内の任意の市民団体
連携者(団体)	サロン活動団体、地域包括支援センター、多摩市、民生・児童委員

②ふれあい・いきいきサロンの実施状況

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
登録団体数	72	89	105	102	104
助成団体数	60	73	89	84	80
助成総額 (単位：円)	470,000	815,000	1,125,000	960,000	955,000

③ふれあい・いきいきサロン説明会

開催日時	<p>第1回 令和3年6月16日(水) 午前10時～11時30分</p> <p>第2回 令和4年3月28日(月) 午前10時～11時</p>
会 場	<p>第1回 諏訪老人福祉館 1階第会議室</p> <p>第2回 諏訪5-12-2自治会 集会所</p>
内 容	<p>ふれあい・いきいきサロン・近所de元気アップトレーニングの概要、登録の流れについて説明</p> <p>第2回はたすけあい有償活動の説明会と合同開催</p>
対象者	多摩市民
参加者	<p>第1回 2人</p> <p>第2回 8人(諏訪5-12-2住民)</p>

④サロン交流会

開催日時	<p>第1回 令和3年9月29日(水) 午前10時～11時30分</p> <p>第2回 令和3年12月22日(水) 午後2時～3時30分</p> <p>第3回 令和4年2月7日(月) 午前10時～11時30分</p> <p>※第1回はオンラインのみで開催</p> <p>※第3回は新型コロナウイルス感染拡大を受け中止</p>
会 場	<p>第1回 多摩ボランティア・市民活動支援センター打ち合わせコーナー</p> <p>第2回 二幸産業・NSP健幸福祉プラザ7階研修室、704研修室、ボランティア活動室</p>

内 容	第1回：コロナ禍でのサロン状況、事前アンケート結果まとめ、フリートーク 第2回：コロナ禍でのサロン状況、グループに分かれて情報交換
対象者	ふれあい・いきいきサロンスタッフ 社協登録サロン：104、連携サロン5、市内地域包括支援センター
参加者	第1回 サロン世話人4団体4人、地域包括支援センター3人、高齢者見守り相談窓口2人 第2回 サロン世話人等 13 団体 17 名 ※中止となった第3回は、事前申込 13 団体 16 人、包括 2 人参加予定だった

令和3年度ふれあい・いきいきサロン等活動状況一覧

ア) 本協議会登録サロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
1	①	サロン河原倶楽部	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第2土曜日	H21	無
2		この指とまれ	ポロン(関戸4丁目)	毎週月・水曜日、 第2・4月曜日	H21	無
3		関戸みのり会	関戸第一クラブ集会所 (関戸5丁目)	隔月第1木曜日	H25	無
4		一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所	毎週水曜日	H27	有
5		関戸さくら会	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第1月曜日	H24	有
6		たまりばらんど	個人宅(一ノ宮4丁目)	毎月第3火曜日	H28	有
7		3丁目かわせみ会	関戸3丁目集会所	毎週月曜日	H28	有
8		みんなの食堂 スプーン	一ノ宮児童館	毎月第3金曜日	H29	無
9		サロン・フランヴィーヴル	フランヴィーヴル聖蹟桜ヶ丘2階カフェ	①毎月第3金曜日 ②第1・3水曜日	H29	有
10		サロンまちの縁側	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎週木曜日	H30	有
11		地域交流スペース やどり木	個人宅(関戸2丁目)	①毎週水曜日 ②第2金曜日 ③第4金曜日	R1	有
12		マドカ・ストレッチ体操サロン	多摩中学校クラブハウス、木の実集会所	毎週木曜日	—	有
13		1・2・3・4いきいき体操	桜ヶ丘一ノ宮集会所(一ノ宮4丁目)	毎週木曜日	R1	有
14		桜ヶ丘近トレ	あいフィットネスサロン さくら地域交流室(関戸1丁目)	毎週火曜日	R1	無
15	②	連光寺志学サロン	連光寺志学サロン (連光寺2丁目)	①毎月5日・20日 ②毎週木曜日	H20	有
16		京王一の宮サロン	京王一の宮集会所 (連光寺4丁目)	毎週木曜日	H21	有
17		にじの会	向ノ岡集会所 (連光寺1丁目)	毎月10日	H21	有
18		ふれあいサロン「すずめのお宿」	エステート聖ヶ丘-3集会所	毎月第3木曜日	H22	無
19		聖ヶ丘2丁目東サロン“気まま会”	エステート聖ヶ丘2丁目東団地集会所	①毎週月・火・木・日曜日 ②毎月第3 or 4水曜日 ③毎月第2・4金曜日 ④隔月土曜日	H22	無

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付	
20	②	聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	①毎週月曜日 ②毎月第4土曜日	H23	有	
21		サロン・ボンジュール	聖ヶ丘2丁目集会所	毎週水・日曜日、毎月第1.4木曜日、第3火曜日	H24	有	
22		いきいきローズ	木の実公園集会所(連光寺3丁目)	毎週月曜日	H27	有	
23		木の実サロン	木の実公園集会所(連光寺3丁目)	毎月第2火曜日	H27	有	
24		日の出サロン	木の実公園集会所(連光寺3丁目)	毎月第2木曜日	H28	無	
25		聖ヶ丘ふれあいサロン	多摩ニュータウン聖ヶ丘団地集会所(聖ヶ丘1丁目)	毎週火曜日	H11	有	
26		連光寺東部健幸サロンわわわ(我和輪)	連光寺東部集会所(連光寺6丁目)	毎週木曜日	H29	有	
27		サロンひなの会	連光寺志学サロン(連光寺2丁目)	毎月第1・3水曜日	H30	有	
28		ふらっと亭	ひじり館(聖ヶ丘2丁目)	毎月第2木曜日	H30	無	
29		金聖会	聖ヶ丘2丁目自治会集会所	毎週金曜日	H30	有	
30		聖ヶ丘2丁目-西ニコニコ・サロン	エステート聖ヶ丘-西団地集会所(聖ヶ丘2丁目)	①第1・3日曜日 ②第2・4火曜日	R1	有	
31		近トレ丘の上	関戸自治会南田俱樂部(聖ヶ丘1丁目)	毎週火曜日	R2	無	
32		③	桜ヶ丘まちネットにこにこサロン	桜ヶ丘集会所(桜ヶ丘1丁目)	毎週木曜日	H24	有
33			サロン かなかな	桜ヶ丘集会所(桜ヶ丘1丁目)	毎月第1月曜日	R3	有
34	④	もぐさ井戸端サロン	三方の森コミュニティ会館	毎月第2水曜日	H15	無	
35		三方の森ふれんど広場	三方の森コミュニティ会館	毎月第2土曜日	H28	有	
36		ラダー三方の森	三方の森コミュニティ会館	毎月1・3火曜日	H30	有	
37		ふらっと東寺方	東寺方地区市民ホール	毎週水曜日	H30	有	
38		東寺方健やかサロン	東寺方自治会館	毎月第1月曜日	R1	無	
39	⑤	サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取1-40団地集会所	毎週水曜日	H23	有	
40		あたご村いどばた会	愛宕2丁目住宅管理組合集会所	毎月第3木曜日	H26	有	
41		愛宕第一住宅サロン	愛宕第一住宅集会所(愛宕1丁目)	毎週水・土曜日	H26	有	
42		はなもものつどい	グリーンヒル貝取1-28団地集会所	毎月第2木曜日	R1	有	

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
43	⑥	やまももの会	ホームタウン諏訪集会所	毎月第3土曜日	H16	有
44		ひまわりの会	個人宅(諏訪2丁目)	毎月第1・3木曜日	H26	有
45		F棟みまもりサポート	諏訪2-4F棟	毎月第3木曜日	H28	無
46		いきいき健賢会	諏訪2-2C棟 諏訪第3公園	毎月第1・3火曜日	H29	有
47		なごやか健幸体操の会	グリーンメゾン諏訪集会所 (諏訪3丁目)	毎週火・木曜日	H30	有
48		はなみずき近トレクラブ	諏訪地区市民ホール (諏訪5丁目)	①毎月第1・2・4月曜日 ②毎月第3火曜日	H30	有
49		のんびり馬引沢	馬引沢自治会館 (馬引沢2丁目)	毎月第4土曜日	R1	有
50		あんずの会	永山ハウス集会所 (諏訪1丁目)	毎月第2月曜日	R3	有
51		さくらんぼの会 アダプト班	ブリリアニュータウン諏訪D棟西側 (諏訪2丁目)	毎月第2・4土曜日	R3	有
52		⑦	永山3-1ふれあい	永山3-1集会所	毎月第3木曜日	H15
53	健康麻雀友の会		東永山複合施設	毎週火・木・土 毎月第1・2日曜日	H17	無
54	瓜生サロン		瓜生集会所 (永山6丁目)	①毎月第3火曜日 ②毎月5日	H21	有
55	いきいきサロン・メゾネット永山		メゾネット永山5団地管理組合法人集会所	毎月第1火曜日	H24	有
56	サロン5-21		タウンハウス永山5集会所	①毎月第1木曜日 ②毎週月曜日	H27	有
57	ネットワーク永山「体操サロン」		諏訪老人福祉館等	毎月第2水曜日	H28	有
58	すいすいサロン		永山東集会所 (永山4丁目)	毎週水曜日	H30	有
59	Mayuサロン		多摩市音訳グループ繭事務所 (永山2丁目)	毎月第4土曜日	H30	有
60	ラウンジ永山		永山西集会所Eラウンジ (永山4丁目)	毎週火曜日	H30	無
61	瓜生元気アップトレーニング		瓜生集会所(永山6丁目)	毎週月曜日	H30	有
62	いきいきサロン夢の会		東永山複合施設	毎週火曜日	H30	有
63	エステート永山-3近トレ教室		エステート永山3団地集会所	毎週月曜日	R1	有
64	3の2近トレサロン		永山3-2集会所	毎週水曜日	R1	無
65	アイ♪ビ		個人宅(永山2丁目)	毎週木・日曜日	R1	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
66	⑦	永山3丁目 近トレクラブ	西永山福祉施設多目的室、永山3-12自治管理の会集会所	毎週火曜日	R3	有
67	⑧	月曜会	グリーンメゾン貝取2集会所	毎月第1・3月曜日	H1	有
68		豊ヶ丘5-3懇話会	豊ヶ丘5-3集会所	毎週月曜日	H9	無
69		基楽会	豊ヶ丘地区市民ホール	毎週月・水・金・土曜日	H15	無
69		豊ヶ丘4-1ふれあいおしゃべりサロン	豊ヶ丘4-1集会所	毎月第2水曜日	H16	有
70		ふれあいサロン『木の葉』	豊ヶ丘5-1集会所	毎月第3金曜日	H18	有
71		豊ヶ丘3-3ふれあい会	豊ヶ丘3-3集会所	毎月第1月曜日	H19	無
72		ふれあいサロン貝取4-4	貝取4-4集会所	毎月第2土曜日	H21	有
73		サロン・コスモ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内(豊ヶ丘3丁目)	毎月第3金曜日	H24	無
74		茶ロン つむぎ	エステート貝取-2住宅管理組合集会所	①1か月前にスタッフ会議で決定 ②毎週水曜日	H25	有
75		南野カフェ	パルシステム東京 多摩センター交流ルーム	毎週月曜日	H28	有
76		いきいきサロン「げんき会」	ゆたか庵	毎月第3土曜日	H28	有
77		サロン・ふれあい貝取	貝取こぶし館	毎月第2土曜日	H29	無
78		コスモ近トレ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内(豊ヶ丘3丁目)	毎週水曜日	H30	無
79		コーヒータイム	エステート豊ヶ丘2-6集会所	毎月第3水曜日	R1	有
80	元気アップサロン	貝取こぶし館	毎週水曜日	R1	有	
81	GM2シニア会	グリーンメゾン貝取2集会所	①毎週水曜日 ②隔月第2または第4日曜日	R1	有	
82	⑨	グリーンメゾン鶴牧3環の会	グリーンメゾン鶴牧3集会所	①毎週木曜日 ②第1・3土曜日、 ③毎月第2日曜日	H15	有
83		ブリリアシニアの会	ブリリア多摩センターパーティールーム(鶴牧3丁目)	毎月第3水曜日	H20	有
84		落合4の3園芸有志会	落合4-3集会所、落合第4公園	毎週土曜日	H22	有
85		鶴三会	タウンハウス鶴牧3丁目団地集会所 58	毎月第3木曜日	H24	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付	
86	⑨	木曜サロン	落合 3-4 集会所	毎週木曜日	H25	有	
87		鶴 5 東町会親睦会	鶴牧 5 丁目集会所	毎週月曜日	H25	有	
88		落合 4 の 3 おはなし会	落合 4-3 集会所	毎月第 2・4 火曜日	H27	有	
89		「喫茶くすのき」	タウンハウス鶴牧 4 集会所	毎月第 1 木曜日	H27	有	
90		ふれあい サロン 結	落合 4-4 集会所	毎週水曜日	H27	有	
91		おしゃべり広場	グリーンコープ落合団地集会所	①第 3 火曜日 ②第 4 月曜日	H28	有	
92		南野 3 丁目ふれあいサロン	南野 3 丁目集会所	不定期開催	H28	無	
93		たまデフサロン	からきだ菖蒲館 総合福祉センター創作室 1・2	毎月第 4 月曜日	H29	有	
94		落合 3-5 自治会コミュニティサロンあいあい	落合 3 丁目住宅集会所	毎週木曜日	H30	有	
95		ツル 4 近トレ会	タウンハウス鶴牧 4 集会所・奈良原公園	毎週水曜日	H30	有	
96		みんなで元気はつらつ会	タウンハウス落合 5 集会所	毎週金曜日	H30	有	
97		オーベル近トレクラブ	オーベルグランデュオ多摩中央公園コミュニティスクエア	毎週火曜日	H30	有	
98		鶴 5 ふれあいサロン	鶴牧 5 丁目集会所	①毎月第 2・4 水曜日 ②毎月第 1・3 金曜日	R1	有	
99		OGB会（落合活き生きさろん）	落合Dブロック集会所	毎週月曜日	R1	有	
100		ブリリア 健康体操クラブ	ブリリア多摩センターエクササイズルーム（鶴牧 3 丁目）	毎週木曜日	R3	有	
101		ながら運動の会	東落合小多目的ホール	毎週土曜日	R3	有	
102		⑩	ハイライズタウン親睦の会	ハイライズタウン鶴牧 6 集会所	毎月第 2 日曜日	H19	有
103			アルテ体操の会	アルテヴィータマンション内コミュニティリビング（鶴牧 1 丁目）	毎週水曜日	H30	無
104			中沢近トレの会	エステート中沢集会所（中沢 2 丁目）	毎週火・水曜日	R1	有

イ) 連携サロン(社協サロン登録をおこなわず活動しているサロン。社協は、サロン活動における相談支援・サロン交流会などにおける情報交換の機会の提供などの連携を図っている)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	⑥	カレーの日(馬引沢団地ボランティアクラブ)	馬引沢団地自治会集会所	第2水曜日	H9	
2		永山ハイツ体操サロン	永山ハイツ集会所	毎週月曜日	H30	
3	⑧	みのりの会	貝取2-10 団地集会所	第1木・第3金曜日	H18	元社協登録サロン
4	⑨	落合3-2自治会ふれあいサロン	落合3-2自治会集会所	毎週月・火曜日	H8	
5		三々五々の会	落合3-3集会所	毎月第1水曜日	H19	元社協登録サロン

ウ) 諏訪支部によって実施されているサロン

※令和2年度をもって諏訪支部が開催したことに伴い、サロン活動も終了。その後各地域でのサロン活動へ。

エ) ラウンジ

(サロン活動の中で、毎週1回以上の開催、小イベントの実施など一定の条件を満たす活動)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	⑥	諏訪5丁目ぶらっとラウンジ	諏訪5丁目集会所とその周辺	毎週土曜日	H21	

(4) 小地域福祉活動推進事業

地域住民ニーズの把握や住民自らが福祉課題を共有化し、それぞれの地域の個別課題の解決に向けて協議する場として、コミュニティエリア内の自治会・住宅管理組合、民生委員、地域包括支援センター、福祉団体ボランティア、コミュニティセンター運営協議会や社協役員とともに「地域福祉推進委員会」を設置し、地域住民がさまざまな地域課題解決に取り組めるよう支援する。

① 令和3年度実績（小地域福祉活動状況）

エリア名	小地域福祉活動の進捗状況
<p>第1エリア (関戸・一ノ宮)</p>	<p><関戸エリア> ■まち育てネットワーク・関一 *委員会：6回開催 : 延べ90団体90人参加 ※第1, 3, 6回は ZOOM 開催 *世話人会：6回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み] ※定例の委員会では、コロナ禍の地域活動状況と情報交換を実施。 [委員会企画事業]</p> <p><まち歩き> ・3月「大丸用水編」18人参加 *広報紙：「まちネット・関一だより」 ・第12号 [5月] 800部発行 *多摩第一小学校放課後教室ボランティア協力： ・12月：竹とんぼ ・1月：凧あげ *新規サロン登録：なし</p> <p><一ノ宮エリア> *地域事業（ふれあい・おとなりサンデー）への参加及び協力 ※コロナ禍のため中止</p>
<p>第2エリア (連光寺・聖ヶ丘)</p>	<p>■連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会 *委員会：6回開催 : 延べ164団体227人参加 ※第2、3、4、6回委員会はひじり館、本村集会所（志学サロン）、ZOOM 参加に分散して開催 ※第5回委員会は ZOOM 開催</p> <p>*世話人会：11回開催 ※第1、2、3、4、5、9、10、11回世話人会は会場と ZOOM 参加で開催 *オリエンテーション：1回開催 10団体13人参加</p> <p>[定例の委員会内での取り組み] ・各団体からの報告・情報交換[5、7、9、11、1、3月] ※1月はオンラインのみで開催</p> <p><学校連携グループ> ・さくら運送 ～多摩桜の丘学園・ビッグエー連携買い物支援プロジェクト～ 水曜日実施(回数は月により異なる)、緊急事態宣言中及びオミクロン株感染拡大期間は開催なし。令和3年度は6、7、9、10、12月、1月開催。</p> <p>*各部会の活動 ○広報部会 ・広報紙「ふくしポスト」</p>

	<p>第28号 [5月] 4,000部発行 第29号 [9月] 3,500部発行 第30号 [1月] 3,500部発行</p> <p>○事業部会 講演会「終活ってなあに？」 ※コロナ禍のため延期、令和4年6月予定</p> <p>*聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施（ひじり館）10回実施。 ※コロナ禍のため1回中止。 ・福祉なんでも相談の実施（連光寺福祉館）2回実施。 ※大規模改修工事のため開催中止。 *新規サロン登録：なし</p>
<p>第3エリア (桜ヶ丘)</p>	<p>■桜ヶ丘まちネット *委員会：2回開催 ※コロナウイルスの影響で1回紙面開催 ：延べ12団体22人参加 ※紙面開催は15団体参加 *世話人会：12回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ※コロナ禍の活動アンケートや定例の委員会では情報交換・地域課題討議等を実施 〔委員会企画事業〕 *普及啓発講座： 「桜ヶ丘ビューポイント巡り」 [10月・3月] 参加者：10月 31人・3月 31人 協力：介護予防リーダー 「たましょうぼうしょへゆこう！」 [12月] 参加者：70人 協力：児童館、防犯パトロール、自治会 「最良の看取り・最良の自分じまいをするために」 [3月※] 講師：西部地域包括支援センター職員 共催：ゆう桜ヶ丘・桜ゆうゆう会 ※コロナ感染状況を鑑み5月に開催を延期 *広報紙：「さくらの丘だより」 第21号 [5月] 2,900部発行 第22号 [10月] 3,000部発行 *サロン活動にこここサロン（毎週木曜） 27回開催 延べ約240人参加（うち新規9人） ※コロナウイルスの影響で4ヶ月休止期間あり ・福祉なんでも相談の実施（こここサロン内）：6回実施。 （連携：西部地域包括支援センター） *桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 ・「ゆう桜ヶ丘夏まつり」への運営の協力、コロナ禍で中止 *新規サロン登録：サロンなかなか</p>
<p>第4エリア (東寺方、和田、百草、落川)</p>	<p><百草団地周辺エリア> ■三方の森ふれんど *委員会：6回開催 ：延べ81団体99人参加 *世話人会：11回開催 〔委員会企画事業〕 *定例食事会：コロナ禍で食事会を中止。代替案として会場にて弁当配付を行った。6回実施 参加者：平均36人（令和3年度新規6人） 連携：愛生苑 *なな山緑地見学会：世代間交流 2回実施</p>

	<p>各回約 40～50 人の児童と大人が参加した。 連携：なな山緑地の会ボランティア、児童館</p> <p>*啓光グループホーム見学：近隣に新設した障がい者施設を見学。7月実施 参加者：18人 連携：啓光福祉会</p> <p>*広報紙：「三方の森ふれんどだより」 第10号 [10月] 1,300部発行 第11号 [3月] 1,300部発行</p> <p>*サロン活動 三方の森ふれんど広場（第2土曜日）6回実施</p> <p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（三方の森コミュニティ会館）：10回実施。 （連携：西部地域包括支援センター） ※高齢者を対象の脳トレ、「脱水症について」ミニ講座実施。 <p><東寺方エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会夏祭り コロナ禍で中止 ・ざっくばらん座談会 1回実施 <p><和田エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談（運協共催・連携：西部包括支援センター） 7回実施。 脳トレ実施 <p>*新規サロン登録：なし</p>															
<p>第5エリア （愛宕・乞田）</p>	<p><愛宕エリア></p> <p>■ほほえみネットワーク・愛宕</p> <p>*委員会：2回開催 ：54人参加</p> <p>*世話人会：12回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほほえみサミット「特殊詐欺防止講座」 [10月] 27人参加 ・まち歩き「まち歩き&りんご狩り」（日向園） [11月] 27人参加 ※ほほえみサミット コロナ禍により延期 [3月] <p>[委員会企画事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーケードカフェ 実施（会場：愛宕第一住宅商店街） <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>6月</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10月</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>11月</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>12月</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>1月</td> <td>11人</td> </tr> </table> <p>*広報紙：「ほほえみ通信」 第8号 [6月] 3,000部発行 特別号 [11月] 3,000部発行</p> <p>*愛宕コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施：10回実施 <p>*新規サロン登録：なし</p>	第1回	6月	22人	第2回	10月	15人	第3回	11月	15人	第4回	12月	11人	第5回	1月	11人
第1回	6月	22人														
第2回	10月	15人														
第3回	11月	15人														
第4回	12月	11人														
第5回	1月	11人														
<p>第6エリア （馬引沢・諏訪）</p>	<p>■馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ113団体157人参加</p> <p>*世話人会：12回開催</p> <p>*オリエンテーション：1回開催 5団体9人参加</p>															

	<p>〔定例の委員会内での取り組み〕</p> <p>* 本年度のテーマ 「馬引沢・諏訪地域の連携強化 ～共有から協働へ～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬引沢・諏訪版若者会議で出たアイデアを基に意見交換[4月] ・地域別グループワーク「地域のいいコト・困りごと探し」～子ども・若者・高齢者・障がい者・地域活動について～[6月] ・テーマ別グループワーク[8月、10月] <p>①地域人材リストの作成</p> <p>②コロナ禍でのコミュニケーション～多世代がつながる場づくり～</p> <p>③新たな人材(若者など)が地域活動に参加するためのきっかけづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別グループワーク[12月] <p>①地域人材リストの作成</p> <p>②多世代がつながる場づくり～これからのコミュニケーション～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインウォークラリー[3月] <p>〔委員会企画事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料スマートフォン教室 合同会社 MichiLab と共催 令和3年6月27日開催、参加者20名 ・馬引沢通り・諏訪名店街オンラインウォークラリー企画委員会 8回開催 ・見守りウォーキング [毎月第3木曜日] 12回実施 <p>* 広報紙：「ささえ愛」 第15号 オンラインウォークラリー特集として令和4年4月に発行予定</p> <p>* その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民懇談会 「ご近所ちょこっと座談会～ゴミ出しサポート編」 ①グリーンメゾン諏訪団地（諏訪3丁目）令和4年3月27日実施。 住民12名、包括1名参加。 ・アンケート調査報告、ゴミ出しに関する意見交換 <p>* 諏訪福祉館との連携： 福祉なんでも相談の実施 6回</p> <p>* 新規サロン登録： あんずの会、さくらんぼの会 アダプト班</p>
<p>第7エリア (永山)</p>	<p>■福祉のネットワーク永山</p> <p>* 委員会：6回開催 ：延べ121団体160人参加</p> <p>* 世話人会：12回開催</p> <p>〔定例の委員会内での取り組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を知ろう～永山地域の通いの場・地域活動の紹介～ [5月] ・要配慮者の見守り活動について [7月] ・コミュニティの見守り（自治会・管理組合グループに分かれて意見交換）[9月] ・永山地域で住み続けられるために～終活を考える～（高齢者安心サポート事業（仮）について） [11月] ・自治会・管理組合の支えあいの仕組みづくり [1月] ・今年度の振り返りと次年度に向けて [3月] <p>〔委員会企画事業〕</p> <p>* 交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まち歩き」開催（毎月第2・最終火曜日） <p>* 見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守りウォーキング（毎週月曜日）

	<p>*健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク永山「体操サロン」(毎月第2水曜日) <p>*広報紙:「ふくしのネットワーク永山だより」(季刊発行)</p> <p>40号 [4月] 1,200部発行 41号 [8月] 1,700部発行 42号 [10月] 1,000部発行 43号 [1月] 1,400部発行</p> <p>*ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「瓜生小地区防災組織担当者連絡会」5回開催。 ・避難所運営訓練実施[11月]:112人参加。 ○「永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会」1回開催。 <p>*新規サロン登録:永山3丁目近トレクラブ</p>
<p>第8エリア (貝取・豊ヶ丘)</p>	<p>■ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな</p> <p>*委員会:4回開催</p> <p>※コロナウイルスの影響で2回中止 :延べ104団体150人参加</p> <p>*世話人会:12回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貝取・豊ヶ丘の現状・新型コロナウイルスの状況下での地域活動[5月] ・防災と見守り[7月] ・72時間ゲーム [11月] ・地域での支えあい(豊ヶ丘3-3団地管理組合「声掛け隊」)[3月] <p>*広報紙:「きずな通信」(年1回発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4号 [4月] ○部 <p>*貝取コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施:12回実施。 相談件数:6件 ・元気チェックへ協力:6回実施 <p>*豊ヶ丘健幸つながるひろばの運営検討</p> <p>社会福祉法人楽友会と連携。 住民サポーターへの支援</p> <p>*新規サロン登録:なし</p>
<p>第9エリア (鶴牧・落合・南野)</p>	<p>■ふれあitomども</p> <p>*委員会:2回開催</p> <p>:延べ51団体 68人参加。 ※コロナウイルスの影響で4回中止</p> <p>*世話人会:10回開催</p> <p>〔定例の委員会内での取り組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴牧・落合・南野地区の地域情報&ふれあitomどもの活動、コロナ禍での地域活動について[7月] ・大妻女子大学連携「防災について」[11月] <p>*広報紙:「tomどもだより」</p> <p>第14号 [1月] 2,000部発行</p> <p>*鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施(トムハウス):3回実施。 ※令和3年7月~令和4年8月は改修工事のため中止 (連携:多摩センター地域包括支援センター) <p>*新規サロン登録:ブリリア健康体操クラブ・ながら運動の会</p>

<p>第10エリア (唐木田・中沢・ 山王下)</p>	<p>■ほっとネットしょうぶ *委員会：4回開催 ：延べ57団体、87人参加 ※コロナウイルスの影響で2回中止 *世話人会：10回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・唐木田、中沢、山王下の地域状況について〔4月〕 ・特殊詐欺被害防止講座〔6月〕 ・大妻女子大学連携「防災について」〔10月〕 ・身近な地域でのつながり～地域資源を知ろう～〔12月〕 *広報紙：ほっとネットしょうぶ通信 第7号800部〔10月〕発行 第8号800部〔3月〕発行 *唐木田コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施（からきだ菖蒲館）：8回実施。 *唐木田自治会との連携 ・唐木田周辺住民を対象とした通いの場の創出に向けた支援をを6月から3月に実施し令和4年度に活動を開始する予定。 *新規サロン登録：なし</p>	
<p>※地域福祉推進委員会の主なメンバー（民生委員、地域包括支援センター、自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター運営協議会、サロン、老人クラブ、青少年問題協議会地区委員会、地域防犯・防火活動組織、大学（企業）、事業所など）</p>		
<p>地域福祉推進委員会情報交換会 (地域福祉推進委員会連絡会)</p>	<p>開催日時</p>	<p>令和3年11月30日(火)午後2時～4時</p>
<p>会場</p>	<p>会場</p>	<p>二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 7階研修室</p>
<p>内容</p>	<p>内容</p>	<p>みんなで考えるまちづくり まちづくりサミット</p>
<p>対象者</p>	<p>対象者</p>	<p>各地域福祉推進委員会世話人、参加者</p>
<p>参加者</p>	<p>参加者</p>	<p>ゲスト：横溝惇氏(スタジオメガネ)、住安隼夫氏（多摩市百草団地自治会）、村田裕司氏（落合4-5自治会） 参加者30人</p>
<p>地域福祉普及啓発講座</p>	<p>開催日時</p>	<p>令和3年10月13日(水)、10月27日(水)午後2時00分～午後4時00分 2回連続講座</p>
<p>会場</p>	<p>会場</p>	<p>二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 7階研修室</p>
<p>内容</p>	<p>内容</p>	<p>地域活動に活かせる！スマホ動画編集基礎講座</p>
<p>対象者</p>	<p>対象者</p>	<p>各地域福祉推進委員会世話人・参加者</p>
<p>参加者</p>	<p>参加者</p>	<p>講師：有限会社オフィスベビー加藤岳洋氏（諏訪在住、永どんサポータークラブ会長） 参加者32人</p>

7 生活支援体制整備事業

(1) 契約状況等

	R3 年度	R2 年度
契約年月日	令和 3 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
契約金額	18,085,000 円	10,588,000 円
契約変更年月日	令和 4 年 1 月 7 日	令和 3 年 1 月 4 日
契約金額	17,784,000 円	10,107,000 円

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	R3年度			R2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	17,784,000	17,784,000	100	10,107,000	10,107,000	100

② 支出の状況

単位：円

区 分	R3年度			R2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	17,784,000	17,687,405	99.5	10,107,000	10,035,287	99.3

(3) 生活支援コーディネーターの活動状況

① 活動件数

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
個別支援	157	129	175	134	147
地域支援	1,656	2,449	2,026	1,628	1,068

*R3年度から集計方法をケースごとに変更（H29～R2は関わった職員数で集計）

② 相談・対応・事業内容

		居場所	見守り	防災・防犯	介護予防	生活支援	認知症	地域行事	制度	その他
個別支援	29年度	22	19	4	23	83	15	4	27	10
	30年度	19	12	2	24	64	25	1	18	10
	元年度	18	28	5	41	71	26	3	36	26
	2年度	27	34	0	24	62	15	2	20	19
	3年度	42	51	2	40	40	31	1	19	19
地域支援	29年度	771	674	381	529	312	291	191	43	63
	30年度	1,200	1,055	462	817	364	341	415	63	147

	元年度	926	842	359	610	451	285	257	90	164
	2年度	780	691	261	594	366	240	128	55	167
	3年度	446	416	159	288	187	138	84	54	223

③ 連携先・繋ぎ先

		多摩市	警察 消防	専門 機関	包括	協議 体	企業 社福	学校 関係	地域 団体	コミ セン	民生 委員	NPO・ ボラ	社協 内	その 他
個別支援	29年度	19	0	11	57	1	6	0	13	5	11	3	30	3
	30年度	14	1	13	47	7	2	1	7	4	3	5	12	2
地域支援	29年度	267	24	209	333	55	201	190	486	242	388	326	77	44
	30年度	476	35	247	486	120	302	258	821	295	526	403	150	53

		多摩市	専門 機関	医療 機関	包括	協議 体	企業・ 社福・ NPO	学校 関係	サロ ン	老人 クラブ	自治会・ 管理組合	自主 防	コミ セン・ 福祉館	民生 委員	ボラ ンテイ ア	社協 内	その 他
個別支援	R1年度	22	17	1	64	0	20	3	5	2	5	0	4	9	5	10	4
	R2年度	26	21	6	44	1	6	1	7	0	6	0	1	1	3	11	3
	R3年度	22	14	11	72	3	16	3	15	0	4	1	3	9	6	9	1
地域支援	R1年度	347	177	22	394	90	268	189	415	226	320	132	283	349	195	110	52
	R2年度	155	79	9	146	24	270	188	426	108	278	27	225	228	203	84	43
	R3年度	209	42	9	208	45	266	150	243	71	228	39	126	164	171	25	54

*R1年度より集計項目の変更を行った

*R3年度から集計方法をケースごとに変更（H29～R2は関わった職員数で集計）

④ 具体的な取り組み内容

※地域福祉コーディネーターと兼務のため、地域福祉推進委員会での活動は上記参照

ア) 介護予防

○近所de元気アップトレーニング(近トレ) 令和3年度 活動状況一覧 (令和4年3月31日現在)

※助成金は立ち上げから4回目以降は交付なし。

NO	エ リ ア	団体名	場 所	日 時	近トレ 登録年 度	助成金交 付
1	①	一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所（一ノ宮1丁目）	毎週水曜日 13:30～15:00	H30	無
2		サロンまちの縁側	関戸河原クラブ集会所（関戸2丁目）	毎週木曜日 14:00～15:30	H30	無
3		桜ヶ丘近トレ	あいフィットネスさくら（関戸1丁目）	毎週火曜日 14:00～15:00	H30	無
4		1・2・3・4いきいき体操	桜ヶ丘一ノ宮集会所（一ノ宮4丁目）	毎週木曜日 10:00～12:00	R1	有
5		3丁目かわせみ会	関戸3丁目集会所	毎週月曜日 10:00～11:00	R2	有

6		連光寺東部健幸サロン わわわ（我和輪）	連光寺東部集会所（連光 寺6丁目）	毎週木曜日 13：00～15：00	H30	無
7		連光寺志学サロン	連光寺志学サロン（連光 寺2丁目）	毎週木曜日 13：30～15：00	H30	無
8		聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	毎週月曜日 8：45～9：15	H30	無
9	②	金聖会	聖ヶ丘2丁目集会所	毎週金曜日 10：00～11：30	H30	有
10		京王一の宮サロン	京王一の宮集会所（連光 寺4丁目）	毎週木曜日 14：00～15：00	R1	有
11		近トレ丘の上	関戸自治会南田倶楽部 （聖ヶ丘1丁目）	毎週火曜日 10：30～12：00	R2	有
12	③	コスモスの会	あいクリニック	毎週金曜日 14：00～16：00	H30	無
13	④	ふらっと東寺方	東寺方地区市民ホール	毎週水曜日 14：00～16：00	H30	無
14		サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取1-40 団地集会所	毎週水曜日 9：30～11：30	H30	無
15	⑤	いきいき元気アップ教室	和田集会所	毎週水曜日 10：00～11：00	H30	無
16		はなみずき近トレクラブ	タウンハウス諏訪集會 所（諏訪3丁目）	毎週月曜日 10：30～12：00	H30	無
17	⑥	なごやか健幸体操の会	グリーンメゾン諏訪集 会所（諏訪3丁目）	毎週火・木曜日 10：00～12：00	H30	無
18		ブリリア月曜会	ブリリア多摩ニュータ ウンC棟マルチルーム	毎週月曜日 10：00～12：00	R1	無
19		ラウンジ永山	永山西集会所Eラウン ジ（永山4丁目）	毎週火曜日 14：00～16：00	H30	無
20		すいすいサロン	永山東集会所（永山4丁 目）	毎週水曜日 10：30～11：30	H30	無
21		瓜生元気アップトレー ニング	瓜生集会所（永山6丁目）	毎週月曜日 10：30～12：00	H30	無
22		永山ハイツ体操サロン	永山ハイツ集会所（永山 2丁目）	毎週月曜日 13：30～15：00	H30	無
23		いきいきサロン夢の会	東永山複合施設A棟3 04	毎週火曜日 14：00～16：00	H30	無
24	⑦	サロン5-21	タウンハウス永山5集 会所	毎週月曜日 10：00～11：30	R1	有
25		エステート永山-3近トレ 教室	エステート永山3団地集 会所	毎週月曜日 14：00～15：30	R1	有
26		3の2近トレサロン	永山3-2集会所	毎週水曜日 10：00～12：00	R1	無
27		永山3丁目 近トレクラ ブ	西永山福祉施設多目的 室、永山3-12自治管理の 会集会所	毎週火曜日 14：00～15：30	R3	有
28		南野カフェ	パルシステム東京多摩 センター交流ルーム（南 野1丁目）	毎週月曜日 13：30～14：30	H30	無
29	⑧	コスモ近トレ	コスモフォーラム多摩 コミュニティ棟内（豊ヶ 丘3丁目）	毎週水曜日 10：00～11：00	H30	無

30		茶ロン つむぎ	エステート貝取-2集会所	13:30~15:30	R1	有
31		GM2シニア会	グリーンメゾン貝取2集会所	毎週水曜日 11:00~12:00	R1	有
32	⑨	落合3-5自治会コミュニティサロンあいあい	落合3-5集会所	毎週木曜日 10:00~12:00	H30	無
33		ツル4近トレ	タウンハウス鶴牧4集会所	毎週水曜日 10:30~12:00	H30	無
34		Dグラフィート煉瓦坂サロン	落合2-38マンション内	毎週月曜日 11:00~12:00	H30	無
35		みんなで元気はつらつ会	タウンハウス落合5集会所	毎週金曜日 10:30~11:30	H30	有
36		鶴5東町親睦会	鶴牧5丁目集会所	毎週月曜日 14:00~16:00	R1	有
37		オーベル近トレクラブ	オーベルグランデュオ多摩中央公園コミュニティスクエア	毎週火曜日 10:00~12:00	R1	有
38		OGB会(落合生き生きサロン)	落合ブロック集会所	毎週月曜日 13:30~16:00	R1	有
39		ブリリア体操広場	ブリリア多摩センターエクササイズスタジオ	毎週木曜日 10:00~12:00	R2	有
40		⑩	アルテ体操	鶴牧1-17マンション内コミュニティリビング	毎週水曜日 10:00~11:00	H30
41	中沢近トレの会		エステート中沢集会所	毎週水曜日 10:30~11:30	R1	有
42	ながら運動の会		東落合小学校多目的ホール	毎週土曜日 10:00~11:30	R3	有

②活動・助成の状況

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
活動団体数	27	39	42	42
助成団体数	20	32	32	17
助成総額 (単位:円)	300,000	480,000	310,000	135,000

イ) 生活支援

エリア	事業名	対象	担い手	連携先	内容
②	さくら運送	地域住民 ※店舗から 20分圏域	多摩桜の丘学園高等部	多摩桜の丘学園 ビッグ・エー 連光寺・聖ヶ丘地域 福祉推進委員会	高齢者等の買い物支援。 スーパーで購入した物を、本人と一緒に多摩桜の丘学園の生徒が自宅まで運ぶ仕組みづくりを支援。
③	桜ヶ丘の移動を考える会	地域住民 ※老人クラブへの参加支援	地域住民	自治会・町会、老人会、民生委員、ゆう桜ヶ丘、高齢支援	住民主体の車両送迎(移動)のグループの立ち上げ支援。外出困難な高齢者の移動支援を検

				課、第1層、移動分科会	討。
④	三方の森お弁当配食事業	団地住民	住民ボランティア	社会福祉法人 愛生苑 三方の森ふれんど	高齢者対象の定例食事会の代わりに弁当を配付。低栄養対策や見守りの一環として実施。
⑥	住民懇談会 (生活支援の仕組みづくり)	団地住民		住宅管理組合、民生児童委員	高齢者等を対象に、ゴミ出し等の生活支援の仕組みづくりのために、アンケート調査と住民懇談会を開催。
⑥	都営団地移転に伴う高齢者支援	団地住民	当該自治会住民	自治会、東部包括支援センター	自治会の移転に伴い、ゴミ出しができない高齢者等への支援。及び自治会の移転先での居場所づくりなどの仕組みづくりを支援。
⑨	資源ごみのゴミ出し支援	団地住民	理事会高齢化対応委員会		資源ゴミ回収の回数減少に伴い、高齢者等の資源ゴミの出し支援を検討。アンケートの実施や担い手の発掘を支援。
⑩	唐木田出張サロン (居場所づくり)	地域住民		自治会	通いの場の少ない地域で、サロンの立ち上げ体験を実施。
⑩	都営団地移転先での自治会連携	団地住民		自治会、多摩センター地域包括支援センター	移転した団地の自治会役員と連携し、新たに入居する住民との繋がりやのきっかけとして、通いの場の創出や見守り等の仕組みづくりを支援。

ウ) ネットワーク構築・ニーズ把握

事業	回数
地域ケア会議	4
元気塾サービス担当者会議	1
ぐっとらいふミーティング	31
地域包括支援センター地区連絡会	2
地域活動・支えあいリストの更新	1
	計15,000部
第1層協議体との連携	
まるっと協議体	3
生活支援分科会	5
移動分科会	9
移動分科会モデル事業	10
啓発分科会	4

8 たすけあい有償活動事業

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	住民同士の支えあいの仕組みづくりも含めた地域福祉の観点から、地域ニーズに柔軟に対応できるサービス提供をめざしている。 生活援助サービス・・・家事全般、簡単な身の回りの世話、手続き代行、薬の受取、趣味活動などの外出補助 (1時間900円、時間外1,100円) 介助サービス・・・・・・車イス、通院の付き添いなどの身辺介助 (1時間1,000円、時間外1,200円) その他のサービス・・・換気扇掃除、窓拭き、草むしり、簡単な模様替えなど (1時間900円、時間外1,100円) 時間外・・・・・・早朝(7時～8時) 夜間(17時～20時) 及び日曜・祝日は割増料金
対象者	多摩市在住で、上記内容を本人または家族ができない方
連携者 (団 体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	R3年度			R2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,492,000	2,325,197 (※1)	51.8	4,562,000	2,176,574 (※2)	47.7

※1 執行済額2,325,197円のうち179,128円は前期末支払資金残高より充当

※2 執行済額2,176,574円のうち296,821円は前期末支払資金残高より充当

② 支出の状況

単位：円

区 分	R3年度			R2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,492,000	2,325,197	51.8	4,562,000	2,176,574	47.7

(3) たすけあい有償活動実施状況

単位：人

	利用者		協力員			利用状況			
	人数	月末登録者数	新規登録者	活動者数	援助		介助		
					日中	時間外	日中	時間外	
4月	56	137	1	42	56	0	0	0	
5月	57	141	3	43	57	0	0	0	
6月	58	144	3	40	58	0	0	0	
7月	56	143	0	41	56	0	0	0	
8月	49	143	0	37	49	0	0	0	
9月	58	145	3	44	58	0	0	0	

10月	62	146	1	43	62	0	0	0
11月	64	155	10	47	64	0	0	0
12月	68	155	0	49	68	0	0	0
1月	61	155	0	46	61	0	0	0
2月	56	155	0	43	56	0	0	0
3月	65	155	0	47	65	0	0	0
月平均	59.2	147.8		43.5	59.2	0	0	0
昨年度 月平均	52.1	149.5		37.7	52.1	0	0	0

(新規)

利用者：36人 新規登録協力員：21人

(4) たすけあい有償活動の実施状況

単位：人

		29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用者数(月平均数)		77.9	83.5	78.3	52.1	59.2
協力員	登録者数	153	166	149	137	155
	うち新規登録者数	32	28	30	11	21
	活動者数(月平均)	55.9	54.8	52.8	37.7	43.5

(5) たすけあい有償活動協力員懇談会(研修会兼ね実施)

開催日時	令和3年10月29日(金)午後2時～3時30分
会場	二幸産業・NSP健幸プラザ
内容	・コロナフレイルについて ・協力員同士の情報交換
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	8人

(6) たすけあい有償活動協力員説明会

開催日時	第1回 令和3年 6月 4日(金)午前10時～11時30分 第2回 令和3年11月16日(金)午前10時～11時30分 第3回 令和4年 3月28日(月)午前10時～11時30分
会場	第1回 多摩ボランティア・市民活動支援センター 第2回 大栗川・かるがも館 第3回 諏訪5-12-2自治会集会所
内容	たすけあい有償活動の事業説明 協力員登録手続き
対象者	18歳以上の市民及び近隣地区住民
参加者	第1回 3人 第2回 4人 第3回 8人

9 住民主体による訪問型サービス

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	<p>多摩市介護予防・日常生活支援総合事業において多摩市社会福祉協議会で実施する訪問型サービス。(平成28年5月より指定) たすけあい有償活動の協力員登録者のうち、多摩市が実施する研修を受けた協力員が担い手となる。地域包括支援センターもしくはケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、介護予防支援のため生活支援を実施するもの。</p> <p>内 容・・・家事支援(掃除・洗濯・食事の準備・買い物代行等)、買物同行支援 頻 度・・・1週間に1回まで 家事支援 1回60分以内 買物同行支援 1回90分以内 利用料・・・家事支援 60分以内 1,510円/回(利用者負担302円) 買物同行支援 90分以内 2,260円/回(利用者負担452円) 活動費・・・家事支援1,100円/回 買物同行支援1,650円/回 ※交通費相当含む キャンセル料・・・当日キャンセルの場合 家事支援1,100円 買物同行支援1,650円</p>
対象者	多摩市在住 介護保険の認定が要支援1、2 もしくは事業対象者の認定がある方

2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	R3年度			R2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,687,000	1,105,230	65.5	2,024,000	822,005	40.6

② 支出の状況

単位：円

区 分	R3年度			R2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,687,000	1,031,411	61.1	2,024,000	760,475	37.6

(3) 住民主体による訪問型サービス実施状況

単位：人

	協力員			利用状況		
	月末 登録者数	新規 登録人数	活動者数	相談数	新規 利用者数	利用者数
4月	58	1	11	0	0	12
5月	58	0	11	2	1	15
6月	58	0	15	1	2	18
7月	58	0	14	1	1	19
8月	58	0	15	2	2	21
9月	58	0	15	1	1	22
10月	58	0	14	2	0	21
11月	66	8	15	0	0	20
12月	66	0	16	1	0	18
1月	66	0	14	1	0	17

2月	67	1	15	2	1	18
3月	61	0	15	4	2	18
月平均	66.1	0.83	14.2	1.5	0.92	18.3
昨年度 月平均	58.2	0.33	11.5	0.83	0.5	13

(今年度：新規利用者 12人 新規登録協力員 10人)

10 ボランティア・市民活動推進事業（多摩ボランティア・市民活動支援センター）

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	13,014,000	12,556,428	96.48	9,979,000	10,344,493	103.7

※前期末支払資金残高含む

② 支出の状況

単位：円

区分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	13,014,000	9,990,038	76.76	9,979,000	7,846,987	78.6

(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催

委員会名	委員数	開催日	出席者数
運営委員会	15名	R3.5.17	10名
		R3.9.6	15名
		R3.11.15	13名
		R4.1.17	14名
		R4.3.14	12名
審査会	5名	R3.5.11	4名
		R3.8.23	3名
		R3.11.8	3名
		R4.3.7	3名
企業等連携強化専門委員会	8名	R3.8.20	6名
		R4.2.25	7名
災害ボランティアセンター運営強化専門委員会	15名	R3.6.3	8名
		R3.12.3	8名
子ども・若者応援基金活用検討専門委員会	8名	R3.12.22	7名
		R4.1.19	8名
		R4.2.9	8名
		R4.3.9	8名

(3) ボランティア育成事業

① 市民活動講座「食の支援ボランティア入門講座」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R3.11.8	28人	関戸公民館 大会議室	1. 多摩社協の取り組み 2. フードバンク活動の概要、現状について 3. 子ども食堂の現状と、活動紹介（3団体） ※講座終了後に希望者に対してボランティア相談を実施。参加者28名中、12名がボランティア相談に参加。8件のマッチングにつながった。	特定非営利活動法人フードバンク TAMA 特定非営利活動法人どんぐりパン 一般社団法人祥鶴 ピンクララタマ

② ボランティア・市民活動団体向けステップアップ講座
「コロナを踏まえたこれからの活動を考える」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R3. 11. 20	18 人	関戸公民館 大会議室	1. 講義 ①コミュニティマネジメント の基本原則 ②お金以外の報酬に着 目する ③主体になってもらうため に ④コロナ禍の自治会活動 事例 2. グループワーク	NPO 法人 CRファクト リー コミュニティマネジメ ント認定インストラク ター 田形 勇輔氏

③ オンライン講座「0からはじめる Zoom 講座」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R3. 4. 16～ 3. 24 (全 13 回)	55 人	Zoom による オンライン会 議	1. 初級編 2. ステップアップ編	なし

④ ボランティア体験

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R3. 7. 15～ 8. 26	88 人	Zoom による オンライン	夏のリモートボランティ ア体験 2021	白楽荘在宅デイサー ビス、特別養護老人 ホーム愛生苑、あい 小規模多機能施設か りん、あいグループ ホーム天の川、多摩 市手話サークル「ク ローバー」

⑤ 災害ボランティア育成

ア) 災害ボランティアセンター運営ボランティア育成講座

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R3. 6. 19	25 人	二幸産業・ NSP 健幸福 社プラザ7階 研修室他	①講義：災害ボランティ アセンターについて ②演習：運営ゲーム（ロ ールプレイング）	国土館大学

※上記参加者には社協職員を含む（職員研修を兼ねているため）

※運営ボランティアとして 56 人が登録（新規登録 4 名）

※運営ボランティア登録者のフォローアップも兼ねて実施

イ) 多摩市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
※ R3. 9. 23	31 人	二幸産業・N S P 健幸福 社プラザ他	・水害・感染症対策のマ ニュアル（案）に基づ いた災害ボラセン設 置・運営訓練	※多摩市社協職員の みで実施

⑥ ボランティアまつり（平成 30 年度よりボランティア・地域活動見本市）

回	実施日	来場者	場所	内容	協力団体等
第9回	H30. 1. 27	3, 000 人		<ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発体験企画「自分にもできる防災」（VC運営委員会・NPO法人シーズネットワーク共催企画） ・「たまたま多摩にいる人交流おそうじ」（NPO法人グリーンバード中央大学チーム共催企画） ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額 20, 500 円 ・協賛金額 278, 000円 	協賛企業等 34 団体、ボランティア 23 人（運営委員・財源確専門委員会委員 9 人含む）
第10回	H31. 1. 26	100 人		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・市民活動の活動紹介、体験、相談コーナー ・多摩フレイル予防プロジェクト（TFPP）の実施 ・協賛金額 175, 000 円 	参加協力団体・機関：28、協賛企業等 16
第11回	R1. 10. 20	400 人	二幸産業・N S P 健幸福社プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体による活動紹介、相談、マッチングほか ・参加者・団体同士の交流の機会 	参加協力団体・機関：13
第12回	コロナ禍のため未実施（中止）			<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体による活動紹介、相談、マッチングほか ・参加者・団体同士の交流の機会 	参加協力団体・機関：

第13回	コロナ禍のため未実施 (中止)			<ul style="list-style-type: none"> 参加団体による活動紹介、相談、マッチングほか 参加者・団体同士の交流の機会 	参加協力団体・機関：
------	--------------------	--	--	--	------------

⑦ たまボランティアギフト マッチングギフト合計金額 0円

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
コロナの影響を受けて実績なし				

(4) 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進
(多摩地域企業・大学等連絡会 (通称：ゆるたまネット))

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R3. 10. 4	30人 (23団体)	オンライン (Zoom)	【全体会】 <ul style="list-style-type: none"> ゆるたまネット食料等無料配布事業第2弾の実施について 令和3年度ゆるたまネット学習会テーマのアンケート実施アンケートについて 	27団体 一般企業：15団体 NPO法人：8団体 大学：4団体
R4. 3. 23	20人 (16団体)	オンライン (Zoom)	【全体会】 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度ゆるたまネット食料等無料配布事業の報告 令和4年度ゆるたまネット食料等無料配布事業の実施について 食料等無料配布事業実行委員会の設置について ゆるたまネット学習会のテーマについて 	28団体 一般企業：16団体 NPO法人：8団体 大学：4団体

①R3. 6. 5 R3. 6. 12 ②R3. 12. 17 R3. 12. 18 R3. 12. 19	① 264 人 (86 世帯) ② 480 人 (151 世帯)	① 「多摩ボランティア・市民活動支援センター」 「しごと・暮らしサポートステーション」 「多摩市総合福祉センター」 ② 東永山複合施設	【事業】 ゆるたまネットの主催事業として、生活にお困りの「大学生以下の子どもがいる世帯」や「大学生」を対象に「食料等無料配布事業」を6月と12月に実施。	ゆるたまネット会員ほか一般企業、NPO法人、大学など述べ68団体
---	---	--	---	----------------------------------

(5) 相談事業

実施日	来所者	場所	内容	協力団体等
R3. 4. 7～ R4. 3. 22 全9回	24人	市内コミュニティセンター4箇所、永山公民館、とよよん	令和3年度ボランティア保険加入受付、ボランティア・市民活動の情報提供、相談等	市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員延べ2人
R3. 6. 29	4人	多摩大学	ボランティア・市民活動の情報提供、相談対応	
毎月 第4木曜日 全8回	3人	老人福祉センター	ボランティア・市民活動の情報提供、相談対応、ボランティア保険受付等	
R3. 4. 14～ R4. 2. 9 全8回	13人	多摩ボランティア・市民活動支援センター打ち合わせコーナー	・NPO設立・運営に関する相談(NPO法人の設立を考えている方向け) ・会計・税務に関する相談(ボランティア団体や特定非営利活動法人向け)	内藤純氏(公認会計士・税理士)

(6) 協力事業

	団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	多摩ボランティア・市民活動支援センターパソコン研修室利用登録団体(4団体)	R3. 4. 1～ R4. 3. 31	・パソコン教室の開催(全138回) ・パソコン研修室の貸出、広報	

2	東京ヴェルディ 1969 フットボール クラブ(株)	R3. 4. 10～R3. 12. 5	・東京ヴェルディホームゲームでの車イス 来場者の付添、会場 案内等 (参加者申込受付、広 報)	
3	貝取こぶし館	R3. 6. 26	・福祉部主催手話講座 (講師調整手配)	特定非営利活動法 人多摩市聴覚障が い者情報活動セン ター
4	NPO法人シニア サポート多摩	R3. 4. 23 R3. 6. 24 R3. 7. 26 R3. 9. 29 R3. 10. 27 R3. 12. 3 (合計6回)	・相続・遺言・成年 後見・死後の事務 「無料相談会」 (広報)	※ボランティア登 録団体
5	What's jazz 実行 委員会	R3. 9. 17、R3. 12. 9	チケット代行販売 (販売手数料収入 46,500円)	

(7) 地域出前事業

	学校・団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	多摩大学	R3. 7. 26	講師派遣 ・ボラセンの仕事の内容 ・ゼミ生へのボラセンか らのミッション ・ボラセンのような仕事 に就きたい場合のキャ リアの道筋	
2	永山小学校	R3. 6. 4	①車いす当事者の話 ②車いす体験	①平田真利恵氏 ②社会福祉法人 大和会
3	多摩市立子育て総合 センター たまっこ	R3. 11. 26	講師派遣 令和3年度子育て・子育 ち支援者養成講座」での 市民活動の紹介と役割に ついて	
4	大松台小学校	① R3. 12. 13 ② R4. 1. 28	①点字体験 ②聴覚障がい者当事者の 話、手話体験	①パソコン点訳サ ークルこがめ ②多摩市聴覚障害 者協会、特定非営利 活動法人多摩市聴 覚障がい者情報活 動センター

5	東落合小学校	R3. 10. 14	点字体験	パソコン点訳サークルこがめ
6	永山小学校	①R3. 11. 5 ②R3. 11. 19	①視覚障害当事者の話 ②手話体験	①瀬尾敏也氏 ②特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター

(8) ボランティア活動等振興助成金交付事業

① 令和3年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
NPO法人 シニアサポート多摩	主に独居・夫婦のみ世帯の高齢者に向けた法務と福祉の相談会	30,000
傾聴ボランティアグループ「福寿草」	会員の質の向上を図る事業	20,000
たこの木クラブ	広く市民を対象にした障がい者の啓発講座	30,000
ピアサポ・縁	今後継続して行うボランティア活動等を目的とした事業	50,000
ご近所見守り合いグループ	今後継続して行うボランティア活動等を目的とした事業	50,000
合計 (5 団体)		180,000

※傾聴ボランティアグループ「福寿草」に関しては、コロナウイルス感染拡大に伴い未実施となった。(交付額：20,000円は返還)

② 交付実績状況

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
登録団体数	58	58	62	61	57
助成団体数	12	12	13	5	5
助成総額(円)	424,470	344,000	394,000	140,000	160,000

(9) 子ども食堂等活動支援金交付事業

①令和3年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
特定非営利活動法人 プレイルームゆづり葉の家	愛宕だれでも食堂	20,000
特定非営利活動法人どんぐりパン	きっちん空(子ども・誰でも食堂)	20,000
一般社団法人 祥鶴	ほくの家(子ども・誰でも食堂)	20,000
ハーモニークラブ	ハーモニーカフェ(子ども・誰でも食堂)	20,000

ピンクララタマ	ピンクララタマ(子ども・誰でも食堂)	20,000
わくわく子ども食堂	わくわく子ども食堂(子ども・誰でも食堂)	20,000
合計(6団体)		120,000

②交付実績状況

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
応募団体数	0	2	6	6	6
助成団体数	0	2	6	6	6
支援総額(円)	0	40,000	120,000	120,000	120,000

(10) フードドライブ事業

食品・食材を集め生活困窮者や支援団体に対して配布する。

	R2年度	R3年度
寄付件数(個人)	223件	376件
寄付物品総重量(個人)	912kg	1,580kg
寄付件数(団体)	39件	105件
寄付物品総重量(団体)	1,000kg	4,212kg
食材配布数	146件	396件
食料配布数*個人(世帯)(資金貸付相談者)	39件	34件

※寄付された食品・食材、子ども・誰でも食堂、フードバンク団体、食料無償配布事業等で使用されましたが、一部(賞味期限が長い食品等)を、個人(世帯)への緊急配布用に保管しているため、寄付受付件数と配布件数は数値が異なります。

(11) 販売事務業務委託(多摩市受託事業) ※通年

委託件名	事業内容	収入金額 (単位:円)
多摩市印刷物有償頒布事務業務委託	多摩市印刷物の有償頒布に係る業務(販売) ※委託料は販売価格の20%	5,582
学校施設等使用券売払事務業務委託	学校施設等使用券の販売及び収納業務 ※委託料は販売価格の5%	73,825
合計		79,407

(12) 関係機関との連携

会議名	実施回数	備考
多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体等連絡会	月1回	構成:25団体 ※令和3年度は年7回開催
市区町村ボランティア・市民活動センター長会議	年4回	オンライン会議
市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会	年4回	オンライン会議

市区町村社協南多摩ブロック職員 の会ボランティア担当者会議	年 5 回	構成：八王子市、町田市、日野市、稲城市、 多摩市の 5 市社協 ※会議の他、メーリングリストを作成し、情報 交換を行っている。
----------------------------------	-------	--

(13) ボランティア基金・寄附金状況

① ボランティア基金（令和4年3月末現在高 13,384,157円）

単位：円

	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
寄附金額	9,557	31,353	50,000	442,952	1,108,567

② 指定寄附金（ボランティア・市民活動推進）

単位：円

	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
寄附金額	244,688	231,430	194,600	165,940	2,436,642

※ 商品券による寄附 106,000 円を含む

※ 平成 29 年度の寄附金のうち、72,500 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成 30 年度の寄附金のうち、98,500 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 令和元年度の寄附金のうち、49,500 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 令和 2 年度の寄附金のうち、1,500 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

(14) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況

	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
個人登録者数	551 人※1	651 人※1	716 人※1	878 人※1	738 人※1
団体加盟者数	1,853 人※2	2,074 人※2	2,155 人※2	1,884 人※2	1,641 人※2
V 保険登録者数	2,224 人	3,032 人	2,062 人	1,810 人	1,606 人
登録団体数	58 団体	58 団体	60 団体	61 団体	57 団体

※1 個人登録者数のうち、484 人は介護予防ボランティアポイント登録者

また、災害ボランティアやヴェルディボランティアで重複あり

※2 延べ人数。複数の団体に所属して活動しているボランティアがいるため

(15) 多摩ボランティア・市民活動支援センター（ヴィータ）利用登録者状況

	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
個人利用登録者数	1,037 人	1,107 人	1,126 人	1,235 人	1,241 人
来館者数	12,750 人	11,540 人	8,917 人	4,558 人	4,978 人

(16) ボランティア相談状況

	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
ボランティア希望	147	125	157	126	202
ボランティア要請	91	77	61	21	38
マッチング（紹介）	86	55	54	11	123
情報提供	34	22	20	25	12
協力依頼	41	55	48	38	23
その他	27	28	11	8	1
計	340	307	297	218	395

※介護予防ボランティア登録者の数は含まない

※マッチング（紹介）は、ボランティア要請に対しての紹介数のため合計数に含まず

(17) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況

① 活動室利用状況

ヴィータ（本センター） 打ち合わせコーナー 定員 30 人
 総合福祉センター ボランティア活動室 定員 15 人
 永山分室 ボランティア活動室 定員 20 人 会議室 定員 50 人
 （ ）内は前年度

利用月	ヴィータ(本センター)		総合福祉センター分室		永山分室	
	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数
R3. 4	9 (0)	31 (0)	15 (0)	69 (0)	47 (4)	498 (10)
R3. 5	4 (0)	12 (0)	14 (0)	66 (0)	27 (0)	248 (0)
R3. 6	14 (4)	54 (17)	11 (1)	65 (5)	30 (15)	400 (138)
R3. 7	11 (5)	37 (21)	11 (13)	61 (72)	31 (27)	289 (246)
R3. 8	5 (3)	12 (16)	9 (1)	45 (9)	18 (17)	196 (135)
R3. 9	11 (7)	33 (24)	15 (6)	85 (25)	27 (42)	322 (378)
R3.10	12 (7)	42 (31)	9 (11)	62 (57)	51 (45)	603 (456)
R3.11	16 (8)	59 (35)	12 (12)	81 (73)	44 (46)	493 (427)
R3.12	14 (5)	68 (17)	10 (8)	60 (31)	40 (40)	404 (410)
R4. 1	12 (2)	48 (11)	10 (4)	51 (16)	33 (13)	281 (100)
R4. 2	0 (5)	0 (20)	16 (5)	92 (24)	0 (23)	0 (227)
R4. 3	0 (4)	0 (20)	18 (9)	115 (46)	0 (31)	0 (313)
合計	108 (50)	396 (212)	150 (70)	852 (358)	348 (303)	3734 (2840)

② 機材貸し出し状況

印刷機、コピー機(白黒・カラー)、拡大コピー機、メールボックス、ロッカー、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚障がい体験セット、アイマスク、白杖、点字練習器、図書等、ボランティア・市民活動に必要な機材・用具の貸出を行った(一部有料)。

貸出機材	貸出件数合計 ()内は前年度
ロッカー	31 (31)
メールボックス	15 (15)
多目的ボックス	19 (19)
車いす	12 (9)
高齢者疑似体験セット	8 (11)
視覚障がい体験セット	1 (0)
アイマスク	9 (2)
点字練習器	0 (3)
女性センターライブラリー図書	9 (9)

(18) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況

① 「ボランティア通信」発行状況 (月1回発行)

発行部数(月別)	総発行部数	設置・送付箇所数	主な設置・送付場所
3,000 部	36,000 部	382 箇所	市内公共施設 (コミュニティセンター含む)、市内郵便局、市内企業・店舗 (福祉協力店含む)、学校等

② 多摩ボランティア・市民活動支援センター専用ホームページ開設状況

ア) 令和3年度実績 ()内は前年度の数

月	訪問者数	一日平均アクセス者数
R3.4	2,808 (815)	94 (27)
R3.5	3,414 (793)	110 (26)
R3.6	3,169 (1,024)	106 (34)
R3.7	3,324 (1,020)	107 (33)
R3.8	2,982 (984)	96 (32)
R3.9	3,248 (1,045)	108 (35)
R3.10	3,065 (1,032)	99 (33)
R3.11	3,629 (1,001)	121 (33)
R3.12	3,483 (833)	112 (27)
R4.1	3,147 (966)	102 (31)
R4.2	3,091 (1,037)	110 (37)
R4.3	2,865 (1,211)	92 (42)
合計	38,225(11,861)	105(32)

※訪問者数は、1回以上アクセスしたユーザー数（重複なし）

イ) ホームページアクセス実績状況

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
訪問者数	16,263	13,185	11,856	11,861	38,225
一日平均アクセス者数	45	27	29	32	105

③ 多摩ボランティア・市民活動支援センターメールマガジン配信状況

ア 配信日：第1木曜日。その他、不定期に配信。

イ 登録件数：595人（令和4年3月末日現在）

ウ 配信回数：13回

エ 配信実績状況

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
登録件数	625	617	598	595	595

1 1 介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45第1項第1号に規定する介護予防事業として、高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進することを目的とする。
事業開始	平成26年7月7日（受託事業開始）
事業概要	<p>(1) 事業内容</p> <p>①制度根拠：介護保険法第115条の45第1項第1号、地域支援事業実施要綱、多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱</p> <p>②介護予防ボランティア：多摩市在住の介護保険第1号被保険者（あらかじめ管理機関へ登録が必要）</p> <p>③介護予防ボランティア活動（多摩市長が指定する介護予防ボランティア事業及び活動）</p> <p>ア) 事業 ●介護保険対象施設 ●多摩市が実施する地域支援事業（介護予防事業）</p> <p>イ) 活動 ●レクリエーション等の指導、参加支援 ●お茶だしや食堂内の配膳・下膳などの補助 ●散歩、外出、館内移動の補助 ●模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露などの行事の手伝い ●話し相手 ●その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動（例—草刈、洗濯物の整理、シーツ交換など） ●その他</p> <p>④活動実績の把握：介護予防ボランティアが持参する介護予防ボランティア手帳に活動確認スタンプを押印。</p> <p>⑤評価ポイントの付与：介護予防ボランティア手帳に押印されたスタンプの数に応じて最大5,000ポイントの評価ポイントを付与。</p> <p>⑥評価ポイント転換交付金：介護予防ボランティア手帳を添えて、評価ポイント活用を申し出る。交付額は年間最大で5,000円。</p> <p>⑦その他：介護保険料の未納又は滞納の場合、適用しない。</p> <p>(2) 業務内容</p> <p>①介護予防ボランティア登録対象者向け説明会・研修会及び受入機関向け説明会の実施</p> <p>②受入機関の登録に関する事務</p> <p>③介護予防ボランティアの登録及び介護予防ボランティア手帳の交付に関する事務</p> <p>④介護予防ボランティア活動評価ポイントの付与及び管理に関する事務</p> <p>⑤介護予防ボランティアポイント交付金交付申請に関する事務</p> <p>⑥介護予防ボランティアポイント登録者に対する受入機関及び活動内容等の紹介に関する事務</p>

(2) 契約状況等

単位：円

	令和3年度	令和2年度
契約年月日	令和3年4月1日	令和2年4月1日
契約金額	2,191,000円	2,243,000円
変更協議年月日		令和3年1月4日
契約金額		1,912,000円

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	収入済額	執行率(%)	予算現額	収入済額	執行率(%)
合計	2,191,000	2,191,000	100.0	1,912,000	1,912,000	100.0

② 支出の状況

単位：円

区分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	支出済額	執行率(%)	予算現額	支出済額	執行率(%)
合計	2,191,000	2,146,709	97.9	1,912,000	1,739,260	90.9

(4) 事業実施状況

① ボランティア登録者数

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
登録者数	343人	404人	477人	474人	483人

② 登録施設数

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
登録施設数	45	51	52	50	49

③ 登録者向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R3.4.8 ~ R4.3.10 (毎月 第一木曜日)	22人	多摩ボランティア・市 民活動支援センター 打合せコーナー	・にゃんともTAMAるボラ ティアポイントについて ・登録手続きについて	全9回(5月7月 10月は参加者 がいなかったた め未開催)

④ 研修会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R3.8.31	10人	関戸公民館大会議室	テーマ：今！気づき・取り組 むフレイル予防・介護予防！	社会医療法人河 北医療財団 多 摩事業部 大石洋人氏・ 桐林亜希子氏

⑤ 施設向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
中止				令和4年1月21日に開催を予定していたが、多くの施設がコロナでボランティアの受け入れを休止していたため、説明会希望施設がなく、中止となった。

⑥ 施設・団体ボランティア受入れ担当者情報交換会・研修会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R4.3.9	7施設 7人	Zoomによるオンライン会議	テーマ:with コロナ ボランティアの受け入れどうしてる?~コロナ禍で進化するボランティア活動も紹介!~	

12 福祉サービス利用援助事業

(1)概要

目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うことにより、安心して自立した生活が送れるようにする。
対象者	1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 2 支援が必要な高齢者、身体障がい者
内容	①福祉サービス利用援助(情報提供、手続き援助、利用料の支払い等) ②日常的金銭管理サービス(年金や手当の受領手続き、日常生活上の支払い手続き、払い戻し等) ③書類等の預かりサービス(年金証書、預貯金通帳、権利証、実印等) ④成年後見制度に関する相談及び利用支援

(2)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会受託事業)

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
相談件数	4,009	3,292	3,030	2,156	2,136
契約件数	16	28	20	25	30
解約件数	18	23	14	17	24
年度末契約件数	84	89	95	103	109

収支状況(人件費を除く)

収入の状況

単位:円

区分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	3,841,000	3,745,111	97.5	4,136,000	3,964,219	95.8

支出の状況

区分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	3,841,000	3,378,804	87.9	4,136,000	3,402,789	82.3

(3)東京都福祉サービス総合支援事業（多摩市補助事業）

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
相談件数	747	715	627	349	191
契約件数	4	7	4	3	2
解約件数	4	8	5	7	8
年度末契約件数	22	21	20	16	10

福祉サービス利用援助事業 令和3年度末契約総数 119件 (109件+10件)

収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

区分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,587,000	1,519,251	95.7	1,594,000	1,416,400	88.9

支出の状況

区分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,587,000	1,060,222	66.8	1,594,000	1,147,564	72.0

(4) 成年後見制度利用支援業務

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
相談件数	183	185	163	360	661
申立支援件数	7 (7)	9 (9)	4 (4)	20 (4)	20 (4)
マッチング支援件数				21	26

※平成21年10月1日より業務開始

※申立支援件数のうち、括弧内は(2)および(3)の契約者に対して申立支援を行った件数。

※令和2年4月1日より多摩市成年後見制度利用者支援事業業務として委託を受ける。

収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

区分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,860,000	1,740,000	93.5	2,772,000	576,550	20.8

支出の状況

区分	令和2年度			令和元年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,860,000	1,043,709	56.1	2,772,000	566,563	20.4

(5)実施事業

広報・説明会	<p>1 社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。</p> <p>2 社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。</p> <p>① 市民向け事業説明会 令和4年1月15日(土) 6人</p> <p>② 事業所・関係機関向け事業説明会 令和3年8月23日(水) 20人 令和3年12月15日(水) 12人 令和4年1月26日(水) オンラインにて</p> <p>③ 生活支援員募集事業説明会 令和3年 8月30日(月) 5人</p>
ふくし法律相談	<p>実施日：毎月、第3木曜日 午後1時30分～3時30分</p> <p>場 所：総合福祉センター内</p> <p>弁護士：第二東京弁護士会所属 弁護士 増田径子氏</p> <p>対象者：高齢者、障がい者及びその家族等</p> <p>相談人数および件数：23人、19件</p> <p>相続について (11件)</p> <p>財産管理について (2件)</p> <p>成年後見制度について (2件)</p> <p>遺言について (2件)</p> <p>その他 (2件)</p>
講演会	<p>事業名：「市民のための成年後見講座」</p> <p>日 時：令和3年9月4日(土) 午前10時～12時</p> <p>場 所：総合福祉センター7階 704研修室</p> <p>講 師：司法書士 矢島秀樹氏</p> <p>目 的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。</p> <p>内 容：成年後見制度の活用(基礎編)について</p> <p>参加者：5人</p> <p>事業名：「親族後見人懇談会」</p> <p>日 時：令和3年9月4日(土) 午後2時～4時</p> <p>場 所：総合福祉センター7階 704研修室</p> <p>講 師：弁護士 岡垣豊氏</p> <p>目 的：親族で後見人等としての活動を考えられている方に対して、後見業務の具体的な内容や活動におけるポイントを伝え、今後の後見活動における心構えに繋げる。</p> <p>内 容：金銭管理における注意点と家裁への報告手続きについて</p> <p>参加者：6人</p> <p>事業名：「専門職による遺言と相続講座」(2日間)</p> <p>日 時：令和3年9月28日(火) 午前14時～16時 令和3年9月29日(水) 午前14時～16時</p> <p>場 所：総合福祉センター7階 704研修室</p> <p>内 容：一日目 遺言と相続について 二日目 相続税について</p> <p>講 師：一日目 司法書士：相田浩和氏 二日目 税理士：内藤純氏</p> <p>目 的：市民を対象に遺言と相続税に関する普及啓発を行う</p>

	<p>講演会を通じて権利擁護業務に必要な司法書士と税理士の連携を図る 参加者：延べ48人</p> <p>事業名：「専門職後見人等懇談会」 日 時：令和3年11月5日（金）午後6時～7時30分 場 所：総合福祉センター7階 704研修室 講 師：多摩南部成年後見センター 下山氏・増田氏 目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて専門職後見人等及び受任予定の士業の交流を促進することで成年後見人等の支援を行う。 内 容：「成年被後見人の在宅生活を支えるための地域連携について」の講演と情報交換会。 参加者：6人</p> <p>業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」 日 時：令和4年1月13日（木）午前10時～12時 場 所：消費生活センター 講座室 講 師：司法書士 北村智史氏 目 的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、家族信託と成年後見制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。 内 容：障がい者の成年後見制度の活用について 参加者：7人</p> <p>事業名：「司法書士による市民のための成年後見相談会」 日 時：令和4年2月5日（土）午後1時30分～4時45分 場 所：消費生活センター 講座室 相談員：（公社）成年後見センターリーガルサポート東京支部所属 司法書士3名 北村智史氏、鈴木悠平氏、伴正太郎氏 目 的：市民を対象に成年後見制度や遺言等の普及啓発を図る。 内 容：司法書士による成年後見制度や遺言に関する相談会。 相談者数：7人</p>
<p>専門研修会</p>	<p>事業名：生活支援員研修会 「地域包括支援センターの役割について」 日 時：令和3年11月24日（月）午後2時～4時 場 所：総合福祉センター7階 研修室 講 師：多摩センター直域包括支援センター 金子恵介氏、津崎忠男氏 目 的：地域包括支援センターとケアマネージャーの役割の違いについて情報提供し、生活支援員が適切な対応及び連携が図れるようにする。 内 容：「地域包括支援センターの役割について」の講話を行い、グループワークを通じて、支援中に困ったことや悩んでいることを共有する。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員20人、職員8人 計28人</p> <p>事業名：生活支援員情報連絡会 「今年度発生したヒヤリハットについて」 日 時：令和4年3月25日（金）午後2時～4時 場 所：総合福祉センター7階 研修室 目 的：今年度発生したヒヤリハットを共有することで、生活支援員が日頃の活動を振り返り、改善を図るきっかけを提供する。 内 容：今年度発生したヒヤリハットの問題点をグループワークで話し合い、支援活動時の留意点を共有する。</p>

	対象者：生活支援員 参加者：生活支援員17人
--	---------------------------

1 3 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（東京都社会福祉協議会受託事業）

単位：円

資金種別		29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
相談総件数		2,137件	2,114件	2,148件	1,397件 ※特例貸付 (4,596件)	295件 ※特例貸付 (1,534件)
資金種別ごとの貸付内容	①福祉資金	58,000 (1件)	308,000 (2件)	-	-	851,000 (2件) 辞退 792,000
	②緊急小口資金	350,000 (4件)	100,000 (1件)	※特例貸付 (11件)	※特例貸付 (1,032件)	※特例貸付 (438件)
	③教育支援資金	79,202,500 (57件) 辞退 9,036,000	27,689,500 (23件) 辞退 10,000	1,370,000 (8件) 辞退 238,000	13,269,000 (10件) 辞退 2,190,000	7,066,500 (5件)
	④総合支援資金	-	420,000 (1件)	※特例貸付 (0件)	※特例貸付 (1,160件)	※特例貸付 (1,194件)
	⑤要保護世帯向け 不動産担保型 生活福祉資金	-	-	13,930,000 (1件)-	-	-
	合計	79,610,500 (62件)	28,507,500 (27件)	15,300,000 (20件)	13,269,000 (2,202件)	7,125,500 (1,639件)

※特例貸付：新型コロナウイルスの影響による特例貸付の申請（緊急小口資金）・貸付（総合支援資金）件数

(2) 小口資金（多摩市社会福祉協議会独自事業）

不慮の出来事で、その出費に急を要するものに2万円を限度に資金を貸し付ける。

単位：円

		29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
相談件数		688件	558件	425件	51件	154件
貸付金額		347,000 (23件)	250,000 (13件)	-	20,000 (1件)	50,000 (3件)
償還 状況	当年度貸付分 償還金	201,000 (29件)	164,000 (22件)	-	20,000 (1件)	20,000 (1件)
	過年度貸付分 償還金	276,000 (62件)	158,000 (28件)	117,000 (22件)	2,000 (1件)	30,000 (4件)

(3)緊急援護事業（多摩市社会福祉協議会独自事業）

生活困窮者に対して、2,000円を限度に金品等を援助する。

単位：円

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
支給件数	8件	4件	7件	* 5件	1件
支給金額	4,500	1,000	8,000	* 2,500	1,100

※業務の一部は、多摩市健康福祉部生活福祉課に依頼して実施

*多摩市健康福祉部生活福祉課で、5件合計2,500円支給。うち4件は返還済。

(4)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

ひとり親の修学を支援し、資格取得と資格を活かした就職を促進して一人親家庭の自立を図る（平成28年12月開始）。

		29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
相談件数		16件	29件	28件	4件	18件
貸付件数	① 入学準備金	500,000円 (1件)	—	1,000,000 (2件)	—	—
	② 就職準備金	—	200,000円 (1件)	400,000 (2件)	—	200,000 (1件)
	③ 住宅支援資金					1,999,200 (4件)
	合計	500,000円 (1件)	200,000円 (1件)	1,400,000 (4件)	—	2,199,200 (5件)

※ ③住宅支援資金貸付は令和3年12月より受託開始。

(5)出張相談（しごと・くらしサポートステーション）

	R1年度	R2年度	R3年度
実施回数	20回	未実施	未実施
相談件数	4件	—	—

※令和元年6月開始、令和2年度より生活福祉資金特例貸付の実施に伴う、社協内での相談・申請対応の増加に対応するため停止中。

(6)その他（フードバンク事業）

生活困窮者に対して、食糧提供による支援を実施。

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
支給件数	(31件)	(111件)	(50件)	(185件)	34件

※令和3年度より貸付相談のあった困窮者への配布件数のみを計上。（ ）は合算数

14 収益事業の実施

公園・資源化センター等の公共施設、福祉協力店、および市内工事現場に自動販売機を設置し、その売上の一部が収益金と、赤い羽根共同募金および地域ささえあい募金への寄付となる。

単位：円

設置場所	業者	ロケーションマージン額（手数料収入）				
		29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
一本杉公園（2台）	西都ヤクルト販売（株）	655,284	791,636	630,449	572,899	566,139
多摩東公園		366,936	363,216	-	479,983	646,472
資源化センター		202,076	201,216	303,848	205,818	187,668
エリアティ		2,915	25,365	23,530	30,247	26,493
魚勇		322	4,157	3,431	1,489	-
シルバー人材センター		43,000	30,924	-	-	-
新井歯科医院	*1	12,649	27,443	26,531	26,792	22,595
ポロン	東京キリンビバレッジサービス（株）	1,120	15,207	13,988	14,265	15,625
高西寺		1,790	23,227	21,397	24,051	29,263
KDDI 多摩センタービル		-	-	-	13,322	43,261
三井住友建設聖蹟桜ヶ丘現場		-	-	-	66,492	330,559
旧北貝取小学校工事現場		-	-	-	1,488	61,071
トムハウス改修工事現場*2						55,194
連光寺老人福祉館工事現場*2						34,895
多摩中央図書館工事現場(2台)*2						(募金のみ)*3
中沢都営住宅建設工事現場		-	9,372	24,702	12,704	-
西落合小学校改修工事現場		-	64,237	74,387	-	-
K&K		75,159	181,476	111,310	-	-
チャットボックス		15,098	31,361	-	-	-
ジャパンビバレッジ		-	112	-	-	-
合計		1,376,349	1,768,949	1,219,079	1,449,550	2,019,235

*1 設置業者）コカ・コーラボトラーズジャパン（株）

*2 令和3年度新規設置自販機

*3 設置先の意向により、販売手数料に係る寄付金は赤い羽根共同募金と地域ささえあい募金のみに対象（収益金とならない）

※ ロケーションマージン額：販売品売上単価の1%～40%（設置場所により異なる）を販売手数料としており、商品により1本あたり1円～60円の収益がある。

15 障がい者地域活動支援センター事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目 的	市内在住の障がいのある方や家族等を対象とした事業の実施、情報提供、福祉サービス利用の援助を行い、障がいのある方の社会参加、自立への援助を図る。
事業開始	平成24年4月1日（受託事業開始）
対 象	市内在住の障害者手帳所持者・家族、市内の障がい者団体
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内 容	<p>① 業務日時 月曜日から土曜日まで〔第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始を除く〕の午前8時30分から午後5時まで</p> <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎的事業 <ul style="list-style-type: none"> ・趣味や生きがい活動の支援（教養講座など） ・在宅障がい者デイサービス事業 ・社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、グループ活動など） ●機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業（福祉サービスの利用援助等） ・各種相談事業（パソコン相談など） ・水浴訓練室事業（水中機能訓練など） ・入浴サービス（通所入浴・訪問入浴） ・普及啓発事業（障がい者と共にひとときの和、講演講座など） ●高次脳機能障害者支援促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援 ・関係機関との連携 ・社会資源の把握・開拓 ・広報・普及啓発 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプカードの配布、疑似体験学習への協力など

(2) 契約状況等

単位：円

	令和3年度	令和2年度
区 分	内 容	内 容
契約年月日	令和3年4月1日	令和2年4月1日
	地域活動支援センター	地域活動支援センター

	合計	基礎的 事業	機能強化 事業	高次脳機能 障害者支援 促進事業	合計	基礎的 事業	機能強化 事業	高次脳機能 障害者支援 促進事業
契約金額	92,965,000	30,827,000	58,036,000	4,102,000	92,730,000	29,410,000	59,218,000	4,102,000
契約変更日	令和4年1月7日				令和3年1月8日			
変更契約金	89,665,000	30,547,000	55,016,000	4,102,000	89,730,000	29,110,000	56,518,000	4,102,000

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和3年度				令和2年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	89,665,000	79,628,103	10,036,897	88.8	89,730,000	79,453,968	10,276,032	88.5
参加費収入	22,000	6,900	15,100	31.4	22,000	6,100	15,900	27.7
利用料収入	424,000	128,725	295,275	30.4	461,000	106,744	354,256	23.1
計画相談支援給付費	5,520,000	8,643,292	△3,123,292	156.6	4,300,000	7,794,836	△3,494,836	181.2
補助金収入	0	0	0	0	260,000	260,000	0	100
寄付金収入	30,000	30,000	0	100	30,000	30,000	0	100
受取利息配当金収入	1,000	232	768	23.2	—	—	—	—
合計	95,662,000	88,437,252	7,224,748	92.9	94,803,000	87,651,648	7,151,352	92.4

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和3年度				令和2年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	75,487,000	69,277,797	6,209,203	91.8	75,025,000	68,646,167	6,378,833	91.5
事業費	13,690,000	9,960,705	3,729,295	72.8	12,638,000	9,495,118	3,142,882	75.1
事務費	1,784,000	1,425,676	358,324	79.9	2,026,000	1,197,877	828,123	59.1
支払利息	94,000	93,007	993	98.9	65,000	64,071	929	98.5
固定資産取得	390,000	342,540	47,460	87.8	352,000	286,000	66,000	81.2
リース債務	508,000	507,593	407	99.9	287,000	286,279	721	99.7
退職積立金	2,508,000	2,506,410	1,590	99.9	2,710,000	2,481,300	228,700	91.5
拠点区分間繰入金	1,201,000	4,323,524	△3,122,524	341.0	1,700,000	5,194,836	△3,494,836	305.5
合計	95,662,000	88,437,252	7,224,748	92.4	94,803,000	87,651,648	7,151,352	92.4

(4) 利用登録状況

		29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
登録人数		105人	121人	114人	77人	79人
	(内訳) 身体	72人	70人 (身体・知的重複4人含む)	64人 (身体・知的重複5人、身体・精神重複3人含む)	54人 (身体・知的重複3人、身体・精神重複4人含む)	74人 (身体・知的重複3人、身体・精神重複2人含む)
	知的	12人	18人	22人 (知的・精神重複1人含む)	8名	1人
	精神	4人	5人	9人	8人	3人 (知的・精神重複1人含む)
	手帳無	17人	32人	29人	14人	1人
※年度の登録人数の内訳						
登録延人数		273人	318人	352人	369人	383人
利用延人数		14,984人	5,460人	4,291人	2,439人	3,427人

※登録延人数・内訳ともに重複有

※登録人数・内訳ともに平成29年度より年度の登録人数に変更

(5) 実施状況

【基礎的事業】

① 趣味や生きがい活動の支援（教養講座など）

- ・ パソコン教室 緊急事態宣言及び受講者の申込状況により、木曜コース（5月～10月）の事業は中止とした。
- ・ 親子体操教室 緊急事態宣言及び講師の所属団体の方針により、前期・後期ともに当年度の事業は中止とした。
- ・ 陶芸教室 緊急事態宣言及び講師との協議により、後期（令和3年10月～12月）の事業は中止とした。

コース	内容	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	年間
木曜コース 年3回 (各4回) 延12回	身体、知的、精神障がい者を対象にレベルに応じて基礎から指導	5/6～27 ワードでポスターデザイン 中止	7/1～29 エクセルでパンフレット作成 中止	10/7～28 ワードで年賀状作成 中止	/	24人
土曜コース 年3回 (各4回) 延12回		5/29～ 6/26 ワードで絵本作成 10人	/	10/16～ 11/6 ワードで図形描く年賀状作成 1人	1/15～2/5 エクセルでカレンダー作成 13人	

視覚障がい コース 年3回 (各4回) 延12回	視覚障がい者を 対象に音声機能 付きソフトで文 章作成やインタ ーネットの操作 方法等の指導		9/2～30 マイエディット の使い方 2人	11/4～25 年賀状作 成 4人	1/27～2/17 ネットワーの 使い方 3人	9人
--------------------------------------	---	--	---------------------------------	----------------------------	----------------------------------	----

・体操教室

成人向け 体操教室 前期・後期 各10回 延20回	・ボール、タオル を使った椅子に 座りながらの体 操 ・身体、知的、精 神障がい者が参 加し、無理なく身 体を動かすこと で機能の維持向 上と交流を図る	前期 5月～9月 95人 第1四半期 38人 第2四半期 57人	後期 10月～2月 92人 第3四半期 55人 第4四半期 37人	187 人
親子体操 教室 前期・後期 各10回 延20回	・心身の発達的气 になる子どもと 保護者がボール などの道具を使 い身体を動かし ながら共に楽し む	前期 5月～9月 中止 第1四半期 — 第2四半期 —	後期 10月～2月 中止 第3四半期 — 第4四半期 —	

・陶芸教室

陶芸教室	・身体、知的、 精神障がい者を 対象に創作を楽 しみながら、交流 を図る	*緊急事態宣言及び講師との協議により、後期（令 和3年10月～12月）の事業中止		
------	--	---	--	--

② 在宅障がい者デイサービス事業 毎週水・金曜日 定員：8人

<p><年間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録人数 4人：手帳所持者 3人（身体3人・精神1人）、手帳なし（難病） 1人 ・利用者 4人：新規利用 11月～1人 ・開設日数 97日 延利用者数 274人 <p><第1四半期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用人数 3人：手帳所持者 2人（身体2人、精神1人）手帳なし（難病） 1人 ・開設日数 25日 延利用者数 65人 <p><第2四半期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用人数 3人：手帳所持者 2人（身体2人、精神1人）手帳なし（難病） 1人 ・開設日数 25日 延利用者数 60人 <p><第3四半期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用人数 4人：手帳所持者 3人（身体3人、精神1人）手帳なし（難病） 1人 新規利用 11月～1人（金曜のみ） ・開設日数 24日 延利用者数 69人

＜第4四半期＞								
・利用人数 4人：手帳所持者 3人（身体3人、精神2人）手帳なし（難病） 1人								
・開設日数 23日 延利用者数 80人								
内 容			実施回数・人数					詳 細
			第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間	
基本事業 (訓練等)	機能訓練	体操	55人 22回延	57人 24回延	61人 21回延	76人 22回延	249人 89回延	<p>＜通年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練 その他：水中運動プログラム導入 *毎月1回 水浴訓練室にて ・社会適応訓練 個別訓練：S.U.D(Step Up Day) 毎月、身体評価日を設け、利用者の各々の機能低下に合わせたプログラムを個別に実施 <p>＜第1四半期＞</p> <p>外出訓練：遠出を避け、近隣での買物とコンビニにてランチをテイクアウト</p> <ul style="list-style-type: none"> *給食ではなく、好みのランチをテイクアウトする ・シトラスリボン作成・納品 <p>＜第2四半期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会適応訓練 オリンピック・パラリンピックの開催時期には、スクリーンにて、ライブビューイングを実施 夏祭りとして、ゲーム大会を実施 バンドのネーミング応募 <p>＜第3四半期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術展見学：バルブ永山 ・クリスマス会 <p>＜第4四半期＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初詣 ・園芸療法（季節） ・体力測定/スポーツ大会 <p>*新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、調理訓練、カラオケなどプログラム一部変更、中止</p>
		歩行訓練	8人 3回延	0人 0回延	6人 3回延	16人 5回延	30人 11回延	
		その他	2人 1回延	4人 2回延	0人 0回延	0人 0回延	6人 3回延	
	社会適応訓練	認知訓練	63人 24回延	57人 24回延	66人 23回延	77人 23回延	263人 94回延	
		OT(作業療法)	59人 23回延	57人 24回延	63人 22回延	75人 22回延	254人 91回延	
		ST(言語訓練)	3人 3回延	6人 2回延	3人 1回延	2人 1回延	14人 7回延	
		外出訓練	3人 1回延	0人 0回延	3人 1回延	4人 1回延	10人 4回延	
		脳トレ	10人 4回延	10人 4回延	7人 3回延	21人 7回延	48人 18回延	
		調理訓練	0人 0回延	0人 0回延	0人 0回延	0人 0回延	0人 0回延	
		個別訓練等	12人 6回延	5人 3回延	6人 2回延	15人 5回延	38人 16回延	
		その他	0人 0回延	5人 2回延	10人 3回延	4人 1回延	19人 6回延	
	創作活動	作業・創作(作品製作)	21人 8回延	15人 5回延	17人 6回延	15人 4回延	68人 23回延	
		書画	9人 3回延	6人 3回延	10人 3回延	10人 3回延	35人 12回延	
		その他	0人 0回延	0人 0回延	0人 0回延	7人 2回延	7人 2回延	
アクティビティ	カラオケ	0人 0回延	0人 0回延	0人 0回延	0人 0回延	0人 0回延		
	ゲーム	4人 2回延	13人 6回延	5人 0回延	13人 4回延	35人 14回延		
	その他	0人 0回延	8人 3回延	0人 0回延	0人 0回延	8人 3回延		
浴入	入浴サービス	10人 10回延	9人 9回延	11人 11回延	10人 10回延	40人 40回延		
付属	給食サービス	62食 24回延	57食 24回延	63食 22回延	77食 22回延	259食 92回延		
	送迎サービス	65人 25回延	60人 25回延	69人 24回延	80人 23回延	274人 97回延		

③ 社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、グループ活動など）

事業名	実施日	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
同好会 憩書道	第1・3月曜日	24人	16人	34人	18人	92人
カラオケの日	第4土曜日午前	中止	中止	中止	中止	0人
言語訓練 *失語症のある方を対象と したおしゃべりのグループ	水曜日 第1・3グループ 第2・4個別	22人	23人	28人	12人	85人
グループ活動 マーブル *統合失調症を主診断と する方を対象	第4木曜日午後 *H30年7月開始	1人	4人	6人	3人	14人

*同好会「憩書道」はR3年度をもって解散

【機能強化事業】

① 相談支援事業（一般相談）電話、来所、訪問、その他による相談支援

相談内容：精神障がい者の不安時における電話相談の傾聴

障害福祉サービスを利用していない障がい者の継続的な支援

親なきあとの暮らしについての相談

関係機関からの相談や専門の相談窓口についての相談など

	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
相談延人数 (新規継続含む)	142人	234人	239人	247人	862人(741人)
来所	14人	12人	24人	17人	67人(44人)
電話	95人	157人	170人	164人	586人(511人)
メール	28人	41人	30人	50人	149人(108人)
訪問	5人	18人	13人	14人	50人(70人)
同行	0人	6人	2人	2人	10人(8人)

※（ ）は前年度

② 各種相談事業

相談会名	協力団体・内容	実施日	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
パソコン相談会 *パソコンボランティア多 摩	パソコン操作やトラ ブルに関する個別相 談	第1~4 火曜日	21人	29人	16人	16人	82人
聞こえと補聴器の 相談会 *共催 NPO 法人多 摩市聴覚障がい者 情報活動センター	言語聴覚士による聴 力検査、補聴器や日 常生活用具等に関する 相談	年3回	7人	8人	6人		21人

親なきあと個別相談 *渡部行政書士事務所 代表 渡部 伸氏	親なきあとを心配している家族が法制度やサービスの内容を相談することにより、子の将来の準備を行う機会とする	毎月第3水曜日	2人	4人	2人	4人	12人
言葉のこと相談	言語聴覚士による言葉と嚥下に関する個別相談	毎週水曜日	7人	1人	1人	1人	10人
唐木田児童館 言葉の相談 ほっとたいむ	来館の子どもと保護者に言語聴覚士がコミュニケーションをとりながら、言葉に関する心配事などを聞く	毎月第1水曜日 *H30年6月開始	2人	5人	6人	5人	18人

③ 水浴事業

・水浴訓練室貸出（個人・団体） 緊急事態宣言に伴い、利用の自粛あり。

事業名		実施日	内容	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
水中機能訓練		火・木曜日 通年 各 42回	水の特性を利用したりハビリや機能維持・向上のための水中運動 *手帳所持者等 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股（膝）関節症、パーキンソン病等 ・送迎サービス有	113人	112人	114人	75人	414人
水中機能訓練 フォローアップ		全1回 午後 *今年度、休止	水中機能訓練修了者が、1訓練（個人貸出し）移行後の再修正の機会を設ける					0人
水浴訓練室貸出	個人貸出	月・金曜日 午前/午後	主に水中機能訓練修了者を対象とした自主訓練	129人	96人	175人	136人	536人
	団体貸出	土曜日 午前/午後	障がい者団体を対象とした水浴訓練室の利用 *登録2団体 身体、知的他	22人	39人	26人	27人	114人

④ 入浴サービス事業

	第1 四半期		第2 四半期		第3 四半期		第4 四半期		年間		その他
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	
通所入浴サービス	5人	49人	5人	50人	5人	51人	5人	53人	5人	203人	施設内での機械浴(送迎有・デイ利用者含む)身体、知的
訪問入浴サービス	6人	69人	6人	69人	6人	68人	8人	74人	8人	280人	訪問入浴事業者へ再委託身体、知的

⑤ 普及啓発事業

ア) 総合福祉センターだより発行状況(月1回発行) ※老人福祉センター事業含む			
発行部数	総発行部数	設置・送付箇所	主な設置・送付箇所
約770部	約9,240部/年	約77箇所	市内公共施設(公民館、コミュニティセンター)、関係機関等
イ) 多摩市福祉交流会「障がい者と共にひとときの和」			
実施日	開催校	参加人数	内容
中止	多摩第三小学校	—	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、6月に中止を決定。 *代替として障害理解のためのリーフレット、DVD動画を作成中。
中止	豊ヶ丘小学校	—	
ウ) 福祉機器展示コーナー			
<ul style="list-style-type: none"> ・車いす、クッション、シルバーカー、杖、靴、シャワーチェア ・すべり止めマット等の展示 ・福祉機器等に関する情報提供 ・看護師によるミニ健康相談 ・作業療法士によるリハビリ相談 			第1～第4四半期 コーナーの休止 *福祉機器に関する相談には個別に対応
エ) 講演会・協力事業			
① 7月24日(土) 多摩市地域家族会「ぼんぼこの会」 ひきこもり経験者・家族の体験談を聴き、共に考える「わが子との向き合い方」 共催 地域活動支援センターあんど *ひきこもり家族会である多摩市地域家族会「ぼんぼこの会」の主催講演会。ひきこもり経験者とその家族の寄り添い方などについて講演。			17人

講師：生きづらさインクルーシブデザイン工房代表理事 大橋 史信氏	
オ) 障がい者スポーツ体験	
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、未実施 ・ボッチャセットの貸出 7件	

【その他】

① ヘルプカードの配布

配布場所：多摩市役所障害福祉課、多摩市地域活動支援センターの一ま

社協（総合福祉センター3階・多摩ボランティア・市民活動支援センター）

	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
身体障害	25人	26人	21人	43人	115人
知的障害	9人	14人	17人	8人	48人
精神障害	21人	19人	24人	23人	87人
難病	2人	0人	7人	5人	14人
高齢	1人	1人	0人	0人	2人
その他	5人	5人	10人	7人	27人
備考					
合計	63人	65人	79人	86人	293人

【高次脳機能障害者支援促進事業】

①相談事業	<ul style="list-style-type: none"> 相談人数・件数 新規相談者数：16人（単回も含む） 計画相談：10人、一般相談48人 相談延人数：直接相談（面接/訪問/同行）102人 電話等相談 279人 相談者内訳：本人、家族、医療機関、関係機関等から相談 相談内容 <ul style="list-style-type: none"> 介護保険以外で利用できる障害サービス 入院中のソーシャルワーカーより退院後の生活相談、社会資源の紹介 障害年金申請の支援他 土曜相談日 毎月第1土曜日午後 「パートナーのための個別相談会」土曜日午後 全10回実施 医師によるケース検討会 未実施
②関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 関係者連絡会 R3. 9 書面にて開催・アンケート実施（コロナ禍での支援など） R4. 3. 11 Web開催

	<p>今年度の事業報告/来年度の事業計画、情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学会 未実施 ・近隣家族会の定例会に参加・連携 未実施 ・市障害福祉課との打合せ 1回(2月) ・南多摩高次脳機能障害者支援普及事業協力施設会議への参加 毎月 Web 開催 ・家族会への参加(らーふの会・こだま) 随時 家族会で権利擁護センター職員から事業説明実施
③社会資源 の把握・開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・就労B型「かわせみの家」見学・受け入れ相談 ・在宅障がい者デイサービスで1名受け入れ ・言語訓練(グループ・個別)6名参加 ・上記活動への失語症会話パートナー派遣要請 ・グループ活動「ほのぼの」10回開催 8名参加 音楽療法・交流会 ・グループ活動「桜プラス」7回開催 4名参加 女性のためのグループ活動・交流会 ・R4.2.5「音楽交流会」実施 福祉センター多目的ホールにて参加型の音楽交流会実施
④広報・ 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・「南多摩医療圏域支援マップ」(第2版)の配布・活用 市内公共施設・福祉事業所・医療機関等127か所に配布 ・福祉フェスタ 中止 ・社協広報誌への掲載 ふくしだより9月15日号にグループ活動や家族会紹介 総合福祉センターだより(毎月)事業紹介・参加者募集など ・社協ホームページへの掲載 ・福祉センター3階 図書情報コーナー/関連書籍の購入と貸出

【指定特定相談支援事業】 福祉サービス等利用計画の作成

障がいのある方が様々なサービスの利用を通じて希望する生活の実現や目標の達成に向けて、生活の中で解決すべき課題や支援の内容を本人と相談しながら具体的にプランを立てていく。

総契約数：162人(168)

相談形態：来所114件(133)、電話6,452件(6,200)、訪問1,110件(1,264)、同行105件(120)、メール954件(735) のべ件数8,735件(8,452)

計画作成数：新規、モニタリング 562件(526) ()は前年度

16 同行援護事業

(1) 概要

目的	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対し、同行援護従事者を派遣し、移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援（代読、代筆を含む）を行う。外出先において必要な移動の援護や排泄等必要な介助を行うことにより、社会参加、及び自立支援を行うことを目的とする。
対象者	多摩市より障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者。 契約者41人（令和4年3月末現在）＊新規契約者2人
同行援護従事者	同行援護従業者養成研修（一般過程）を修了した者。 居宅介護の従事者要件を満たす者については特例措置あり。 ※登録者数39人（令和4年3月末現在）＊新規登録者7人

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和3年度				令和2年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
介護給付費	13,241,000	8,660,915	4,580,085	65.4	13,241,000	7,630,082	5,610,918	57.6
利用料負担金	120,000	140,892	△20,892	117.4	120,000	159,080	△39,080	132.5
受取利息配当金	1,000	18	982	1.8	1,000	35	965	3.5
補助金					265,000	265,000	0	100.0
合計	13,362,000	8,801,825	4,560,175	65.8	13,627,000	8,054,197	5,572,803	59.1

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和3年度				令和2年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	3,651,000	3,222,366	428,634	88.2	3,339,000	3,079,448	259,552	92.2
事業費	8,890,000	4,752,439	4,137,561	53.4	9,595,000	4,747,031	4,847,969	49.4
事務費	691,000	450,157	240,843	65.1	693,000	542,225	150,775	78.2
固定資産取得	130,000	114,180	15,820	87.8				
合計	13,362,000	8,539,142	4,822,858	63.9	13,627,000	8,368,704	5,258,296	61.4

(3) 同行援護活動実績

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
契約者数 (うち身体介護有)	48人 (10人)	47人 —	39人 —	40人 —	41人 —

利用人数	331人 (月平均 27.6人)	344人 (月平均 28.7人)	315人 (月平均 26.3人)	245人 (月平均 20.4人)	274人 (月平均 22.8人)
派遣回数	1,800回 (月平均 150回)	1,931回 (月平均 160.9回)	1,692回 (月平均 141回)	1,100回 (月平均 91.7回)	1,194回 (月平均 99.5回)
派遣時間	6,216.5時間 (月平均 518時間)	6,393.5時間 (月平均 532.8時間)	5,604時間 (月平均 467時間)	3,395.5時間 (月平均 283時間)	4,108.5時間 (月平均 342.3時間)
活動者数	276人 (月平均 23人)	308人 (月平均 25.7人)	295人 (月平均 24.6人)	259人 (月平均 21.6人)	300人 (月平均 25人)
同行援護登録従事者	29人	27人	31人	32人	39人

(4) 同行援護従事者研修会

コロナ禍だったが、例年実施している従事者懇談会・研修会を全従事者対象に二回に分けて実施した。

開催日・場所	R4. 3. 14 (月)・17 (木) 総合福祉センター4階 機能訓練室
対 象	令和3年度に従事者登録をしている方 39人
内 容	懇談会：事例検討 (従事者から寄せられた「活動中に困ったこと」) 研修会：車いすの介助方法について
参加者	23人

1.7 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	聴覚障がい者及び言語障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）が、他者との意思疎通を円滑にするため、手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣すること及び手話通訳に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対象者	① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。
利用時間の制限	手話通訳者等の派遣・・・・・・・・原則月20時間
手話通訳者	① 多摩市登録手話通訳者…手話通訳士又は手話通訳者全国统一試験に合格した市内在住の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。※登録者数37人（令和4年3月末現在） ② 東京手話通訳等派遣センター登録手話通訳者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

(2) 契約状況等

区分	令和3年度		令和2年度	
	内容	備考	内容	備考
契約年月日	令和3年4月1日		令和2年4月1日	
概算契約金額	10,001,000		10,285,000	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位:円

区分	令和3年度				令和2年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	10,001,000	9,610,000	310,000	96.9	10,285,000	7,885,444	2,399,556	76.6
受取利息配当金収入	1,000	14	986	1.4	1,000	37	963	3.7
合計	10,002,000	9,691,014	310,986	96.8	10,286,000	7,885,481	2,400,519	76.6

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和3年度				令和2年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	4,626,000	4,547,582	78,418	98.3	4,242,000	4,120,571	121,429	97.1
事業費	4,511,000	3,891,050	619,950	86.2	5,336,000	3,178,932	2,157,068	59.5
事務費	734,000	604,496	129,504	82.3	707,000	585,941	121,059	82.8
固定資産取得	130,000	114,180	15,820	87.8				
拠点区分間繰入金	1,000	14	986	1.4	1,000	37	963	3.7
合計	10,002,000	9,157,322	844,678	92.6	10,286,000	7,885,481	2,400,519	76.6

(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用登録者	122人	116人	115人	113人	120人
登録手話通訳者	32人	30人	33人	39人	37人
派遣件数(市・都)	1,104件	1,043人	1,051件	894件	968件
派遣時間(市)	1,819時間 34分	1,664時間 47分	1,761時間 9分	1,368時間 21分	1,479時間 42分
派遣者活動人数(市)	259人	261人	264人	232人	239人 (月平均 19.9人)

(5) 手話通訳者研修会

①外部講師による研修会(全3回(内1回はZoom)) 参加延人数51人(Zoom研修は全員参加)

講師：東京手話通訳等派遣センター、東京都手話通訳問題研究会

内容：手話読み取り、医療事例の場面通訳、Zoomの基本操作と通訳業務への生かし方、手話学習方法講演(当日Web参加、後1ヶ月間オンデマンド映像視聴可能とした)

②その他研修会(全5回) 参加延人数103人

内容：場面通訳(会議、講演会)、事例検討、利用者を招いての会話(読み取り・表現)

18 意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	聴覚障がい者等が、他者との意思疎通を円滑にするため、要約筆記を必要とする場合に、要約筆記者を派遣すること及び要約筆記に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対象者	① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。
利用時間の制限	要約筆記者の派遣・・・・・・・・原則月20時間
要約筆記者	①多摩市登録要約筆記者…東京都要約筆記者養成講習会を終了または同程度の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。 ※登録者数18人（令和4年3月末現在） ②東京手話通訳等派遣センター登録要約筆記者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

(2) 契約状況等

単位：円

	令和2年度		令和元年度	
区分	内容	備考	内容	備考
契約年月日	令和3年4月1日		令和2年4月1日	
概算契約金額	1,118,000		1,417,000	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	令和3年度				令和元年度			
区分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	1,118,000	350,960	767,050	31.3	1,417,000	288,110	1,128,890	20.3

② 支出の状況

単位：円

	令和3年度				令和2年度			
区分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
事業費	1,031,000	163,707	867,293	15.8	1,330,000	209,006	1,120,994	15.7
事務費	87,000	86,160	840	99	87,000	79,104	7,896	90.9
合計	1,118,000	249,867	868,133	22.3	1,417,000	288,110	1,128,890	20.3

(4) 要約筆記者の活動実績

	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
利用登録者	122 人	116 人	115 人	113 人	120 人
登録要約筆記者	23 人	26 人	24 人	22 人	18 人
派遣件数(市・都)	74 件	60 件	48 件	13 件	16 件
のべ派遣時間(市)	708 時間 17 分	571 時間 55 分	490 時間 20 分	133 時間 27 分	113 時間 16 分
のべ派遣活動人数(市)	121 人	118 人	147 人	38 人	28 人 (月平均 2.3 人)

(5) 要約筆記者研修会

- ① その他研修会 (全1回) 参加延人数10人

内容：全体投影技術研修

社協職員の講演会・トークショーという設定で、手書き・パソコン2チームに分かれて全体投影の技術研修を行った。

19 共同募金関係

(1) 赤い羽根共同募金

※東京都共同募金会多摩地区協力会として実施

単位：円

種別	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
街頭募金	361,506 (18団体)	411,413 (23団体)	383,504 (29団体)	未実施※	未実施※
自治会・ 住宅管理組合	566,619 (57団体)	470,036 (41団体)	498,273 (43団体)	540,505 (43団体)	507,982 (43団体)
職域及び団体募金	203,586 (39団体)	181,629 (44団体)	202,706 (44団体)	235,178 (55団体)	209,146 (54団体)
募金箱（公共施設）	36,400 (20団体)	33,597 (17団体)	36,856 (19団体)	40,236 (17団体)	30,406 (15団体)
プリペイドカードに よる募金	161,200 (17団体)	120,900 (17団体)	120,760 (18団体)	109,620 (26団体)	79,676 (14団体)
個人	13,290	6,820	1,057	1,643	37,748
チャリティお菓子	33,000	73,500	59,000	56,100	67,700
カキ串焼き・牛タン つくね		80,800	76,600	未実施※	未実施※
自動販売機	4,094	58,783	58,503	45,396	140,083
合計	1,379,695	1,437,478	1,437,259	1,028,678	1,072,741

()内は、協力等団体数

※新型コロナウイルスの影響で未実施

(2) 歳末たすけあい運動募金（令和3年12月1日～12月31日まで）

単位：円

種別	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
街頭募金	286,512 (10団体)	252,037 (14団体)	203,609 (11団体)	未実施※	152,992 (8団体)
自治会・住宅管理組 合	1,108,068 (103団体)	1,036,995 (87団体)	917,416 (80団体)	985,133 (74団体)	906,163 (69団体)
法人(団体)募金	214,593 (12団体)	171,363 (19団体)	143,093 (14団体)	255,037 (22団体)	366,781 (61団体)
個人募金	9,369	0	13,000	57,171	28,368
その他の募金 (チャリティお菓子 含む)	42,065	55,413	45,407	62,173	57,700
預金利息	2	2	2	2	2
チャリティーゴルフ		90,500	257,500	290,000	320,000
自動販売機	1,761	27,105	6,020	42,893	69,299

合 計	1,662,370	1,633,415	1,586,047	1,692,409	1,901,305
都共募納付額 ※翌年配分金額	1,582,644	1,571,478	1,519,251	1,636,977	1,816,469

()内の団体数は、協力団体数《※R3年度より、自治会・住宅管理組合区分に含まれていた一部（コミュニティセンター等）を法人（団体）区分に変更》

※新型コロナウイルスの影響で未実施

20 その他の事業

(1) 車椅子貸出事業

①概要

目的	日常生活において一時的又は短期的に車椅子を必要とする方に車椅子を貸し出し、地域福祉の向上に寄与する。
対象	市内に住所を有する方で、下記のいずれかに該当する方又は使用者を介助する方 (1) 歩行困難な高齢者 (2) 身体障がい者 (3) 疾病、傷病等により一時的に歩行困難な者 (4) その他会長が特に必要と認めたもの
貸出期間	1回 1ヶ月以内
貸出料金	無料

②車椅子貸出実施状況

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
貸出件数	79	86	95	58	120

平成30年度より、多摩社協窓口以外に市内社会福祉法人施設にて社協車椅子の管理・貸出を行っている。